

令和4年度

兵庫県 ユニバーサルツーリズム推進
に向けたニーズ調査

調査・報告者：兵庫県

慶應義塾大学 SFC研究所 小泉二郎

信州大学全学教育機構 加藤彩乃

I 調査概要

(1) 調査目的

県内の障害のある方及び高齢の方を対象に、旅行実施に関する現状及び課題についてアンケート調査を実施し、年齢や障害の有無に関わらず、誰もが旅の楽しみを享受できる「ユニバーサルツーリズム」の推進施策等について検討するための資料とする。

(2) 調査方法

兵庫県内特別支援学校及び各関係団体への依頼及び調査票の配布と回収。インターネットを用いたアンケート回答及び送信と、アンケート用紙への記入及び返信の方法を併用した。

回答対象者自身の記入が難しい場合は、記入または回答そのものを代理の方へ依頼した。その際は、ご本人との関係性について回答いただくとともに、回答対象者ご本人の意向に沿って回答いただくようにした。

(3) 調査対象

各アンケートの調査対象及び配布の方法、配布数は表の通り

調査区分	協力依頼団体	配布数	配布方法
1) 障害者	兵庫県身体障害者福祉協会	800	協力団体を通じて郵送・手渡し
	兵庫県肢体不自由児者協会		
	兵庫県肢体不自由児者父母の会連合会		
	兵庫県視覚障害者福祉協会		
	兵庫県聴覚障害者協会		
	兵庫県難聴者福祉協会		
	兵庫盲ろう者友の会		
	兵庫県手をつなぐ育成会		
	ひょうご子どもと家庭福祉財団		
	兵庫県精神福祉家族会連合会		
医療的ケア児の入所する主な施設			
2) 高齢者 (要介護・要支援)	兵庫県老人福祉事業協会	326	協力団体を通じて手渡し
	兵庫県介護老人保健施設協会	100	
3) 高齢者 (アクティブシニア)	兵庫県老人クラブ連合会	600	協力団体を通じて郵送・手渡し
4) 特別支援学校 (保護者)	県内の全特別支援学校 (小中高等部)	約5900	教育委員会特別支援教育課から学校にメール→児童生徒を通じて保護者に手渡し
5) 特別支援学校 (学校組織)		約140	教育委員会特別支援教育課から学校にメール

(4) 調査票配布回収期間

令和4年5月9日 (木) ~ 令和4年7月11日 (月)

(5) 回収結果について

本調査の回答の回収はそれぞれ以下の件数であった。

- 1) 障害者調査 463件
- 2) 高齢者（要介護・要支援）調査 307件
- 3) 高齢者（アクティブシニア）調査 327件
- 4) 特別支援学校（保護者） 828件
- 5) 特別支援学校（学校組織） 66件

(6) 調査項目について

調査区分によって調査項目に多少の違いがあるが、概ね以下の内容で構成されている。

- 1) 回答者の属性
（年齢、居住エリア、障害の種別や介護の程度など）
- 2) 旅行全般に関する項目
（これまでの旅行の諦めの有無、旅行目的、支援ニーズ、平日旅行プランの希望など）
- 3) 自然を活用した旅行に関する項目
（自然の中での旅行実施希望、実施内容、専門家の利用希望など）
- 4) 介助者や保護者など周囲の人の旅行に対する考えについて <調査1) 3) 4) のみ>
- 5) 自由記述
（一般旅行や教育旅行を諦めずに実施し、楽しめるようになるために必要なことについて）

(7) 報告書の見方について

- ・ 本報告では、5つの調査について、単純集計及びクロス集計を用いて結果を示した。
- ・ アンケートには、回答を一つのみ選ぶ項目と、複数選択が可能な項目がある。
- ・ 複数選択が可能な項目では、回答比率が100%を超える場合がある。
- ・ 割合は少数第二位を四捨五入しているため、回答比率の合計が100%とならない場合がある。
- ・ 「n」は設問に対する回答の対象者数で、対象者数を100%とした時の該当者数の割合を算出した。なお、無回答数も含まれている。
- ・ クロス集計では、年齢別、障害種別、介護度別にニーズや課題が把握できるようにした。
- ・ クロス集計では、年齢や介護度などの区分の選択がない回答については、全体数の結果には反映するものの、区分別の集計では除外して図表を作成した。

(8) 調査結果の掲載ページについて

それぞれの調査結果の報告の開始ページは以下の通りである。

- 1) 障害者調査 3ページ
- 2) 高齢者（要介護・要支援）調査 . . . 20ページ
- 3) 高齢者（アクティブシニア）調査 . . . 32ページ
- 4) 特別支援学校（保護者） 42ページ
- 5) 特別支援学校（学校組織） 54ページ

Ⅱ. 調査結果の報告

(1) 障害者調査について

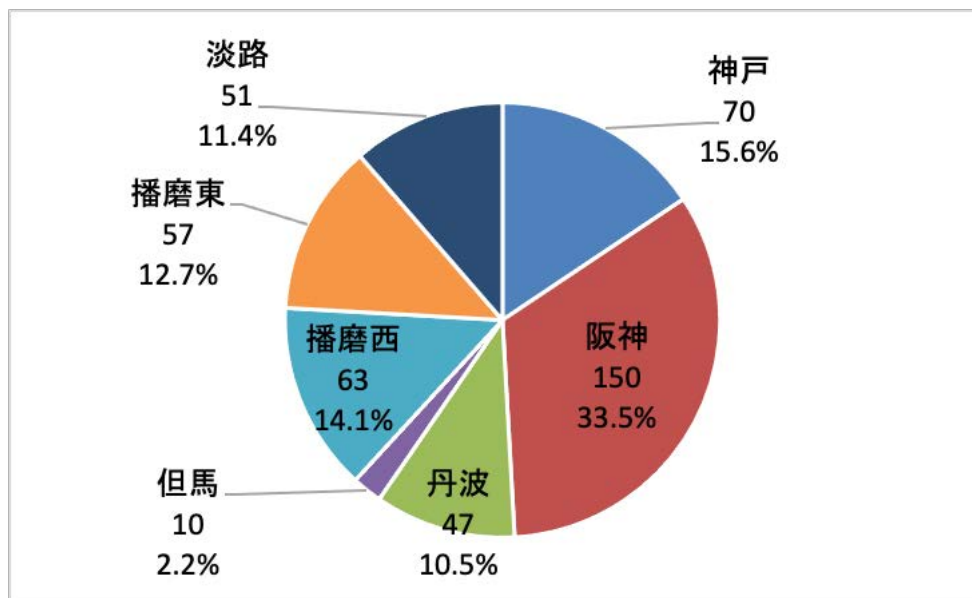
II- (1) 障害者調査について

障害者調査において、463名より回答を得た。回答者が調査対象本人でない場合は、本人の意向を踏まえ代理人より回答いただくように依頼した。

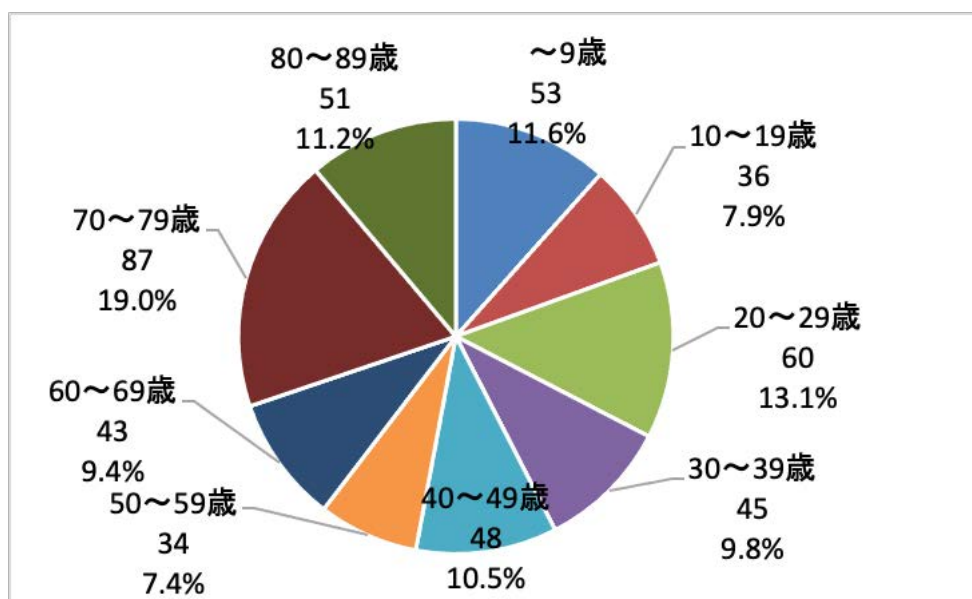
回答者は、本人回答254名（54.9%）、代理回答（保護者・配偶者・子・支援員等）202名（43.6%）、回答者無回答7名（1.5%）であった。回答者の属性及び結果は以下の通りである。

1) 回答校の属性

質問) 居住エリアについて教えてください。

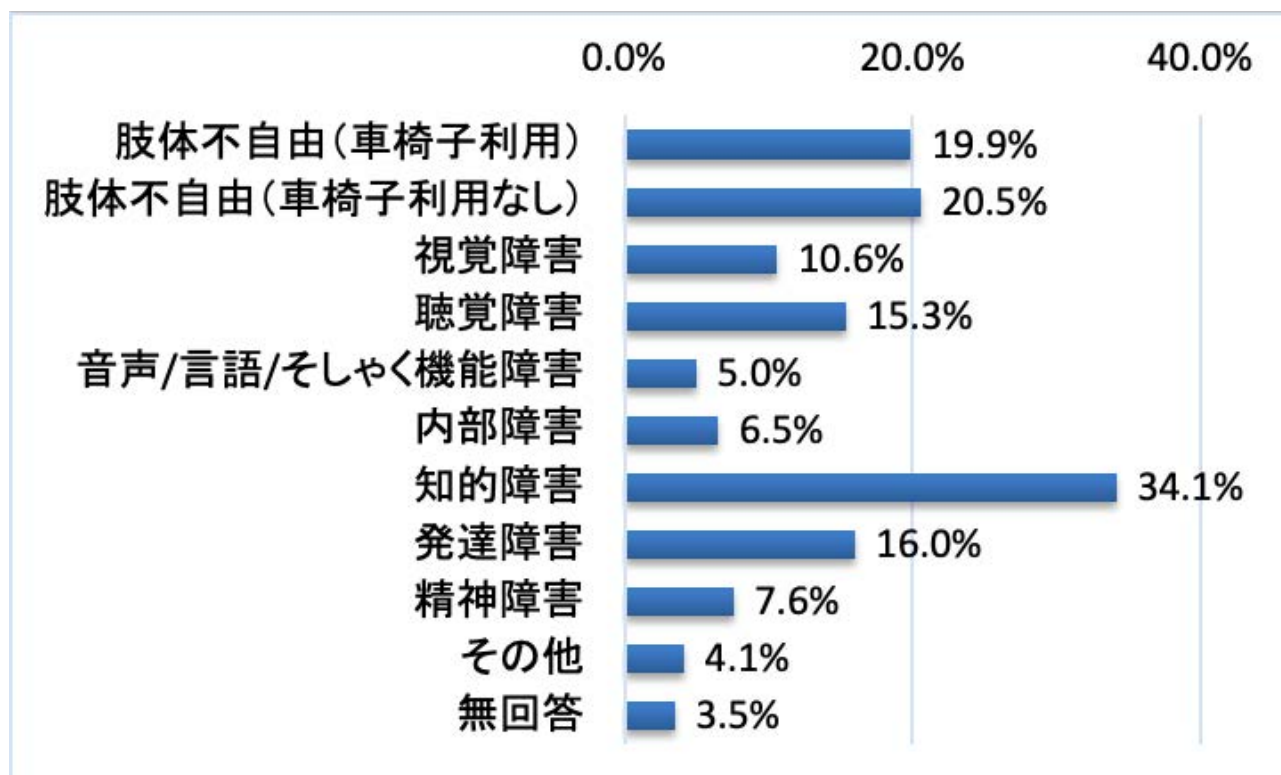


質問) 年齢（R4. 3. 31時点）について教えてください。

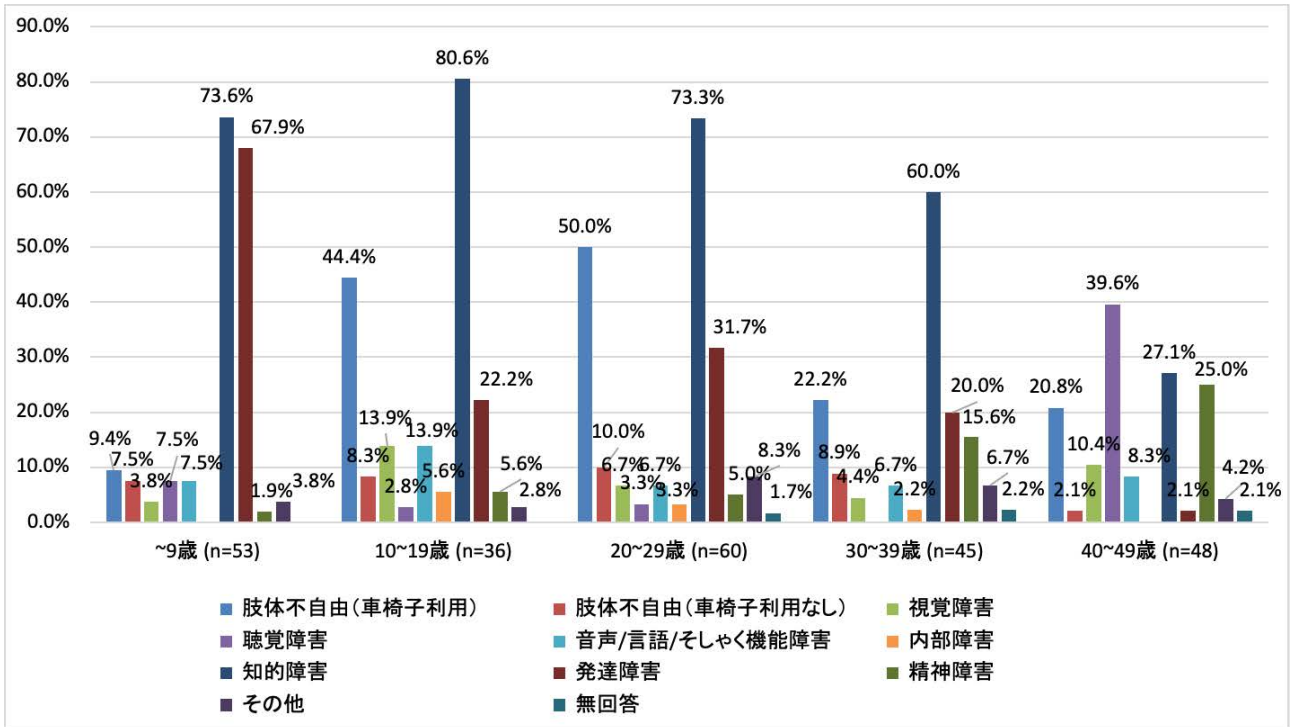


質問) 障害の種類について教えてください。該当するものを全て選択してください

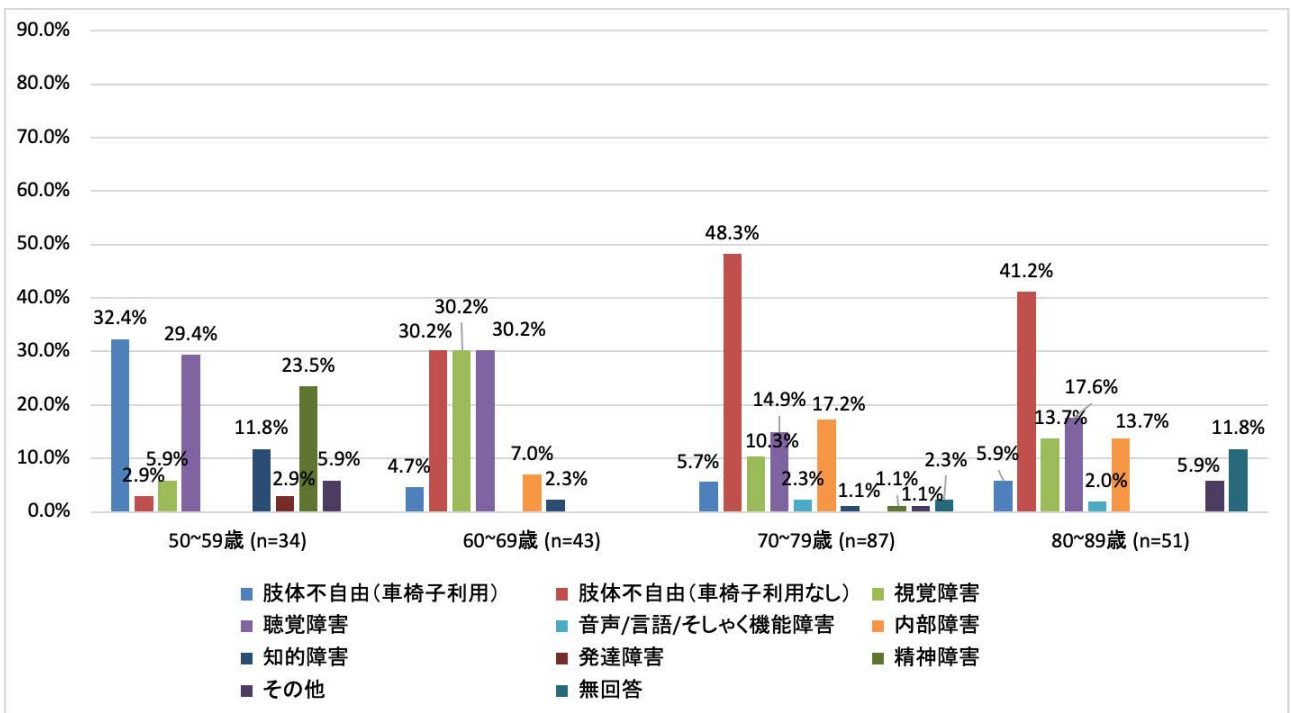
回答者の障害種 (全体n=463)



回答者の障害種 (0～49歳)



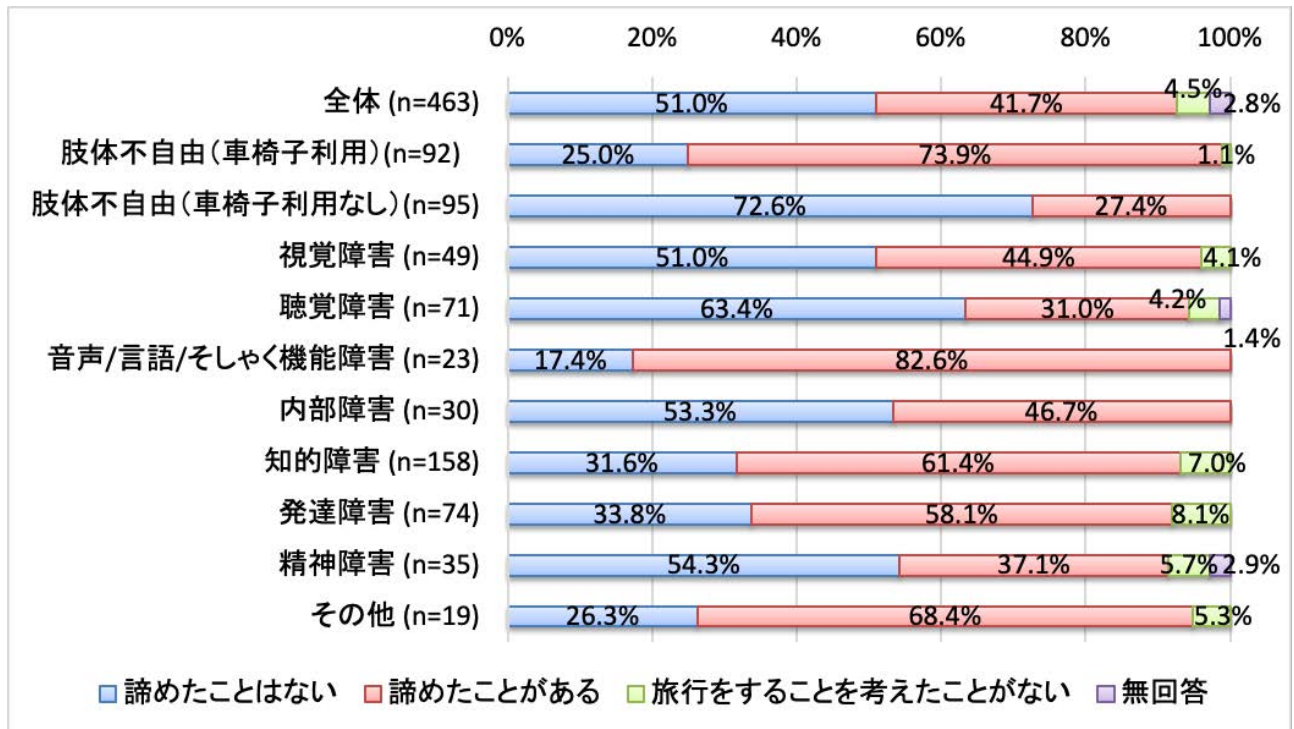
回答者の障害種 (50～89歳)



<一般旅行全般のニーズについて>

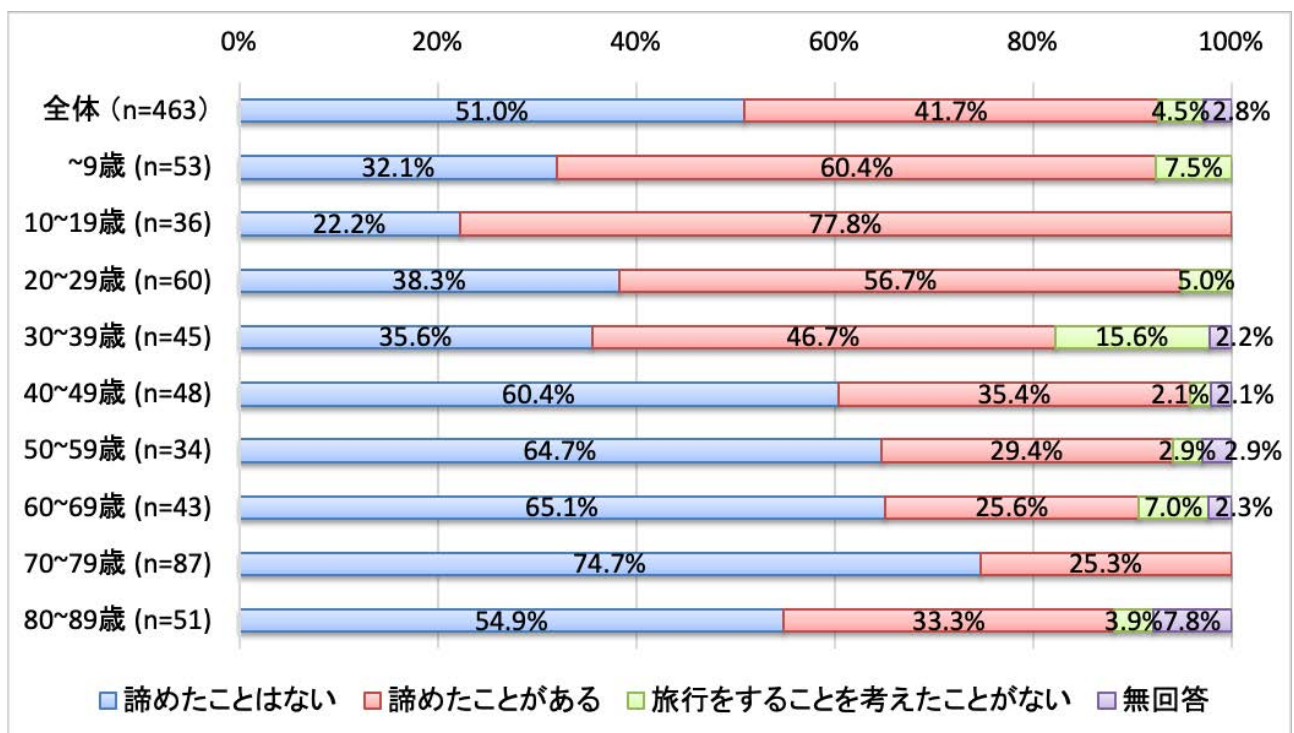
質問) これまで、年齢や障害があることを理由に旅行を理由に旅行を諦めたことがありますか。

年齢や障害があることによる旅行の諦めの有無 (障害種別)



障害種無回答：16

年齢や障害があることによる旅行の諦めの有無 (年齢別)



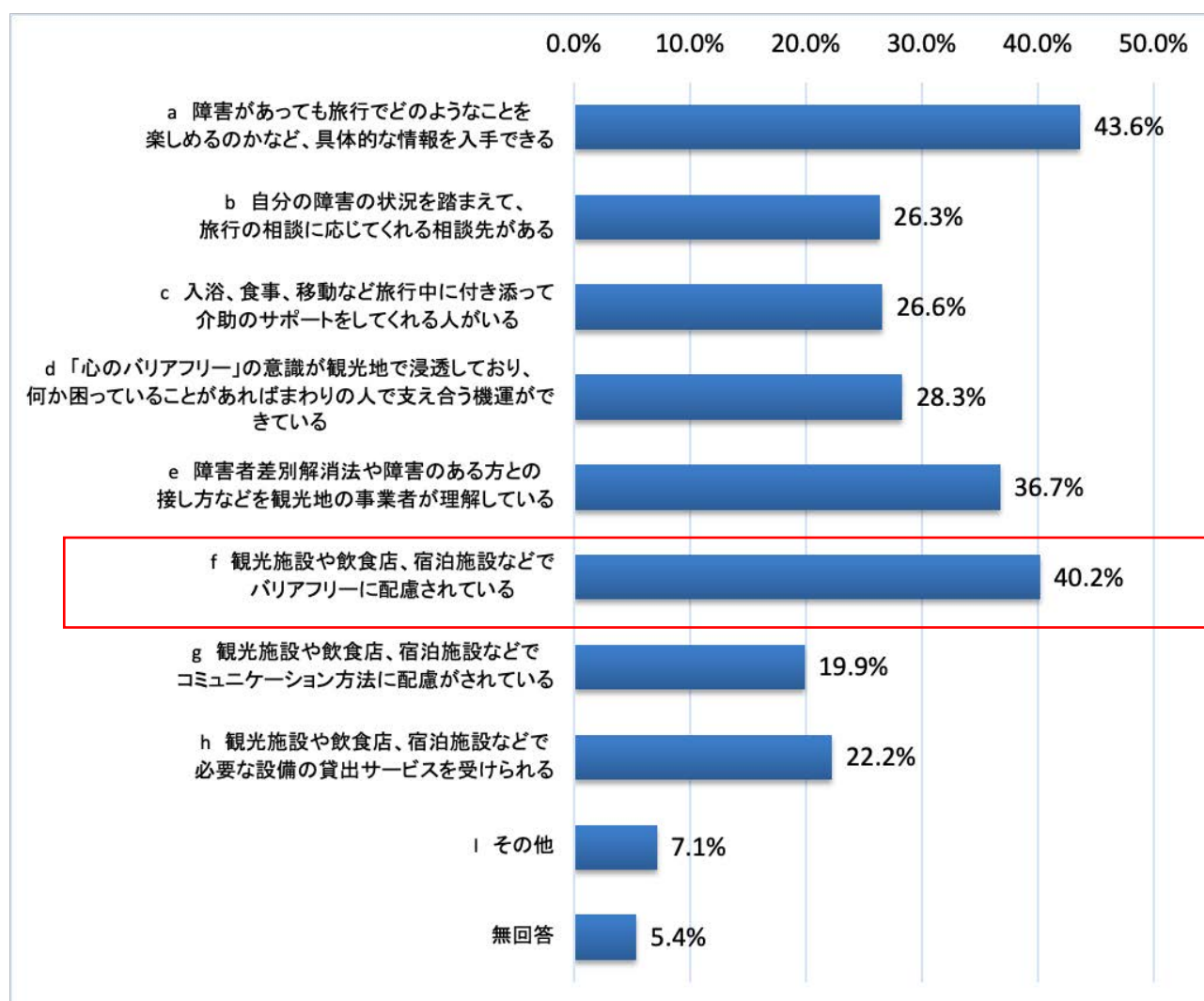
年齢無回答：6

質問) 旅行を諦めずに楽しめるようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。重要と思うものを3つまで選択してください。

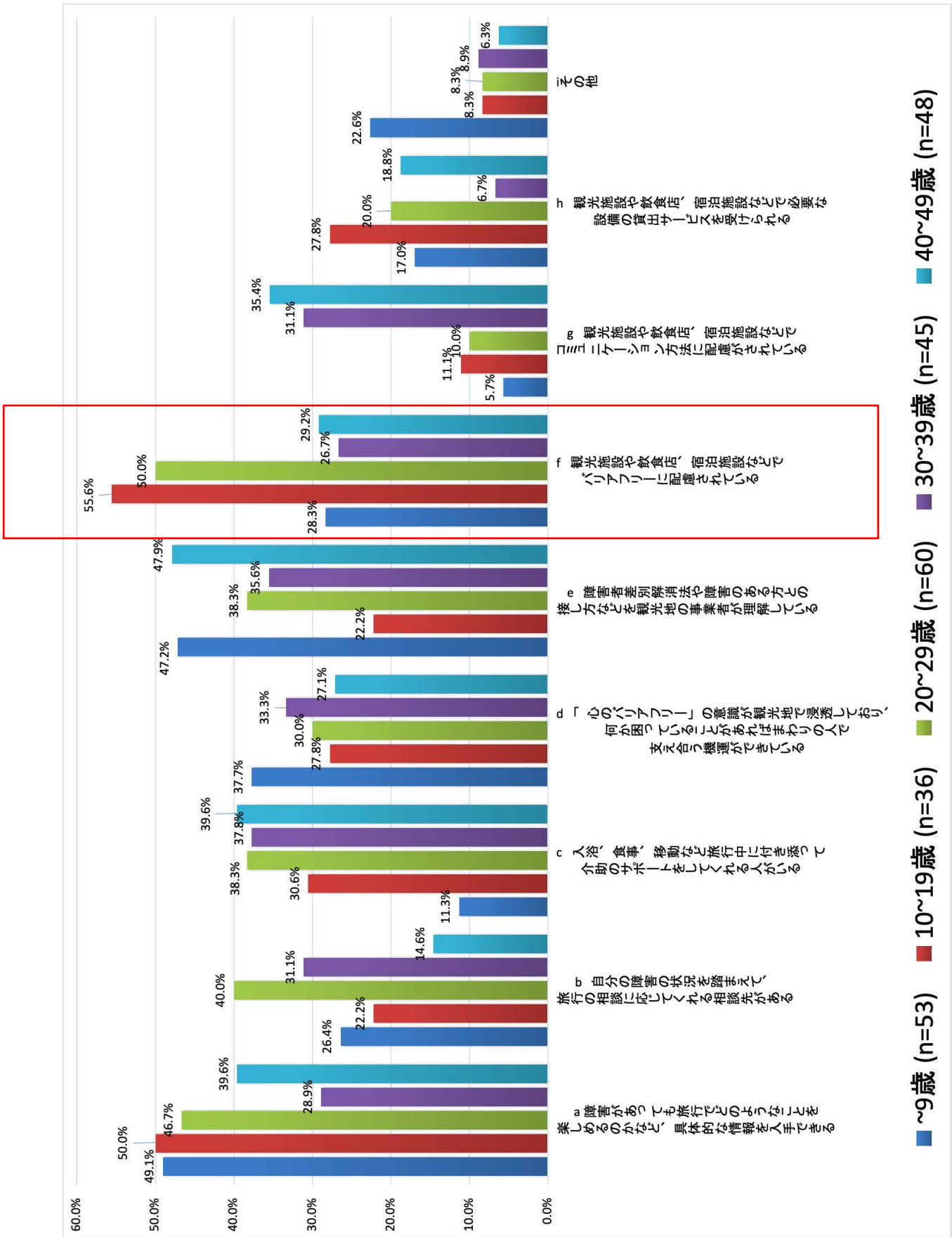
選択肢)

- a 障害があっても旅行でどのようなことを楽しめるのかなど、具体的な情報を入手できる
- b 自分の障害の状況を踏まえて、旅行の相談に応じてくれる相談先がある
- c 入浴、食事、移動など旅行中に付き添って介助のサポートをしてくれる人がいる
- d 「心のバリアフリー」の意識が観光地で浸透しており、何か困っていることがあればまわりの人で支え合う機運ができています。
- e 観光施設や飲食店、宿泊施設などでバリアフリーに配慮されている
- f 観光施設や飲食店、宿泊施設などでコミュニケーション方法に配慮がされている (例：筆談ボードの用意があるなど)
- g 観光施設や飲食店、宿泊施設などで必要な設備の貸出サービスを受けられる (例：観光案内所での車椅子貸出、宿泊施設でシャワーチェアの貸出など)
- h その他

旅行を諦めないために必要な要素 (全体n=463)

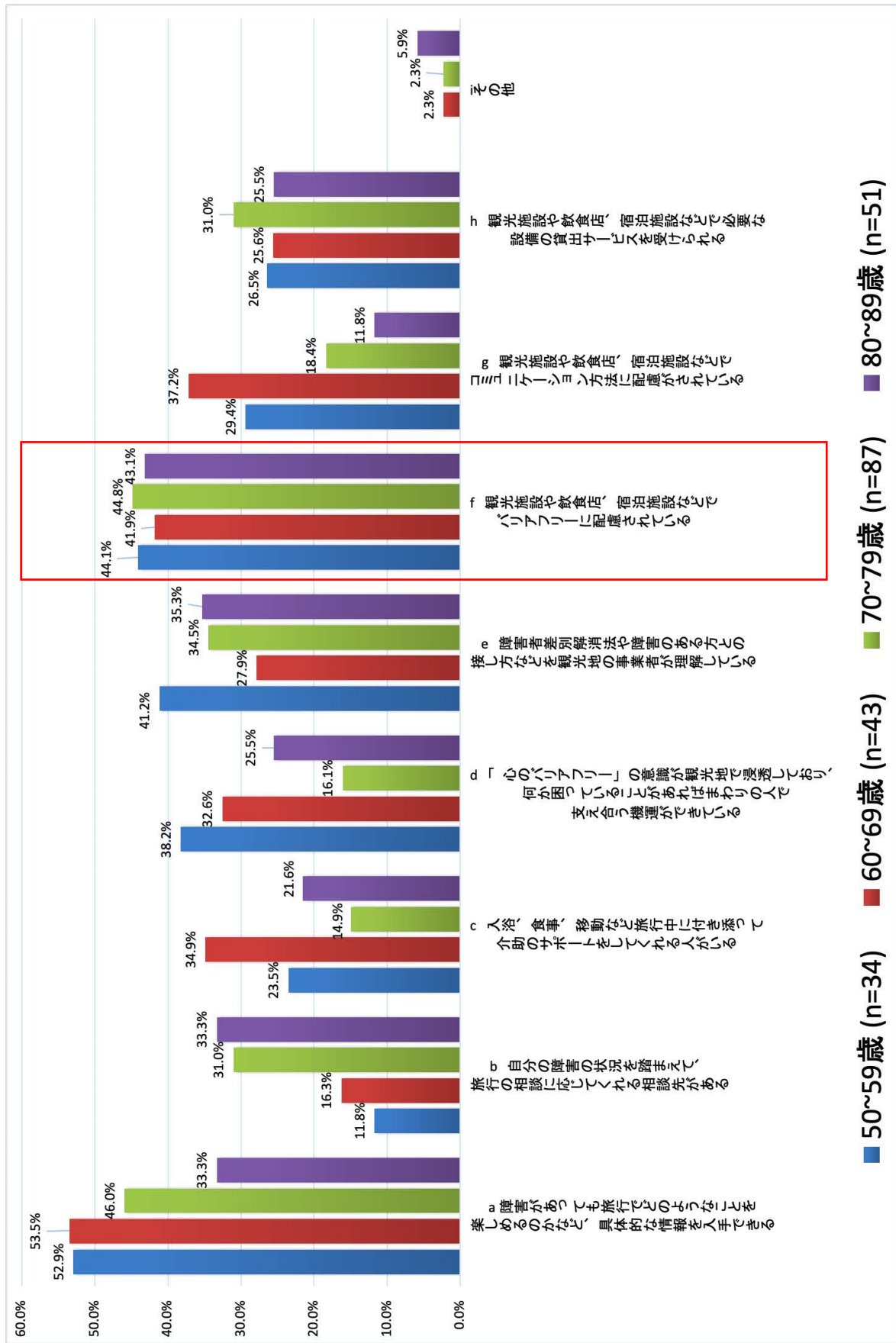


旅行を諦めないために必要な要素（年齢別 0～49歳）



無回答は非表示

旅行を諦めないために必要な要素（年齢別 50～89歳）



無回答は非表示

旅行を諦めないために必要な要素 (障害種別・上位3位)

回答者数	1位	2位	3位
肢体不自由(車椅子利用)	92 施設のバリアフリー 75 (81.5%)	45 (48.9%) 具体的な情報	45 (48.9%) 旅行中のサポート
肢体不自由(車椅子利用なし)	95 施設のバリアフリー 52 (54.7%)	39 (41.1%) 具体的な情報	36 (37.9%) 観光事業者のUT理解
視覚障害	49 旅行中のサポート 30 (61.2%)	21 (42.9%) 施設のバリアフリー	19 (38.8%) 具体的な情報
聴覚障害	71 情報のバリアフリー 36 (50.7%)	34 (47.9%) 観光事業者のUT理解	32 (45.1%) 具体的な情報
音声/言語/そしゃく機能障害	23 施設のバリアフリー 14 (60.9%)	9 (39.1%) 具体的な情報	9 (39.1%) 旅行中のサポート
内部障害	30 具体的な情報 15 (50.0%)	12 (40.0%) 施設のバリアフリー	10 (33.3%) 相談先の存在 観光事業者のUT理解
知的障害	158 具体的な情報 68 (43.0%)	65 (41.1%) 観光事業者のUT理解	63 (39.9%) 施設のバリアフリー
発達障害	74 具体的な情報 35(47.3%)	35(47.3%) 観光事業者のUT理解	29 (39.2%) 心のバリアフリー
精神障害	35 心のバリアフリー 14 (40.0%)	13 (37.1%) 観光事業者のUT理解	10 (28.6%) 相談先の存在 情報のバリアフリー

※ 2位、3位は同数
* 1位、2位は同数

【略表記名】

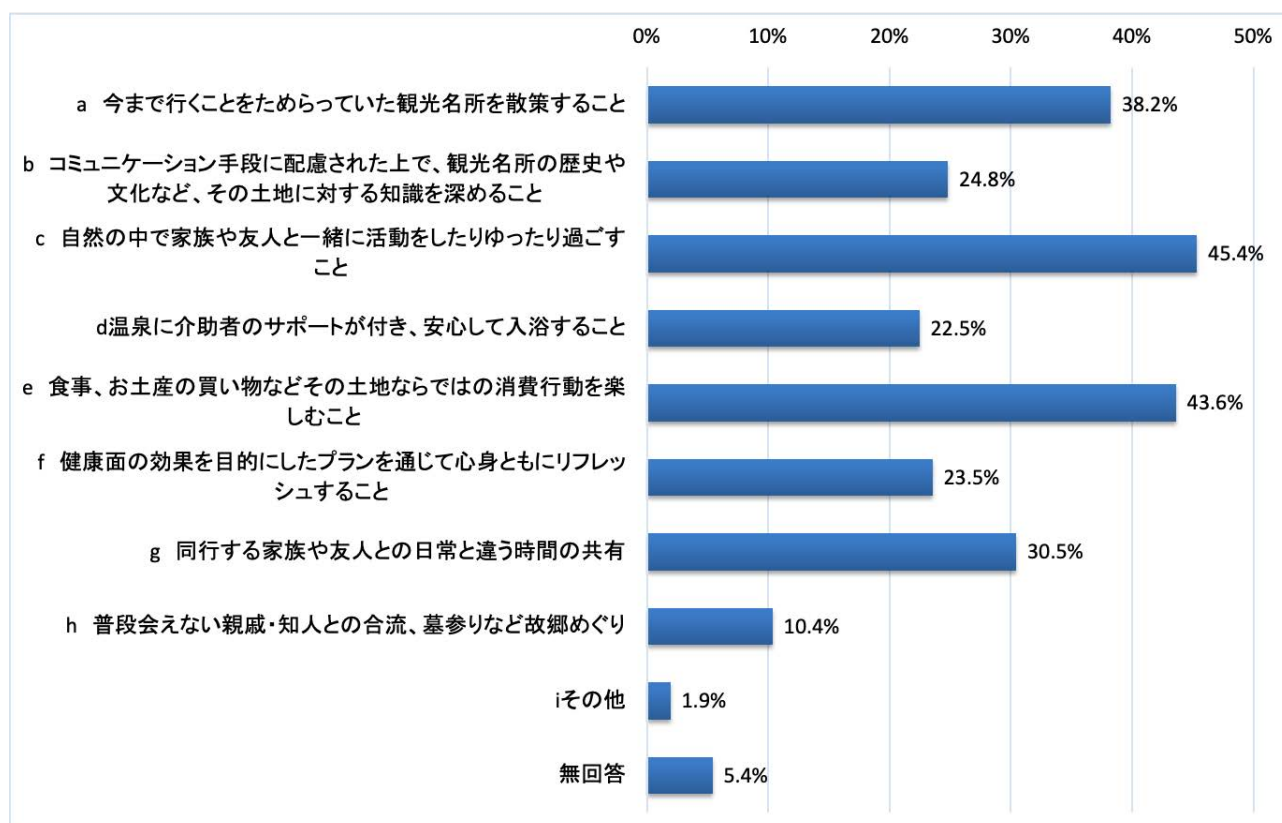
- 具体的な情報
相談先の存在
旅行中のサポート
心のバリアフリー
観光事業者のUT理解
施設のバリアフリー
情報のバリアフリー
必要品の貸し出しサービス
- 選択肢
- a 障害があっても旅行でどのようなことを楽しめるのかなど、具体的な情報を入手できる
b 自分の障害の状況を踏まえて、旅行の相談に応じてくれる相談先がある
c 入浴、食事、移動など旅行中に付き添って介助のサポートをしてくれる人がいる
d 「心のバリアフリー」の意識が観光地で浸透しており、何か困っていることがあればまわりの人で支え合う機運ができていく
e 障害者差別解消法や障害のある方との接し方などを観光地の事業者が理解している
f 観光施設や飲食店、宿泊施設などでバリアフリーに配慮されている
g 観光施設や飲食店、宿泊施設などでコミュニケーション方法に配慮がされている(例: レストランで点字メニューの用意がある、客室チャイム)
h 観光施設や飲食店、宿泊施設などで必要な設備の貸出サービスを受けられる(例: 観光案内所での車椅子貸出、宿泊施設でシャワーチェア)

質問) 旅行を諦めないために必要な要素が満たされた場合、どのようなことを旅行で楽しみたいと思いますか。興味があるものを3つまで選択してください。

選択肢)

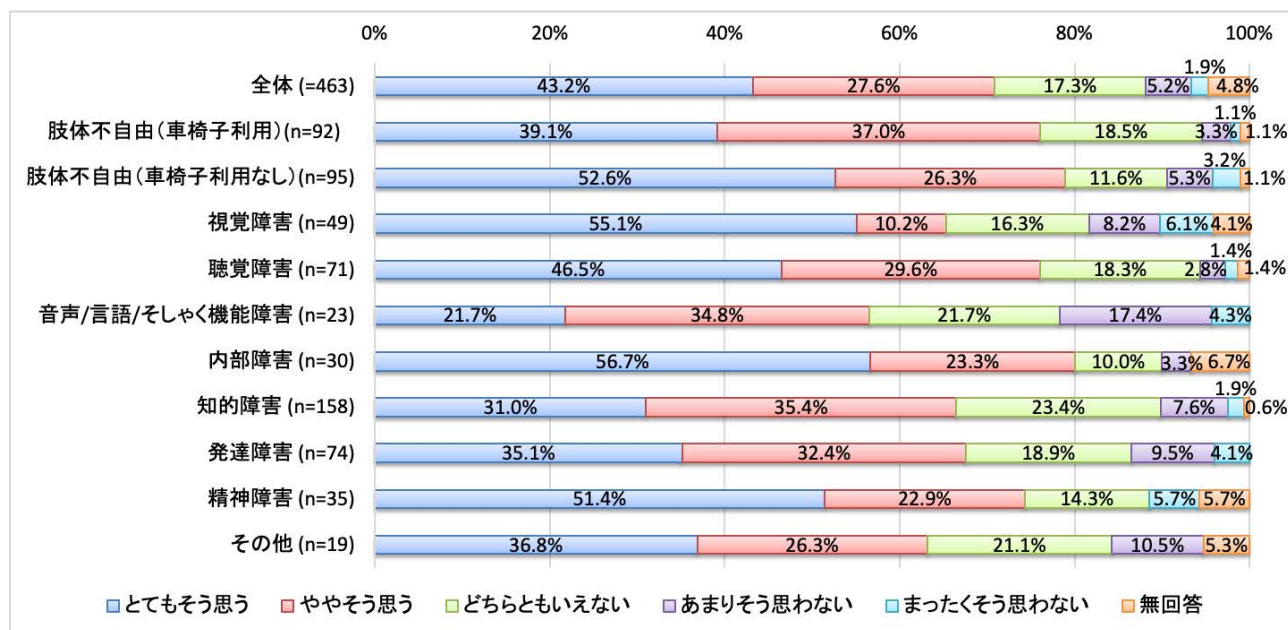
- a 今まで行くことをためらっていた観光名所を散策すること
- b コミュニケーション手段に配慮された上で、観光名所の歴史や文化など、その土地に対する知識を深めること
- c 自然の中で家族や友人と一緒に活動をしたりゆったり過ごすこと
- d 温泉に介助者のサポートが付き、安心して入浴すること
- e 食事、お土産の買い物などその土地ならではの消費行動を楽しむこと
- f 健康面の効果を目的にしたプランを通じて心身ともにリフレッシュすること
- g 同行する家族や友人との日常と違う時間の共有
- h 普段会えない親戚・知人との合流、墓参りなど故郷めぐり

必要な要素が満たされた場合旅行で楽しみたいこと (全体)



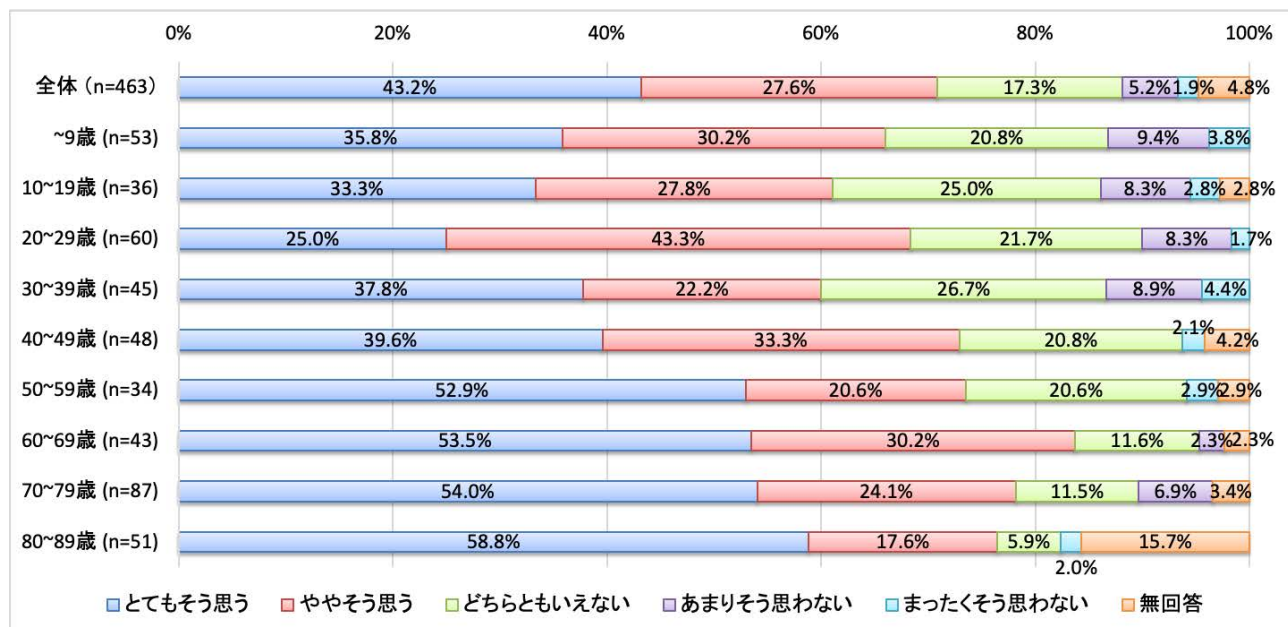
質問) 旅行を検討するとき、旅行プランが土日より平日の方が安かった場合、平日に行きたいと思いますか。

平日旅行プランの利用希望 (障害別)



障害種無回答: 16

平日旅行プランの利用希望 (年齢別)

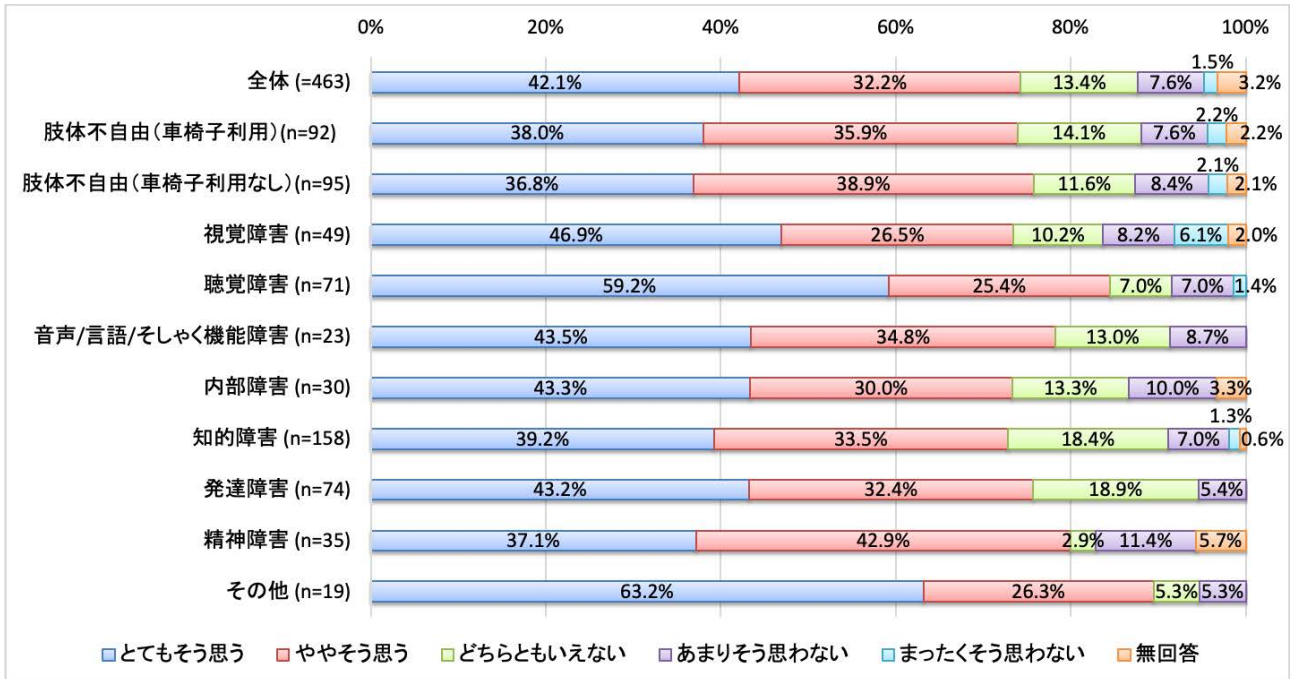


年齢無回答: 6

<自然体験型の旅行ニーズについて>

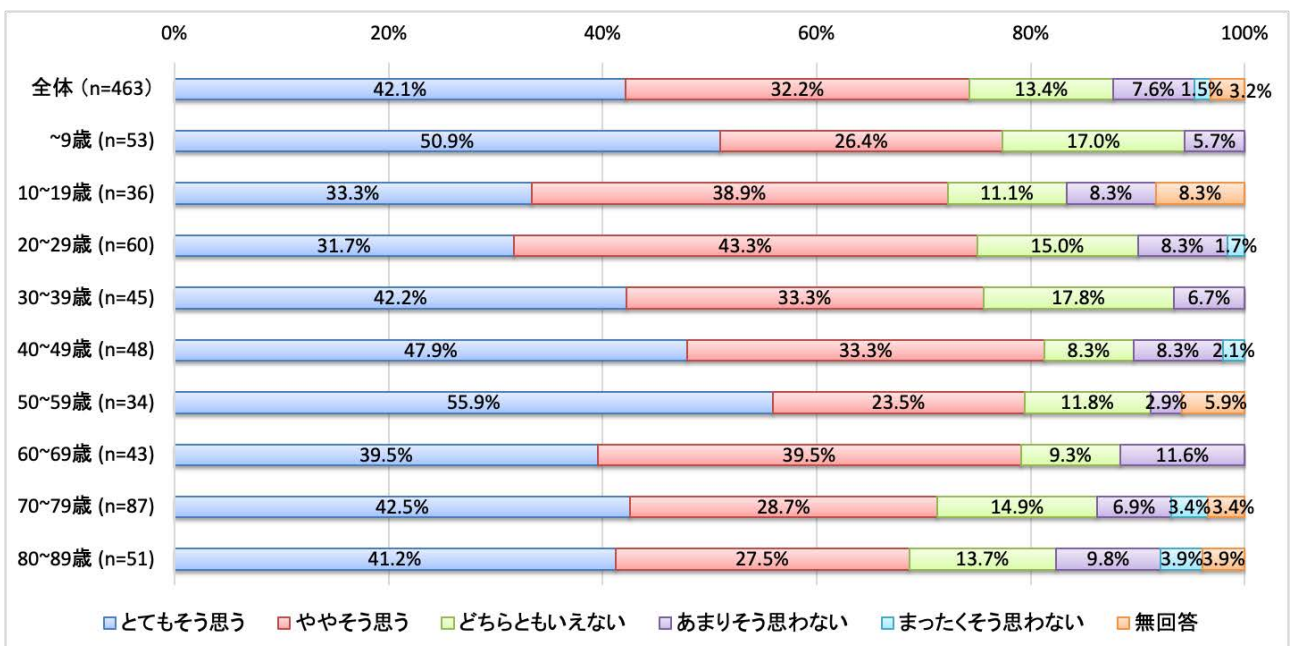
質問) 山、高原、川、湖など自然の中での四季を通した旅行を楽しみたいと思いますか。

自然を活用した旅行の実施希望 (障害別)



障害種無回答: 16

自然を活用した旅行の実施希望 (年齢別)

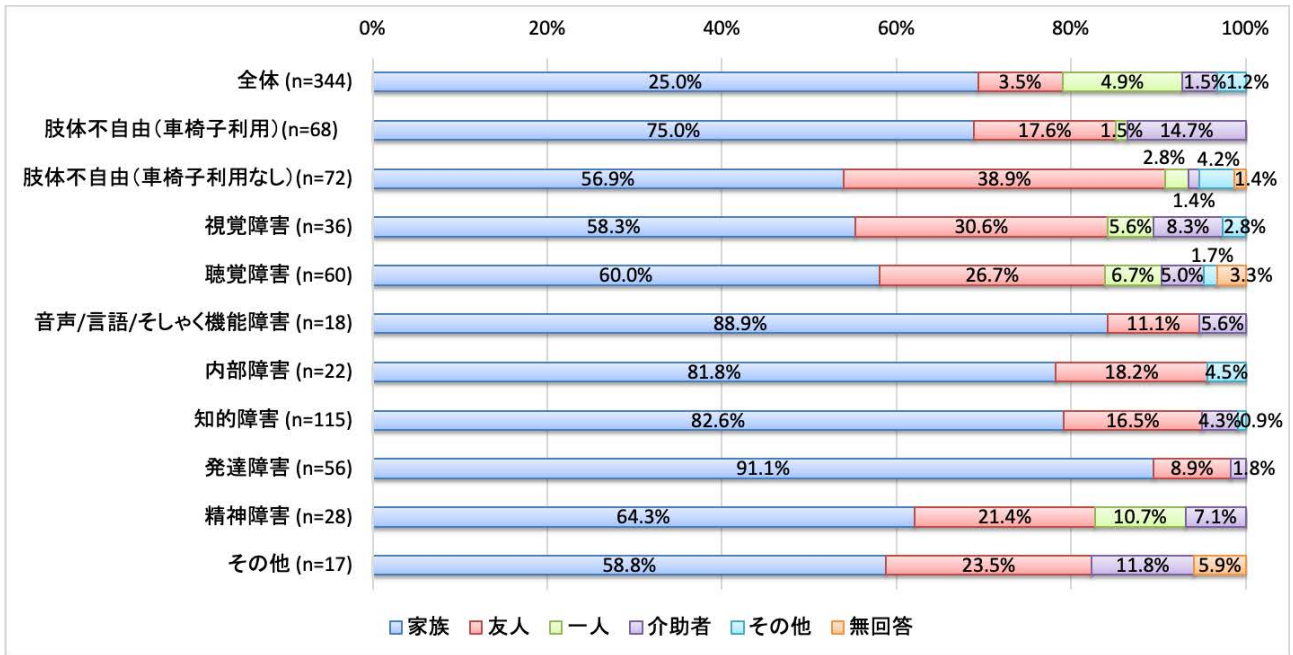


年齢無回答: 6

「山、高原、川、湖など自然の中での四季を通した旅行を楽しみたいと思う（とてもそう思う・ややそう思う）人」に伺います(n=344)。

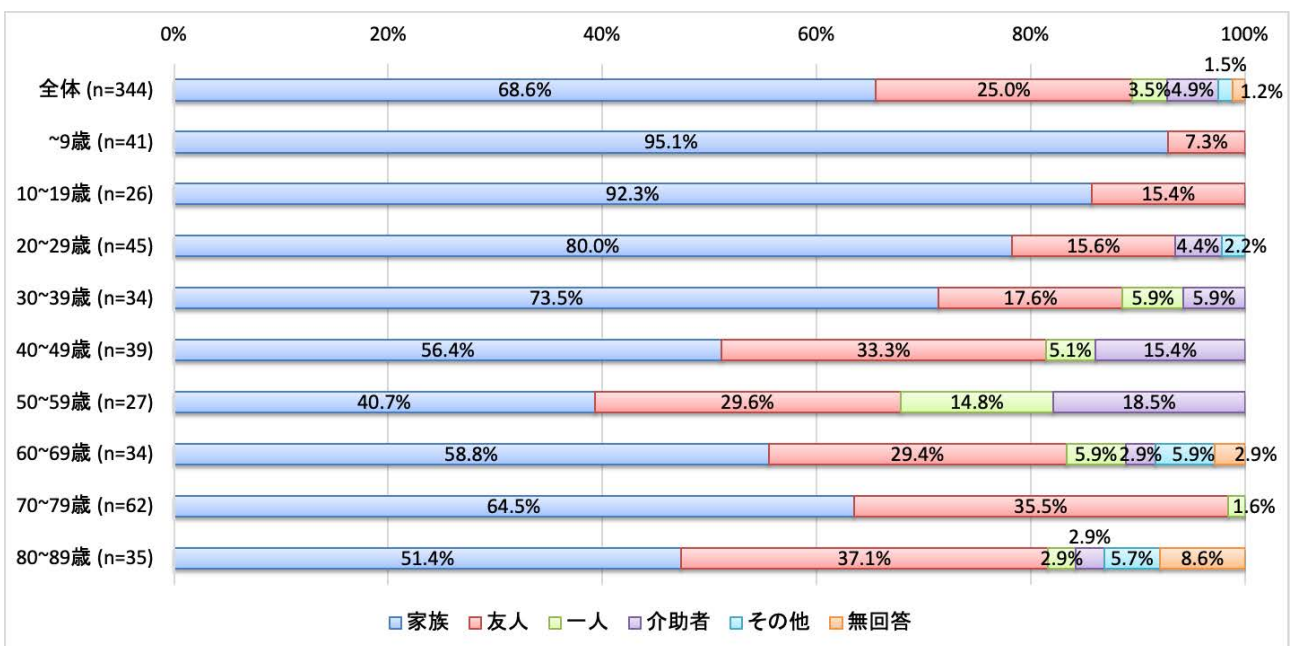
質問) どなたと楽しみたいと思いますか。最も当てはまるものを1つ選択してください。

自然の中での旅行を一緒に楽しみたい相手 (障害種別)



障害種無回答：5

自然の中での旅行を一緒に楽しみたい相手 (年齢別)



年齢無回答：1

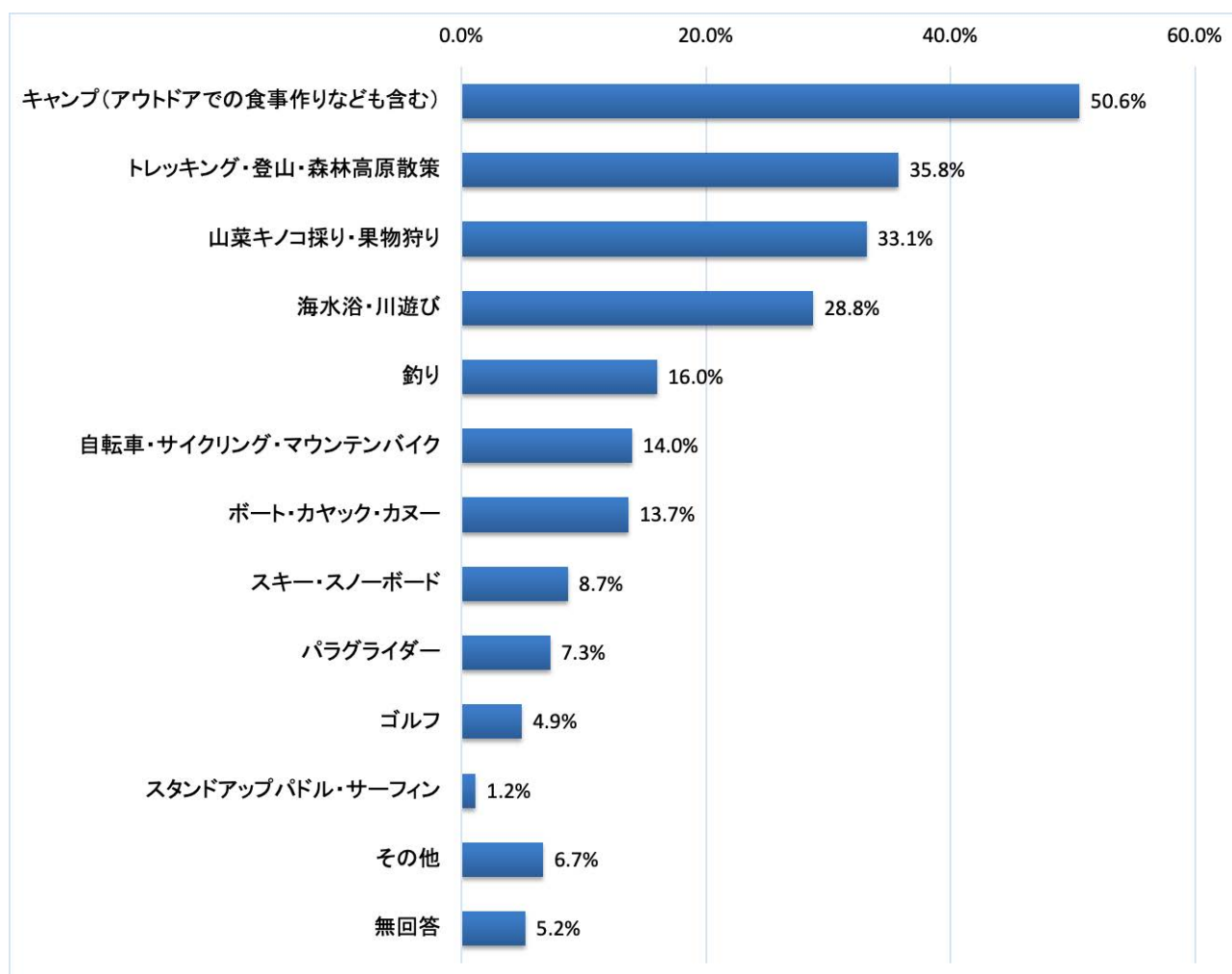
「山、高原、川、湖など自然の中での四季を通した旅行を楽しみたいと思う（とてもそう思う・ややそう思う）人」に伺います(n=344)。

質問) 自然の中でどのようなことをして楽しみたいと思いますか。

選択肢)

- a トレッキング・登山・森林高原散策
- b キャンプ（アウトドアでの食事作りなども含む）
- c 自転車・サイクリング・マウンテンバイク
- d 釣り
- e ゴルフ（グランドゴルフ・パターゴルフなども含む）
- f 山菜キノコ採り・果物狩り
- g ボート・カヤック・カヌー
- h スタンドアップパドル・サーフィン
- i 海水浴・川遊び
- j スキー・スノーボード
- k パラグライダー
- l その他

自然の中で実施してみたいこと（全体・順位順表示）



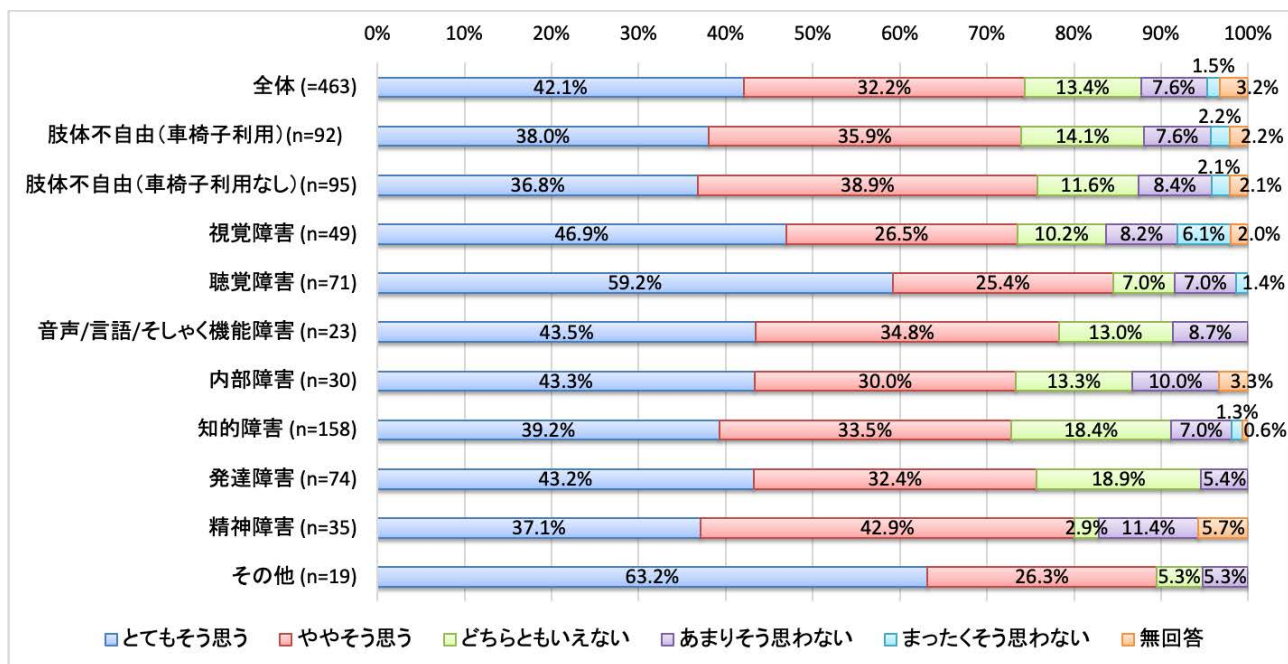
自然の中で実施してみたいこと（障害種別・上位3位）

回答者数	1位	2位	3位
肢体不自由(車椅子利用)	68 キャンプ・食事作り	41 (60.3%)	29 (42.6%) 海水浴・川遊び
肢体不自由(車椅子利用なし)	72 キャンプ・食事作り	35 (48.6%)	30 (41.7%) 山菜キノコ狩り・具果物狩り
視覚障害	36 キャンプ・食事作り	16 (44.4%)	15 (41.7%) トレッキング・登山
聴覚障害	60 キャンプ・食事作り	31 (51.7%)	30 (50.0%) トレッキング・登山
音声/言語/そしゃく機能障害	18 トレッキング・登山	14 (77.8%)	9 (50.0%) キャンプ・食事作り
内部障害	22 キャンプ・食事作り	12 (54.4%)	11 (50.0%) 山菜キノコ狩り・具果物狩り
知的障害	115 キャンプ・食事作り	70 (60.9%)	58 (50.4%) 海水浴・川遊び
発達障害	56 キャンプ・食事作り	34 (60.7%)	30 (53.6%) 海水浴・川遊び
精神障害	28 キャンプ・食事作り	13 (46.4%)	8 (28.6%) トレッキング・登山
			5 (22.7%) 釣り
			40 (34.8%) トレッキング・登山
			20 (35.7%) トレッキング・登山
			8 (28.6%) サイクリング

※ 2位、3位は同数

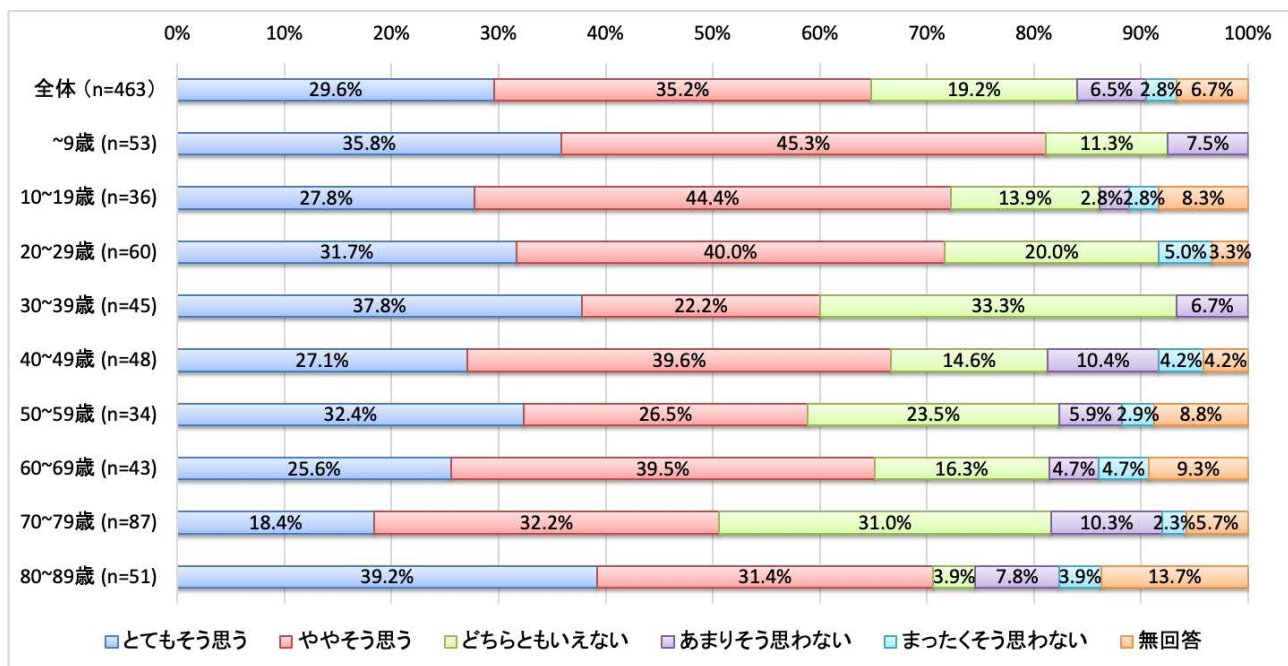
質問) ご自身の年齢や体力、一緒に旅行する人の希望に合わせて、自然の中での体験内容を提案してくれる専門家がいたら利用したいと思いますか。

自然の中での旅行や体験内容提案の専門家の利用希望 (障害種別)



障害種無回答: 16

自然の中での旅行や体験内容提案の専門家の利用希望 (年齢別)



年齢無回答: 6

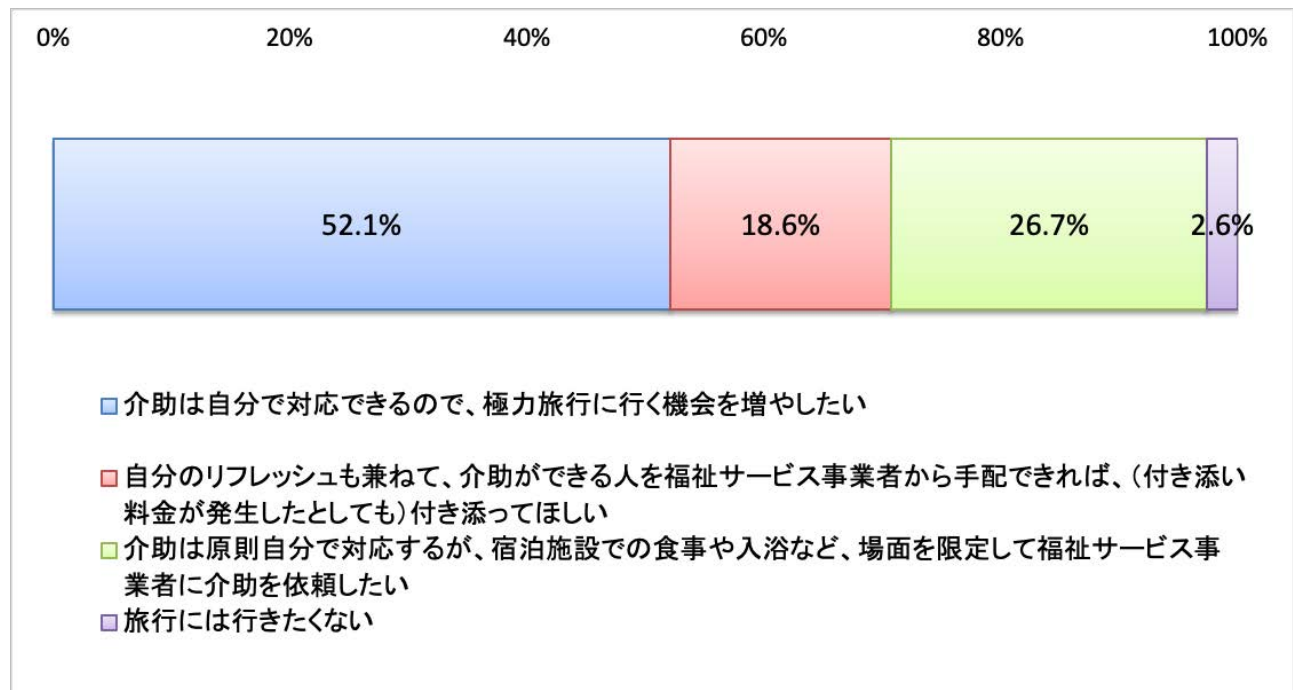
障害のある方を介助されている方に伺います。

質問) 障害のある方との旅行にあたり、今の考えに最も近いものを選択してください。(回答数 311)

選択肢)

- a 介助は自分で対応できるので、極力旅行に行く機会を増やしたい。
- b 自分のリフレッシュも兼ねて、介助ができる人を福祉サービス事業者から手配できれば、(付き添い料金が発生したとしても) 付き添ってほしい。
- c 介助は原則自分で対応するが、宿泊施設での食事や入浴など、場面を限定して福祉サービス業者に介助を依頼したい。
- d 旅行には行きたくない。

障害のある方との旅行に関する介助者の考え



Ⅱ. 調査結果の報告

(2) 高齢者（要介護・要支援）調査について

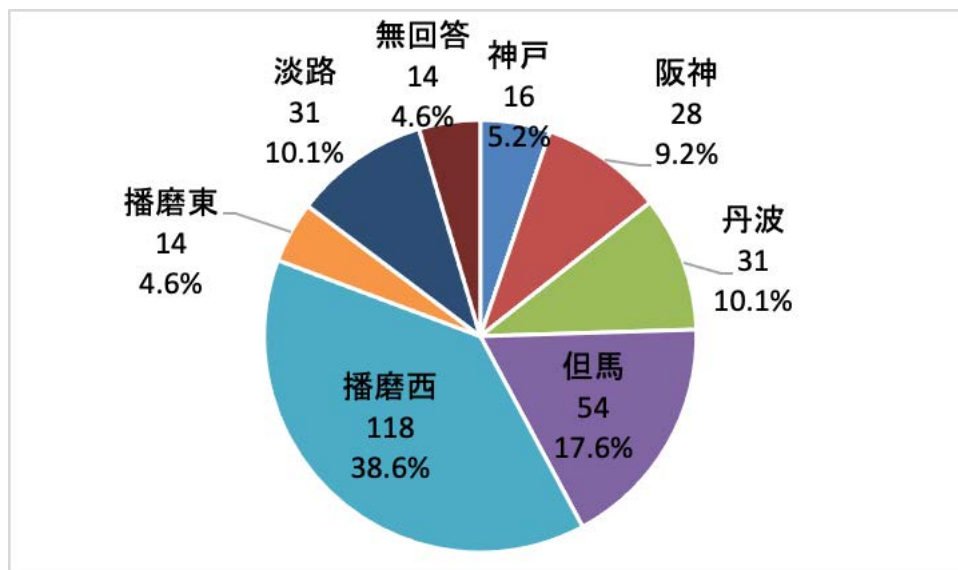
II-（2）高齢者（要介護・要支援）調査について

高齢者（要介護・要支援）アンケート調査において、307名より回答を得た。回答者が調査対象本人でない場合は、本人の意向を踏まえ代理人より回答いただくように依頼した。

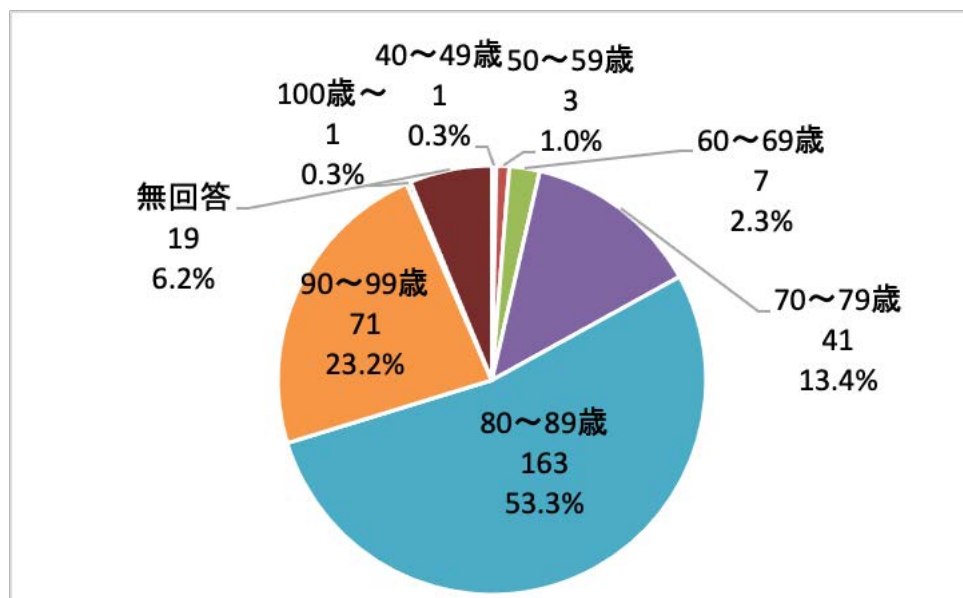
回答者は、本人回答246名（80.4%）、代理回答（介護職員・配偶者・親子・友人等）48名（23.3%）、回答者無回答13名（6.3%）であった。回答者の属性及び結果は以下の通りである。

1) 回答者の属性

質問) 居住エリアについて教えてください。

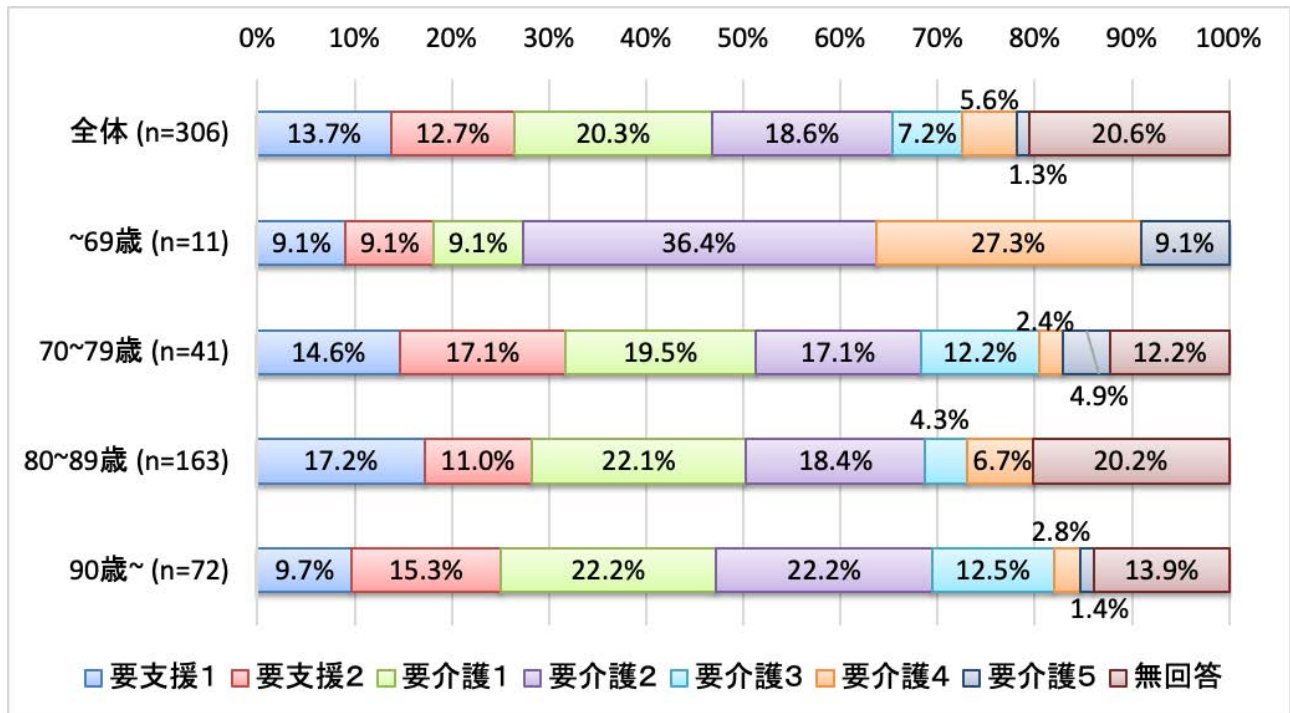


質問) 年齢（R4. 3. 31時点）について教えてください。



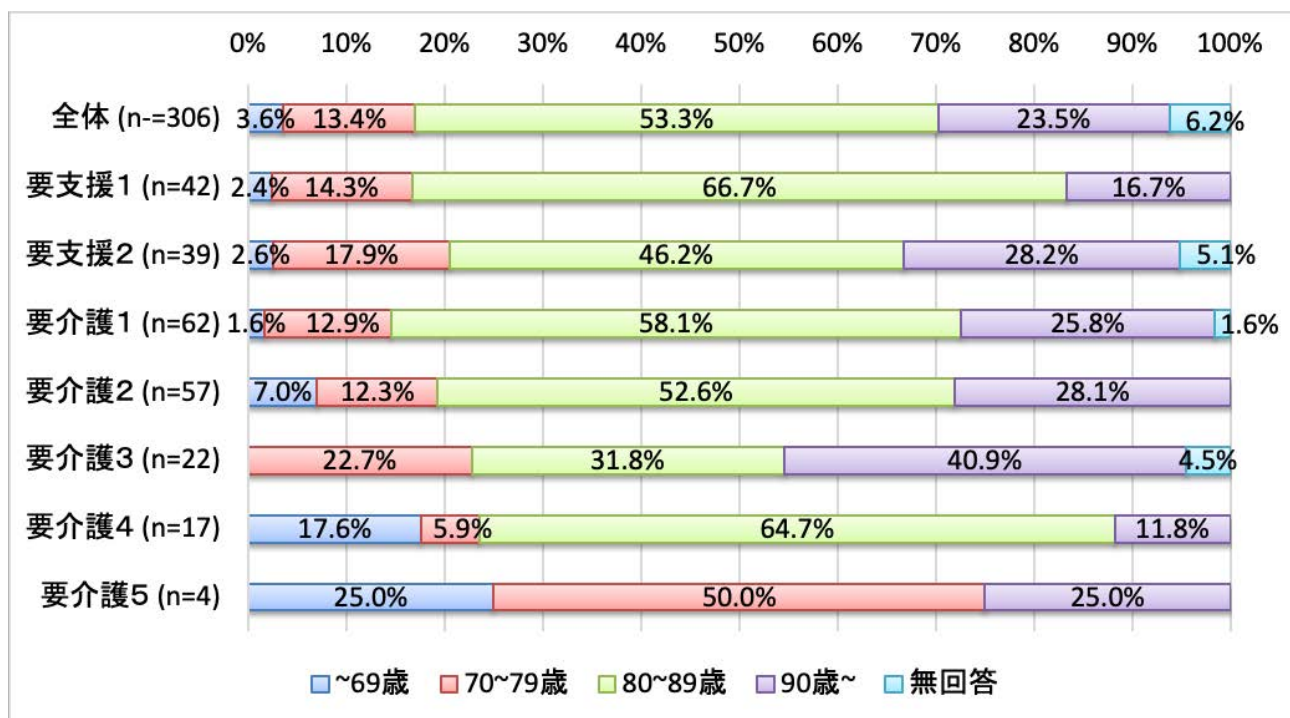
質問) 現在の要介護・要支援区分を教えてください。

年齢別介護度



年齢無回答：19

介護度別年齢割



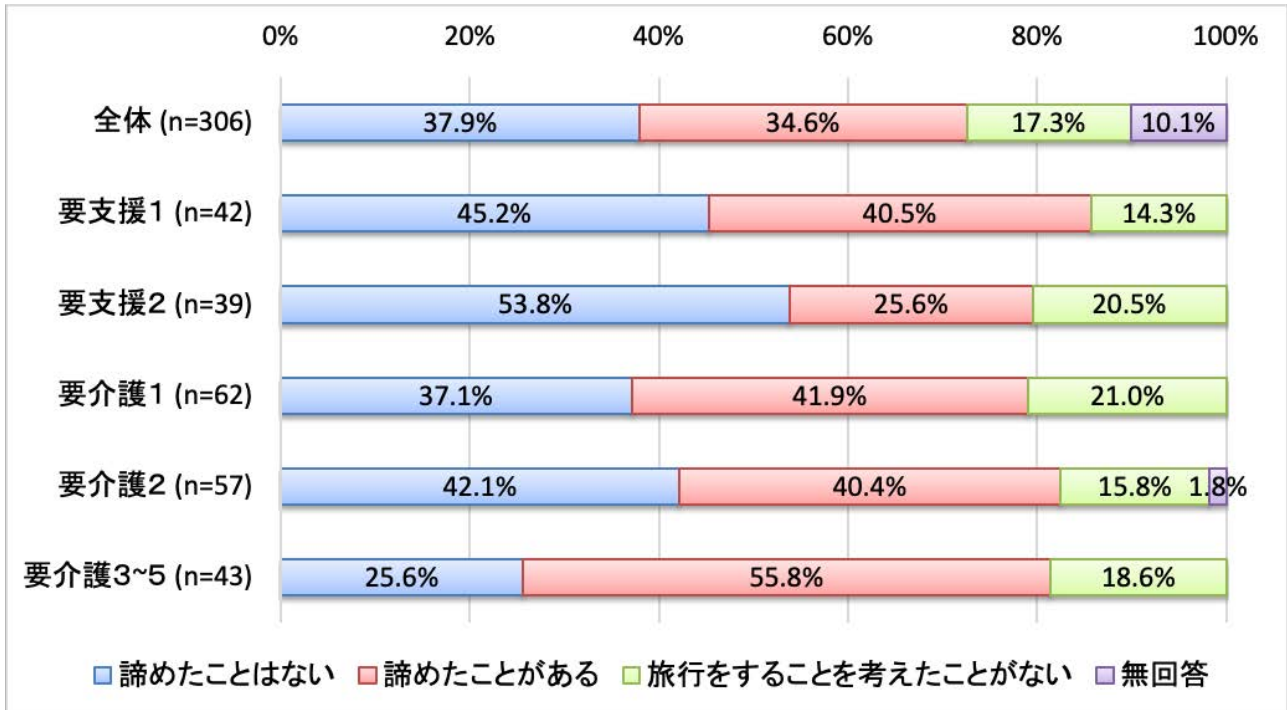
介護度無回答：63

以降の結果については、人数比及び心身の状態を踏まえ、要支援1、要支援2、要介護1、要介護2、要介護3~5の5つのグループ別に結果を表示する。

<一般旅行全般のニーズについて>

質問) これまで、要介護・要支援であることを理由に旅行を諦めたことはありますか。

要介護・要支援であることによる旅行の諦めの有無

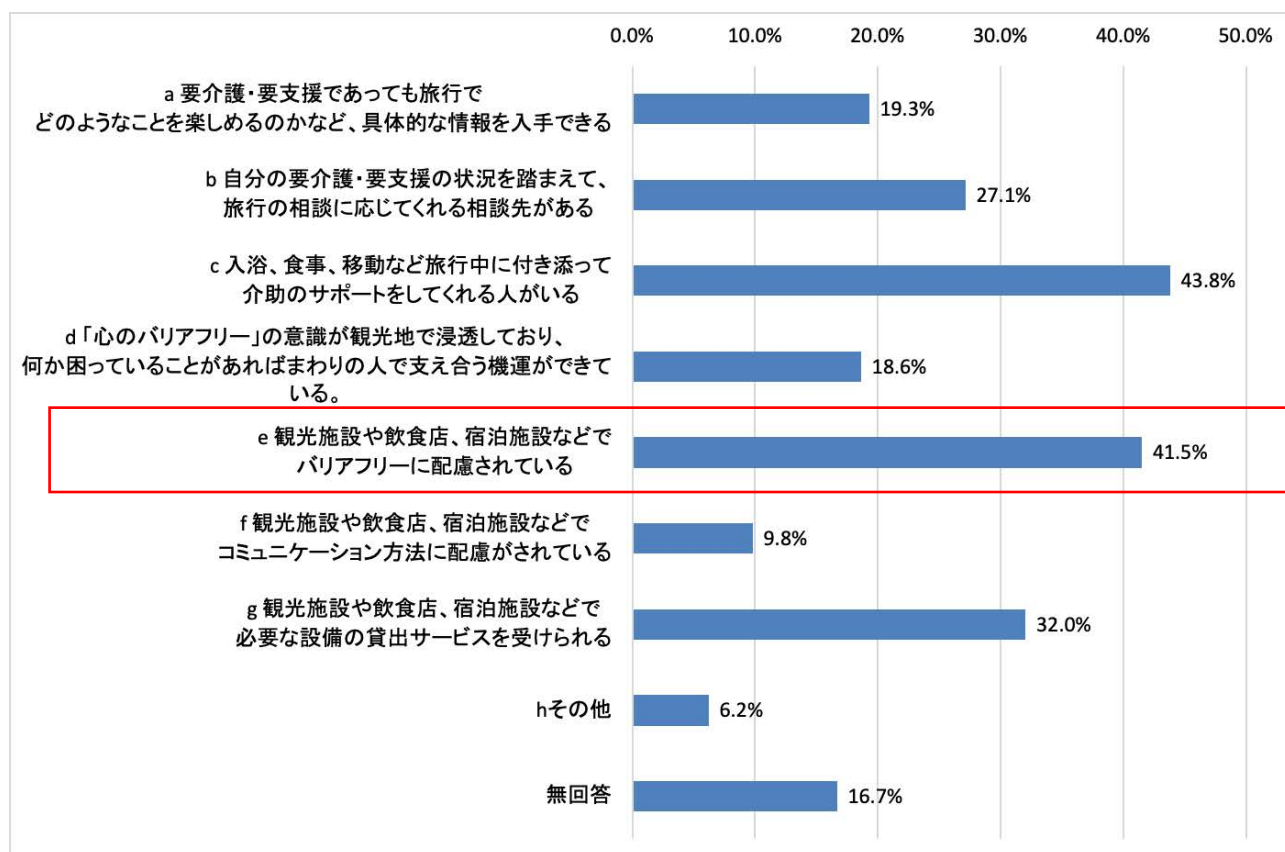


質問) 旅行を諦めずに楽しめるようになるまたは、今後もっと楽しめるようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。重要と思うものを3つまで選択してください。

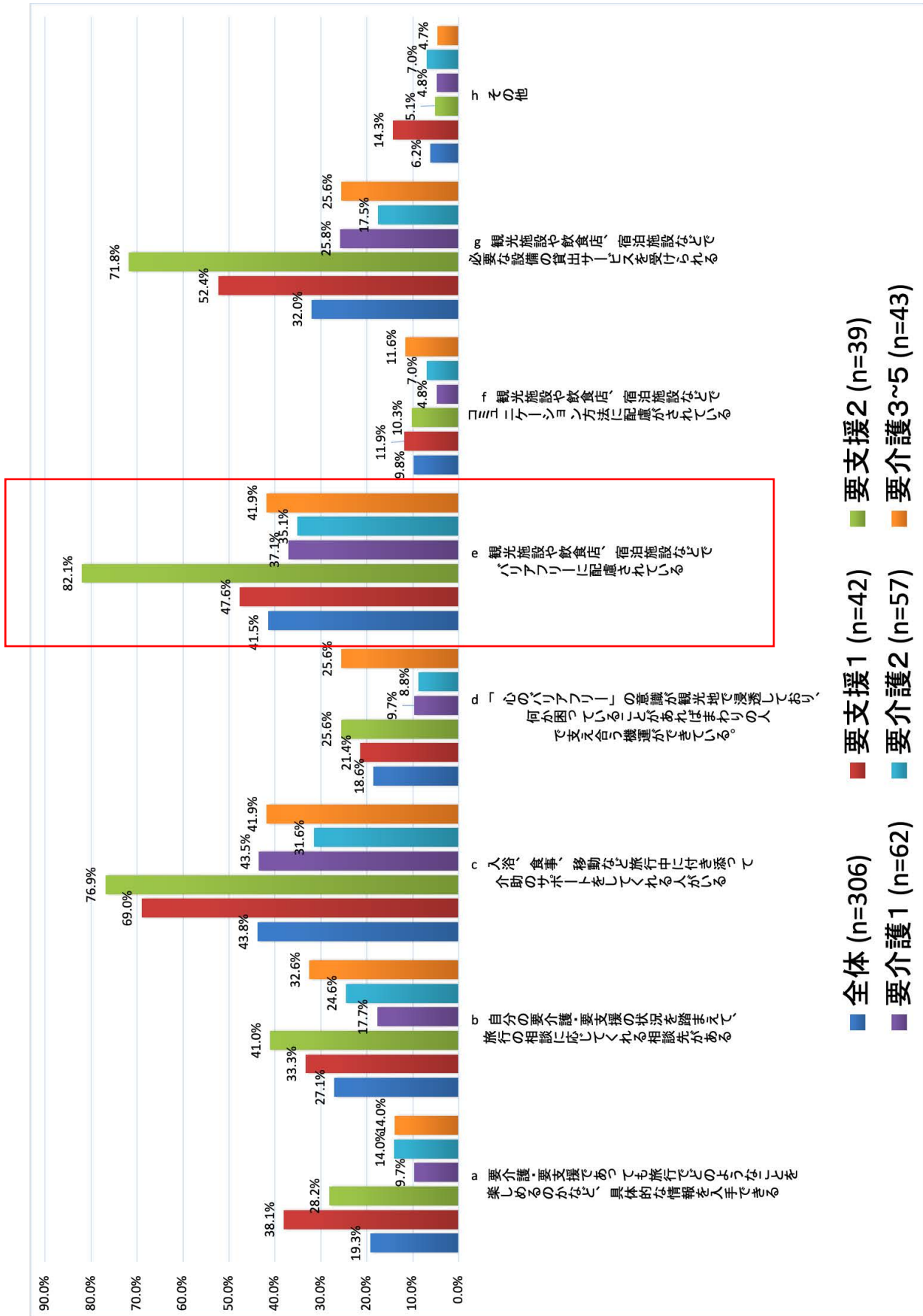
選択肢)

- a 要介護・要支援であっても旅行でどのようなことを楽しめるのかなど、具体的な情報を入手できる
- b 自分の要介護・要支援の状況を踏まえて、旅行の相談に応じてくれる相談先がある
- c 入浴、食事、移動など旅行中に付き添って介助のサポートをしてくれる人がいる
- d 「心のバリアフリー」の意識が観光地で浸透しており、何か困っていることがあればまわりの人で支え合う機運ができています。
- e 観光施設や飲食店、宿泊施設などでバリアフリーに配慮されている
- f 観光施設や飲食店、宿泊施設などでコミュニケーション方法に配慮がされている (例：筆談ボードの用意があるなど)
- g 観光施設や飲食店、宿泊施設などで必要な設備の貸出サービスを受けられる (例：観光案内所での車椅子貸出、宿泊施設でシャワーチェアの貸出など)
- h その他

旅行を諦めないために必要な要素 (全体n=306)



旅行を諦めないために必要な要素



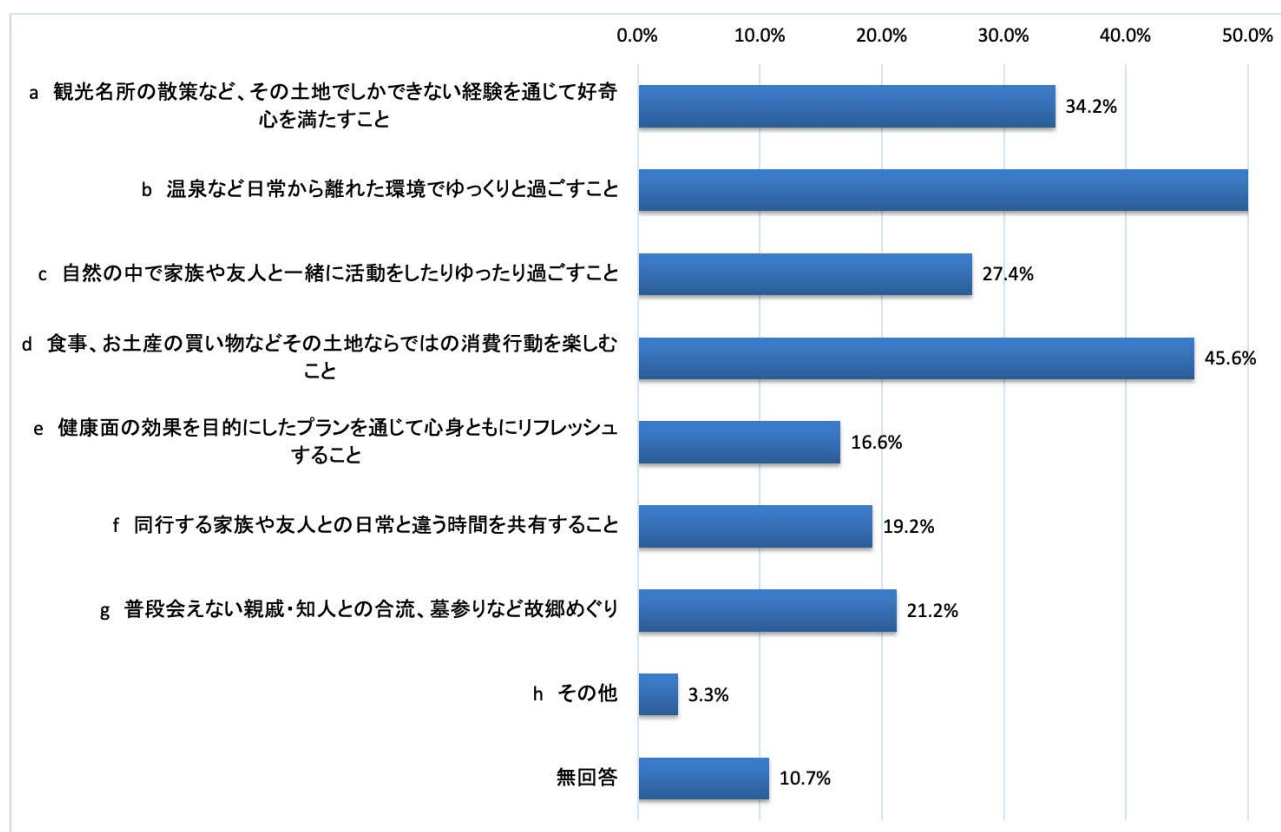
無回答は非表示

質問) 前述の内容が満たされた場合、どのようなことを旅行で楽しみたいと思いますか。重要と思うものを3つまで選択してください。

選択肢)

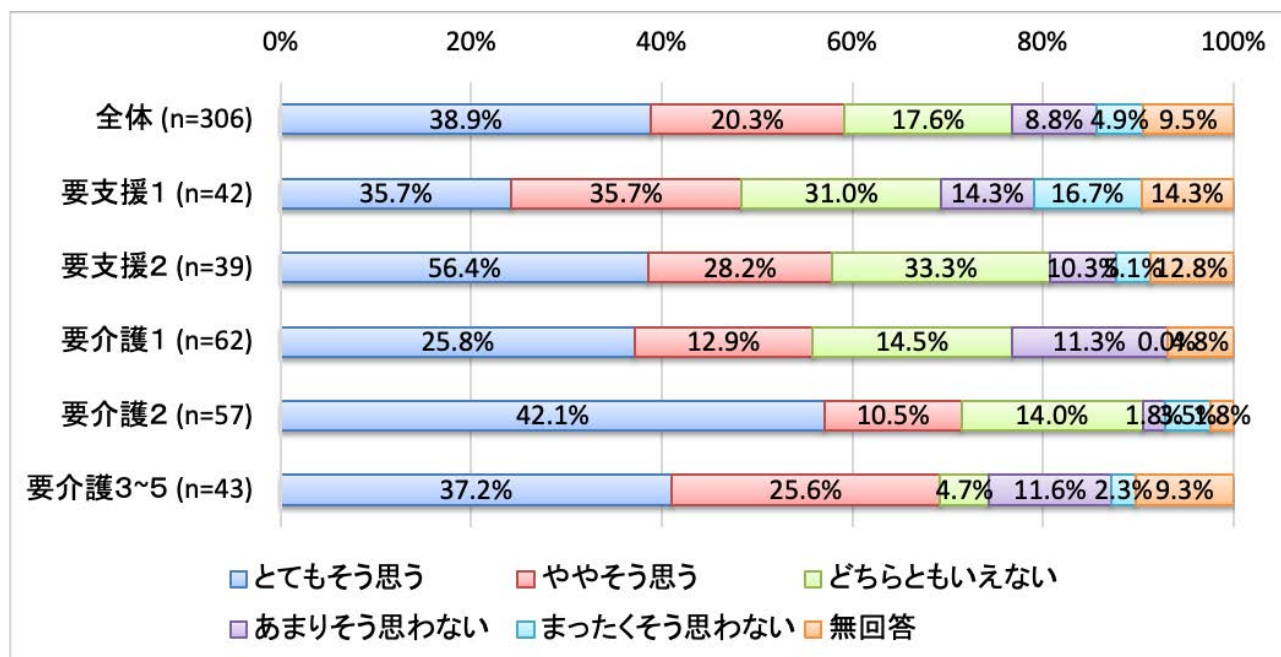
- a 観光名所の散策など、その土地でしかできない経験を通じて好奇心を満たすこと
- b 温泉など日常から離れた環境でゆっくりと過ごすこと
- c 自然の中で家族や友人と一緒に活動をしたりゆったり過ごすこと
- d 食事、お土産の買い物などその土地ならではの消費行動を楽しむこと
- e 健康面の効果を目的にしたプランを通じて心身ともにリフレッシュすること
- f 同行する家族や友人との日常と違う時間を共有すること
- g 普段会えない親戚・知人との合流、墓参りなど故郷めぐり

必要な要素が満たされた場合に旅行で楽しみたいこと (全体)



質問) 旅行を検討する際に、旅行プランが土日より平日の方が安かった場合、平日に行きたいと思いますか。

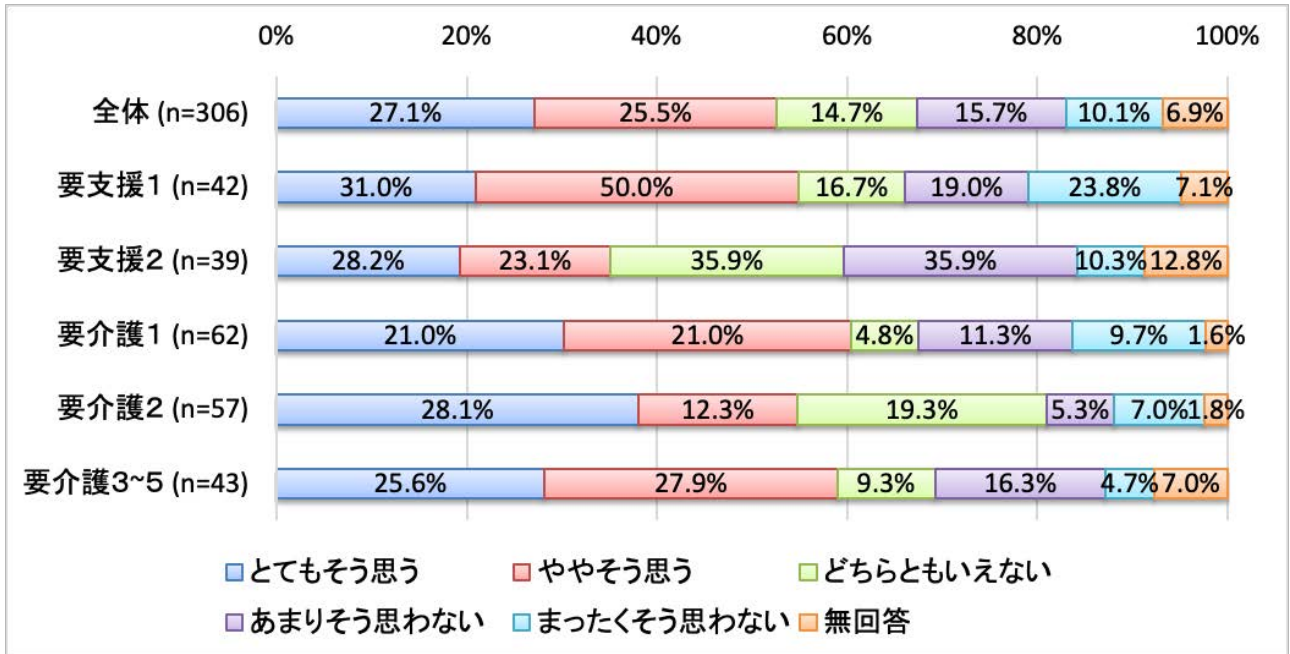
平日旅行プランの利用希望



<自然体験型の旅行ニーズについて>

質問) 山、高原、川、湖など自然の中での四季を通した旅行を楽しみたいと思いますか。

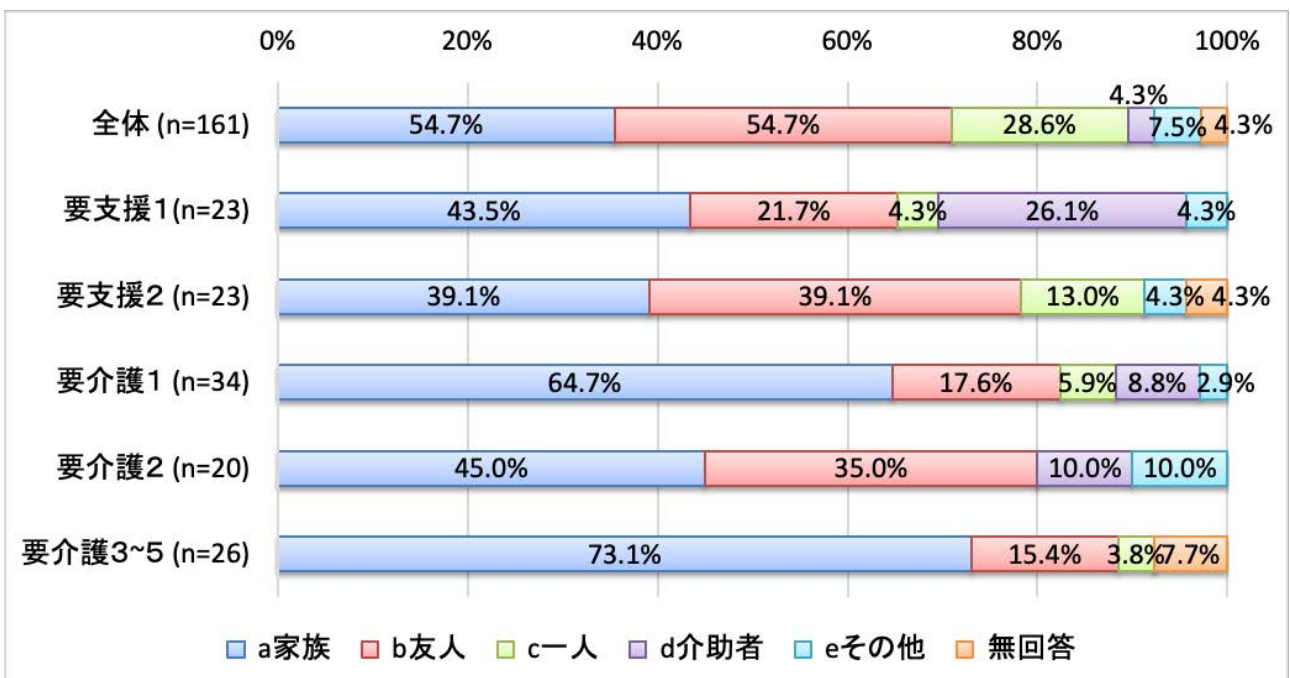
自然を活用した旅行の実施希望



「山、高原、川、湖など自然の中での四季を通した旅行を楽しみたいと思う（とてもそう思う・ややそう思う）人」に伺います(n=161)。

質問) どなたと楽しみたいと思いますか。最も当てはまるものを1つ選択してください。

自然の中での旅行を一緒に楽しみたい相手



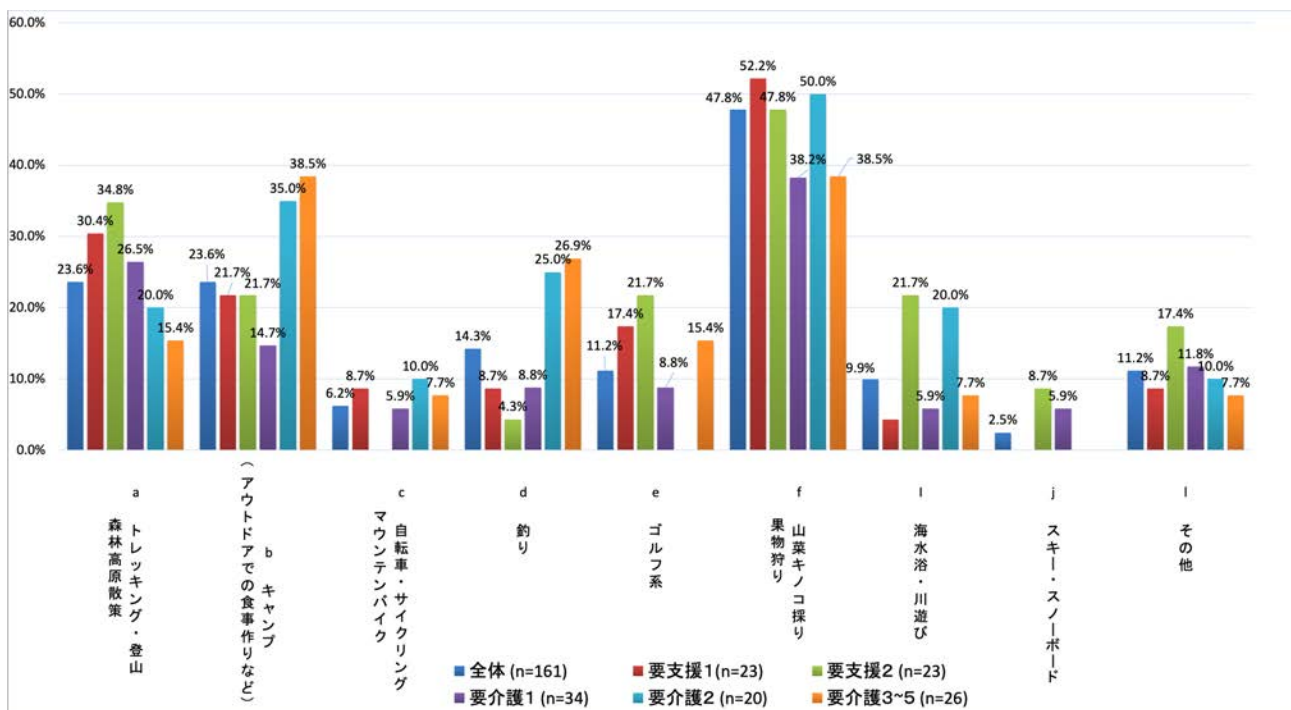
「山、高原、川、湖など自然の中での四季を通した旅行を楽しみたいと思う（とてもそう思う・ややそう思う）人」に伺います(n=161)。

質問) 自然の中でどのようなことをしてみたいと思いますか。興味があるものを3つまで選択してください。

選択肢)

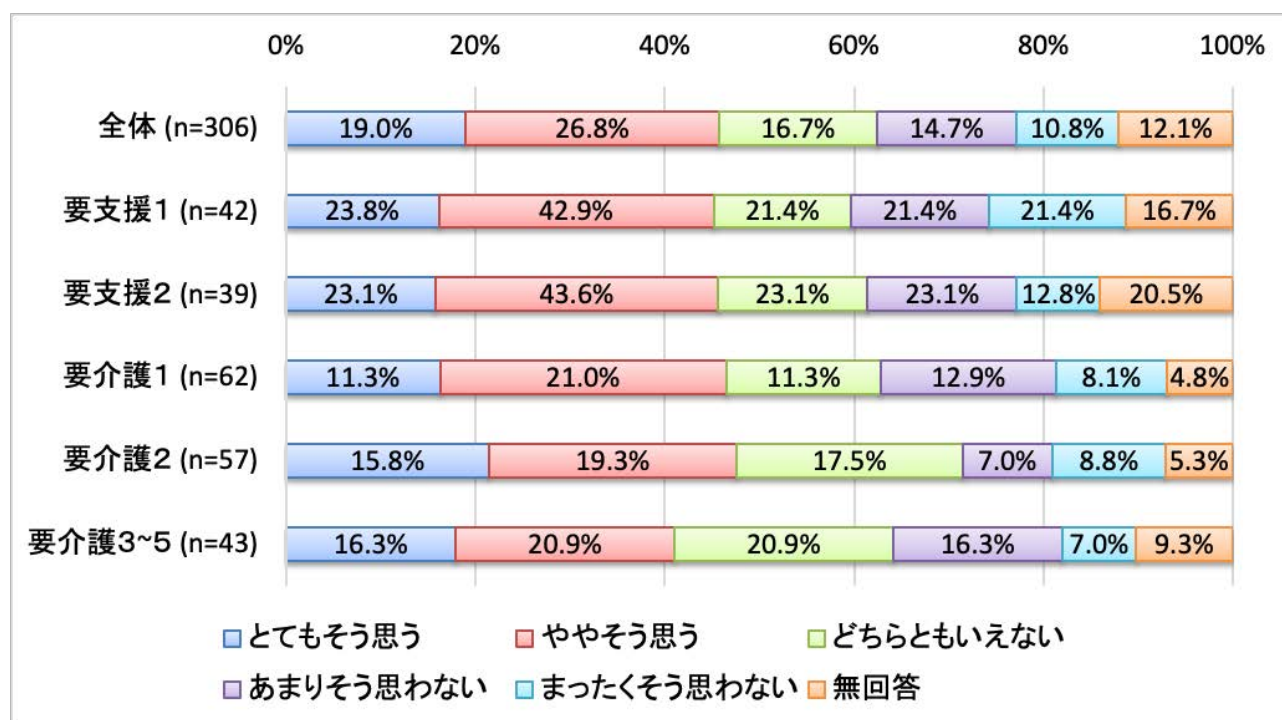
- a トレッキング・登山・森林高原散策
- b キャンプ（アウトドアでの食事作りなども含む）
- c 自転車・サイクリング・マウンテンバイク
- d 釣り
- e ゴルフ（グランドゴルフ・パターゴルフなども含む）
- f 山菜キノコ採り・果物狩り
- g ボート・カヤック・カヌー
- h スタンドアップパドル・サーフィン
- i 海水浴・川遊び
- j スキー・スノーボード
- k パラグライダー
- l その他

自然の中で実施してみたいこと（一部表示）



質問) ご自身の年齢や体力、一緒に旅行する人の希望に合わせて、自然の中での体験内容を提案してくれる専門家がいたら利用したいと思いますか。

自然の中での旅行や体験内容提案の専門家の利用希望



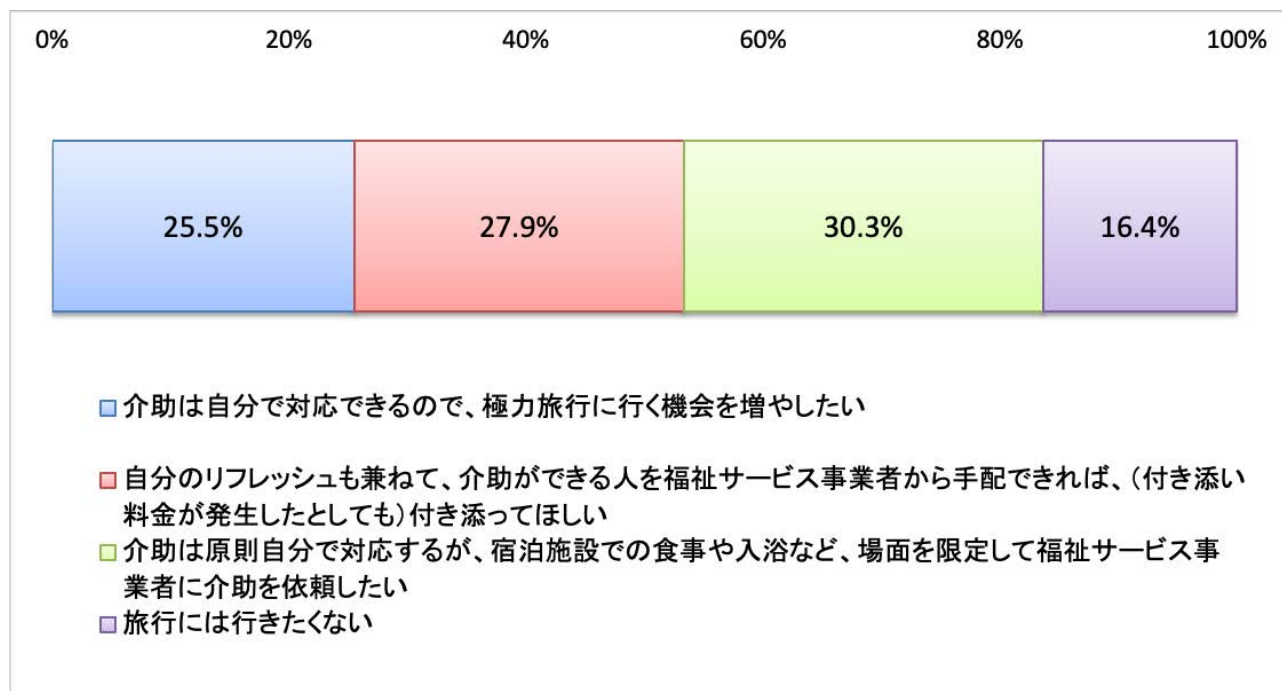
要介護・要支援の方を介助される方に伺います。

質問) 要介護・要支援者の方との旅行にあたり、今の考えに最も近いものを選択してください。
(回答数165)

選択肢)

- a 介助は自分で対応できるので、極力旅行に行く機会を増やしたい。
- b 自分のリフレッシュも兼ねて、介助ができる人を福祉サービス事業者から手配できれば、(付き添い料金が発生したとしても) 付き添ってほしい。
- c 介助は原則自分で対応するが、宿泊施設での食事や入浴など、場面を限定して福祉サービス業者に介助を依頼したい。
- d 旅行には行きたくない。

要介護・要支援者との旅行に関する介助者の考え



Ⅱ. 調査結果の報告

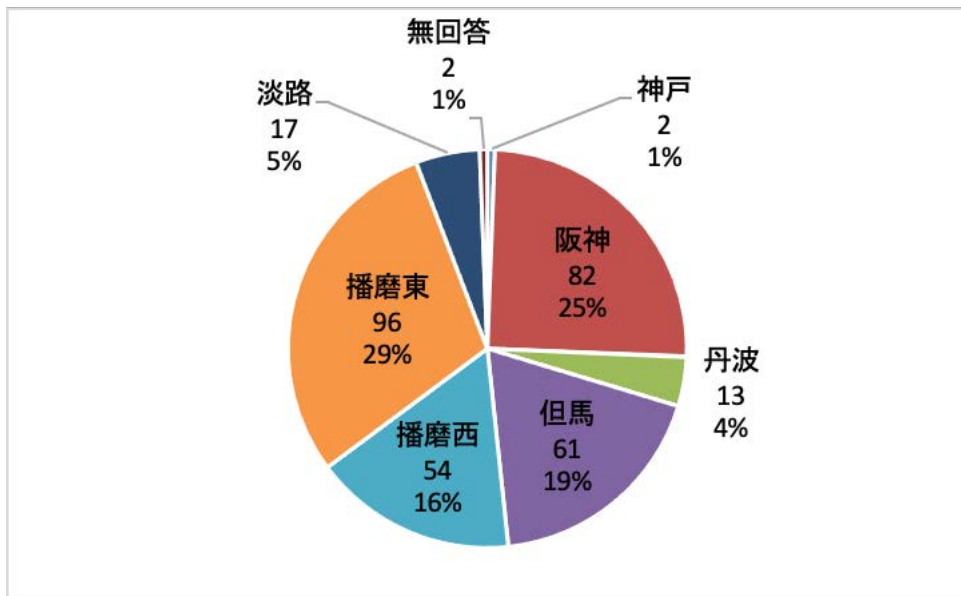
(3) 高齢者（アクティブシニア）調査について

II- (3) 高齢者（アクティブシニア）調査について

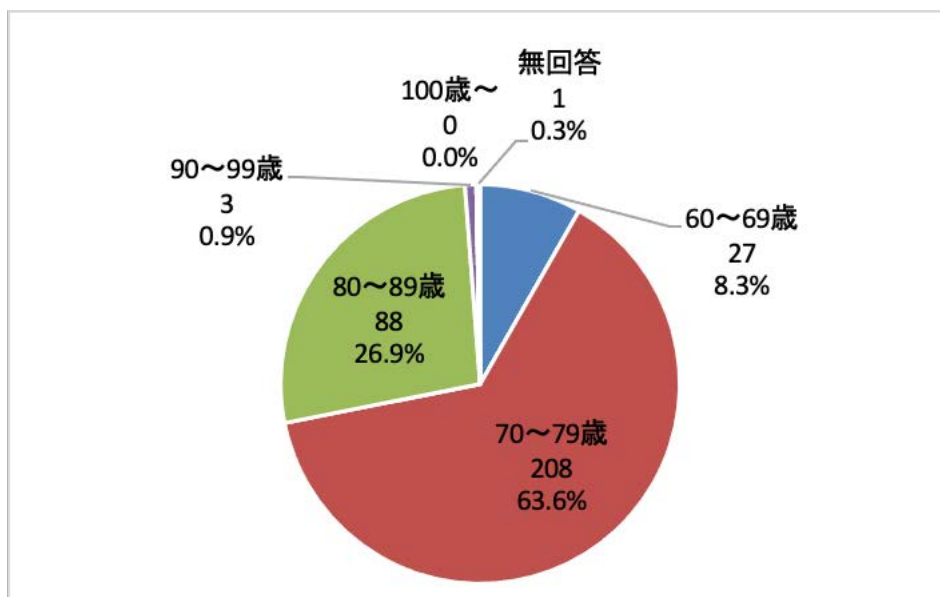
高齢者（アクティブシニア）調査において、327名より回答を得た。回答者の属性及び結果は以下の通りである。

1) 回答者の属性

質問) 居住エリアについて教えてください。



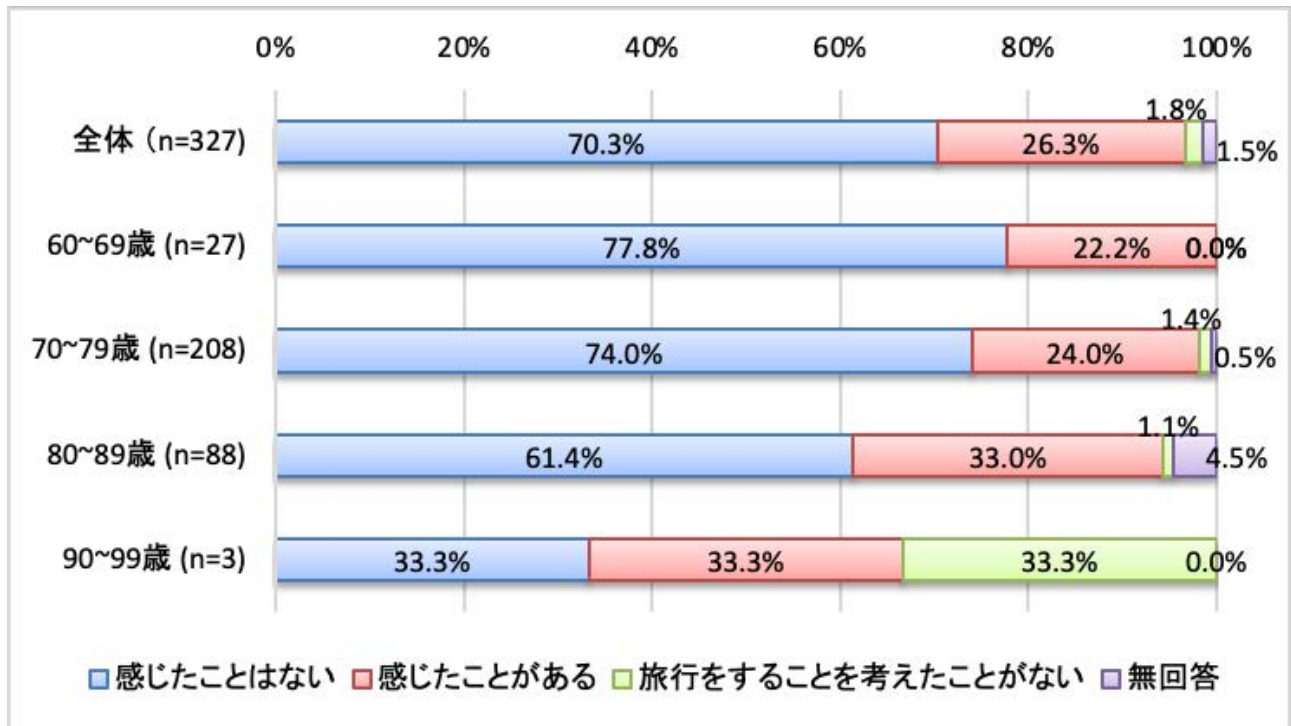
質問) 年齢（R4. 3. 31時点）について教えてください。



<一般旅行全般のニーズについて>

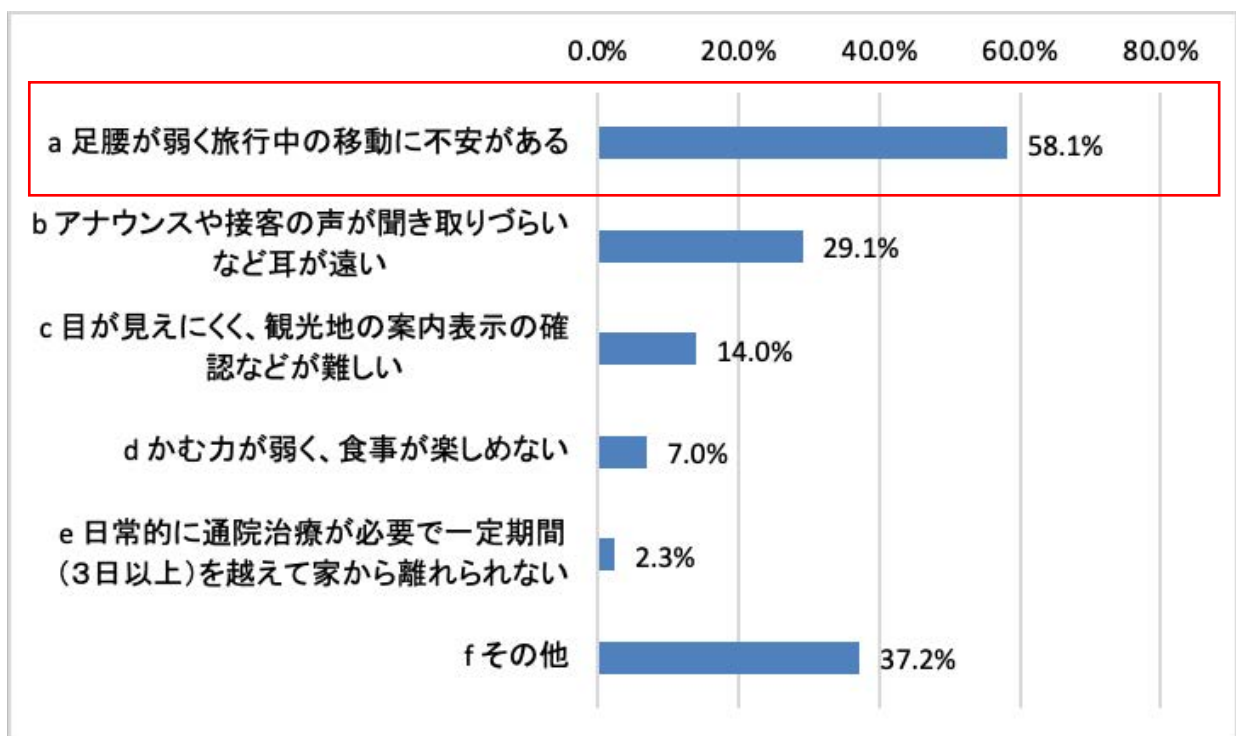
質問) これまで、旅行にあたって年齢に伴う身体面の不安や不便を感じたことはありますか。

旅行に関する年齢に伴う身体面の不安や不便の有無



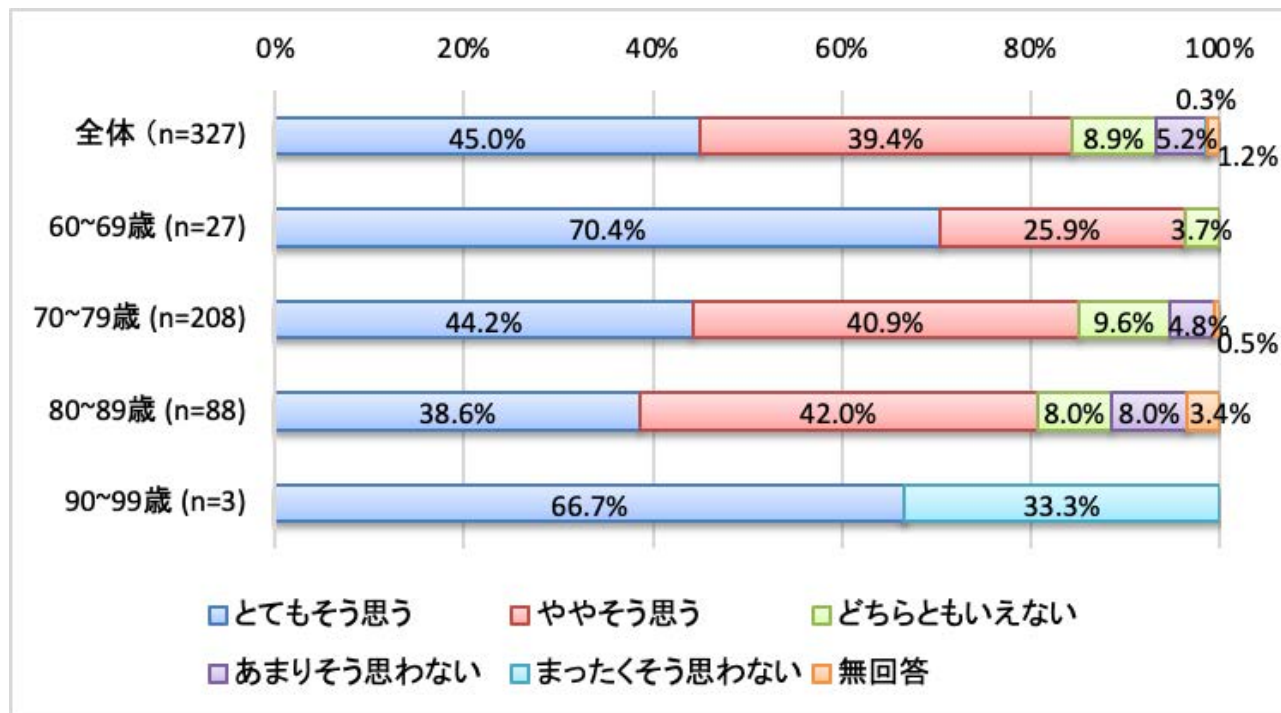
「旅行にあたって年齢に伴う身体面の不安や不便を感じたことがある人」に伺います (n=86)。質問) どのような不安や不便を感じていますか。当てはまるものを全て選択してください。

実際に感じている身体面の不安や不便



質問) これから年齢を重ねても、旅行に行きたいと思いますか。

継続的な旅行実施の希望



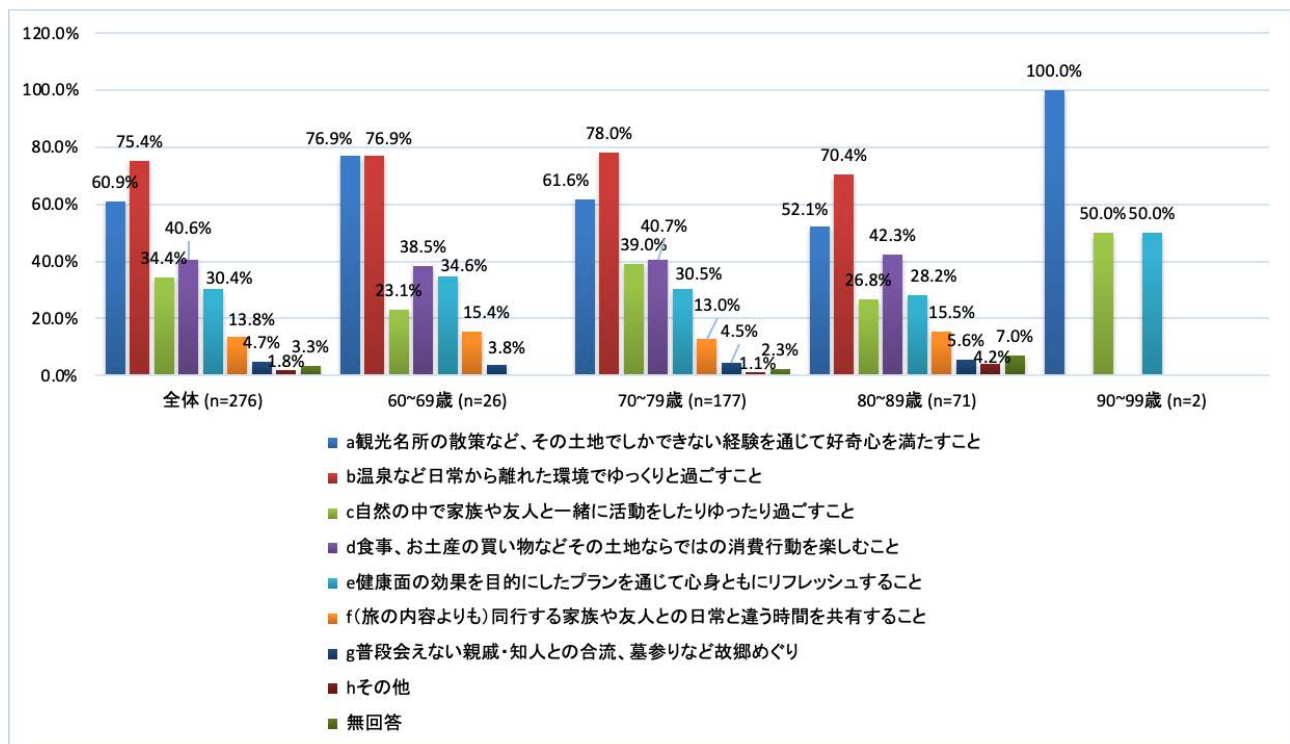
「これから年齢を重ねても、旅行に行きたいと思う（とてもそう思う・ややそう思う）人」に伺います(n=276)。

質問) これから年齢を重ねても、旅行に行きたいと思う旅行の目的を教えてください。重要と思うものを3つまで選択してください。

選択肢)

- a 観光名所の散策など、その土地でしかできない経験を通じて好奇心を満たすこと
- b 温泉など日常から離れた環境でゆっくりと過ごすこと
- c 自然の中で家族や友人と一緒に活動をしたりゆったり過ごすこと
- d 食事、お土産の買い物などその土地ならではの消費行動を楽しむこと
- e 健康面の効果を目的にしたプランを通じて心身ともにリフレッシュすること
- f 同行する家族や友人との日常と違う時間を共有すること
- g 普段会えない親戚・知人との合流、墓参りなど故郷めぐり
- h その他

旅行実施の目的

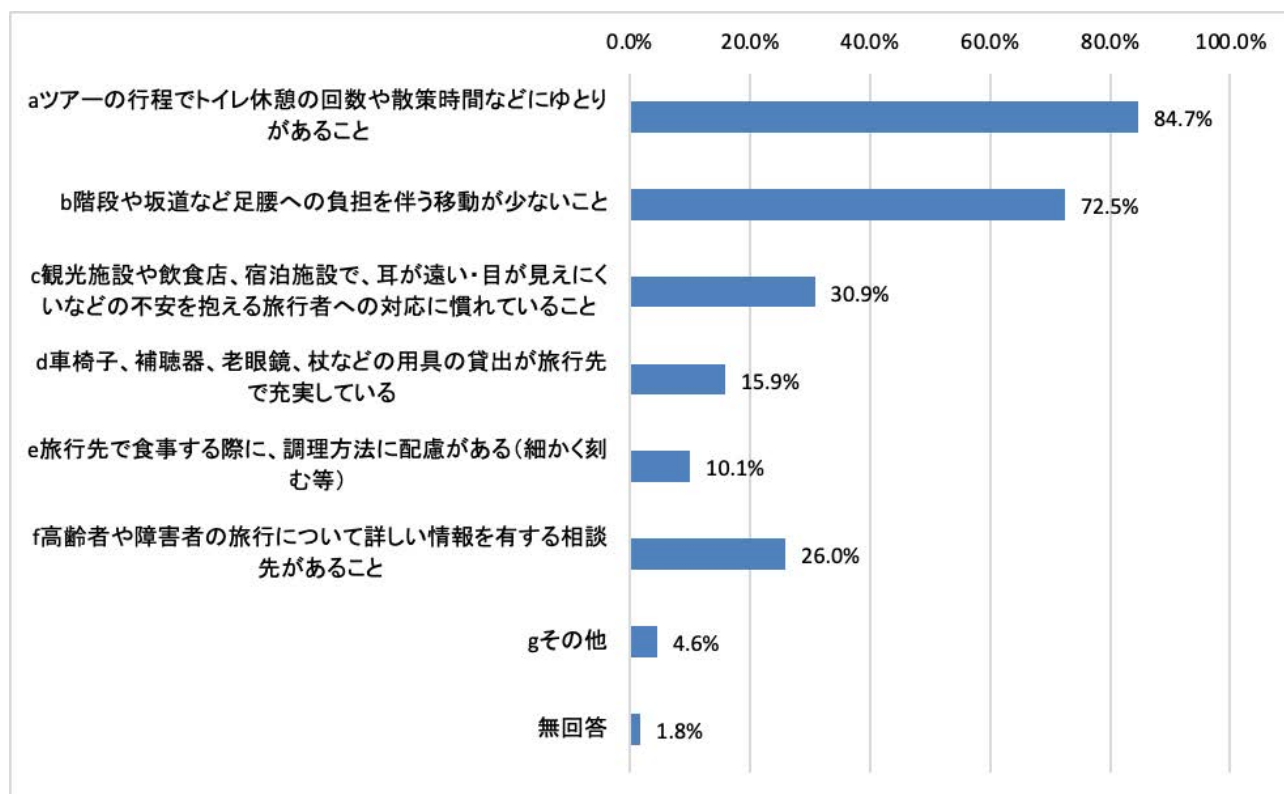


質問) これからも年齢を重ねても旅行を楽しめるようにするためには、どのようなサポートや配慮が必要だと思いますか。重要だと思うものを3つまで選択してください。

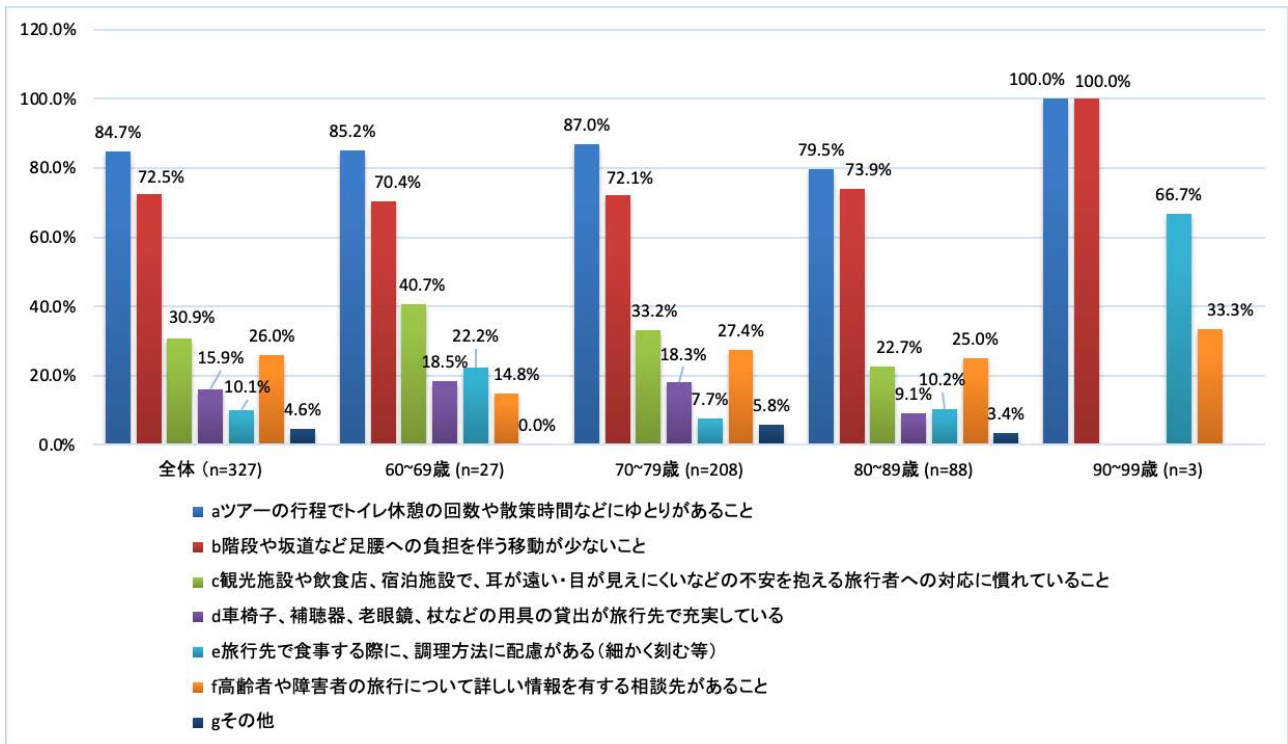
選択肢)

- a ツアーの行程でトイレ休憩の回数や散策時間などにゆとりがあること
- b 階段や坂道など足腰への負担を伴う移動が少ないこと
- c 観光施設や飲食店、宿泊施設で、耳が遠い・目が見えにくいなどの不安を抱える旅行者への対応に慣れていること
- d 車椅子、補聴器、老眼鏡、杖などの用具の貸出が旅行先で充実している
- e 旅行先で食事する際に、調理方法に配慮がある(細かく刻む等)

継続的に旅行を行うために必要と感じるサポートや支援の内容 (全体n=327)

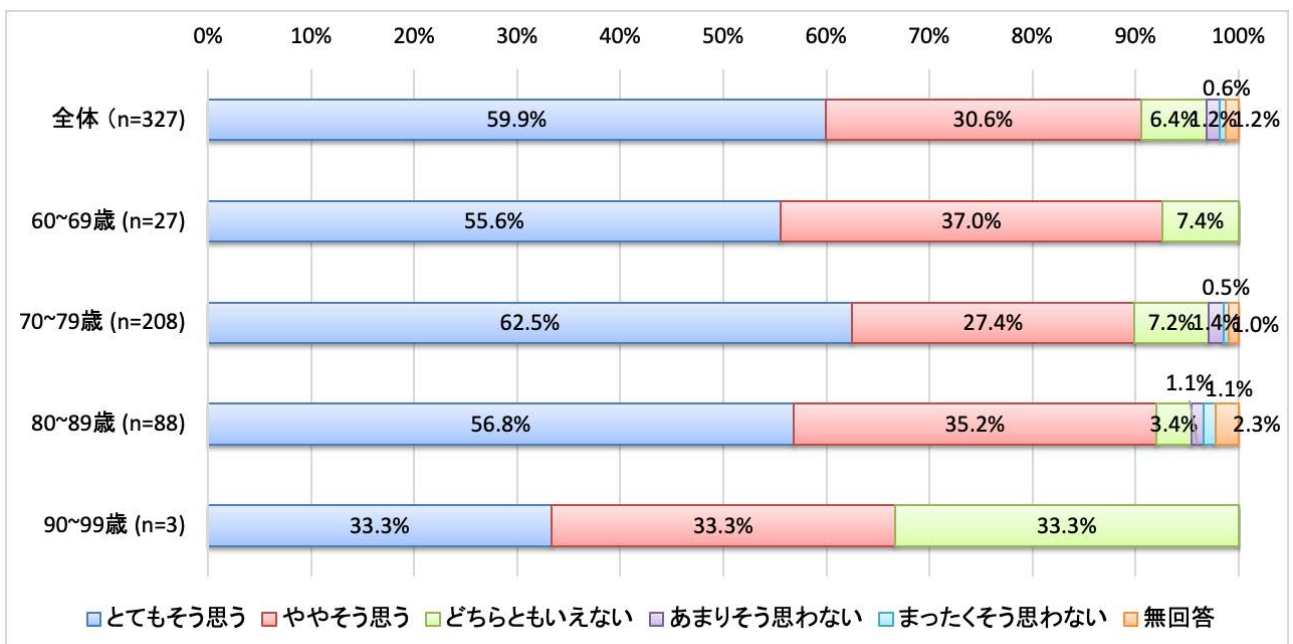


継続的に旅行を行うために必要と感じるサポートや支援の内容（年齢別）



質問) 旅行を検討する際に、旅行プランが土日より平日の方が安かった場合、平日に行きたいと思いますか。

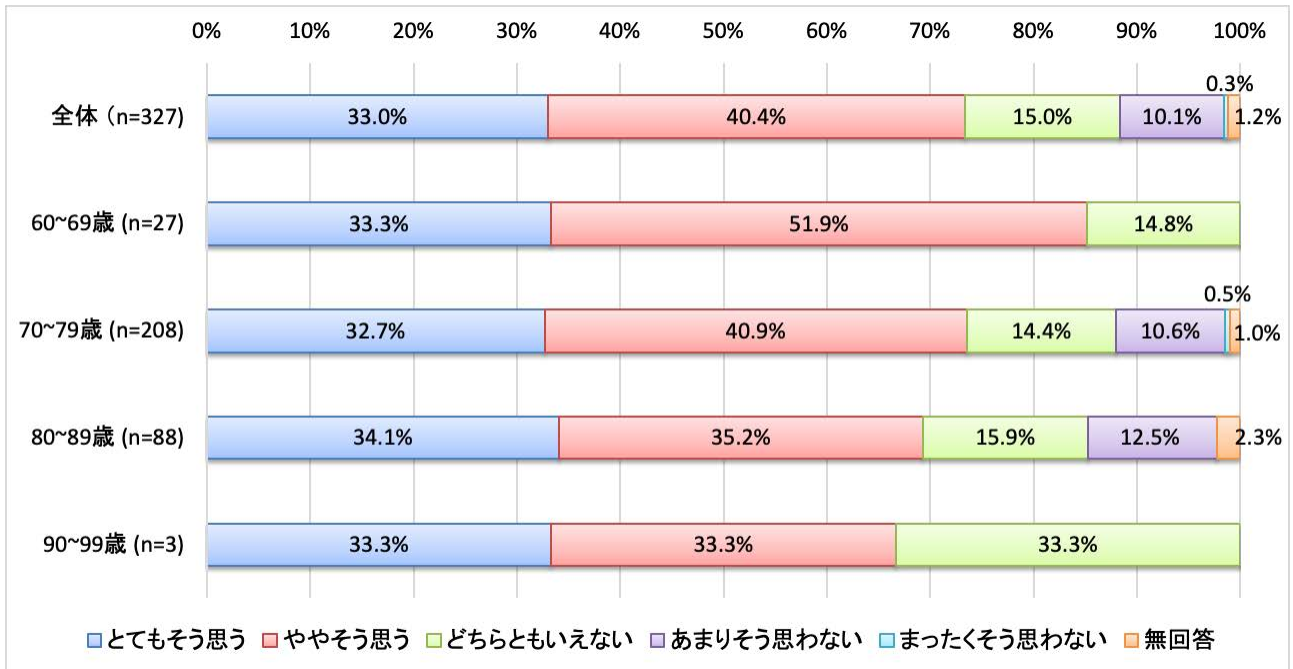
平日旅行プランの利用希望



<自然体験型の旅行ニーズについて>

質問) 山、高原、川、湖など自然の中での四季を通した旅行を楽しみたいと思いますか。

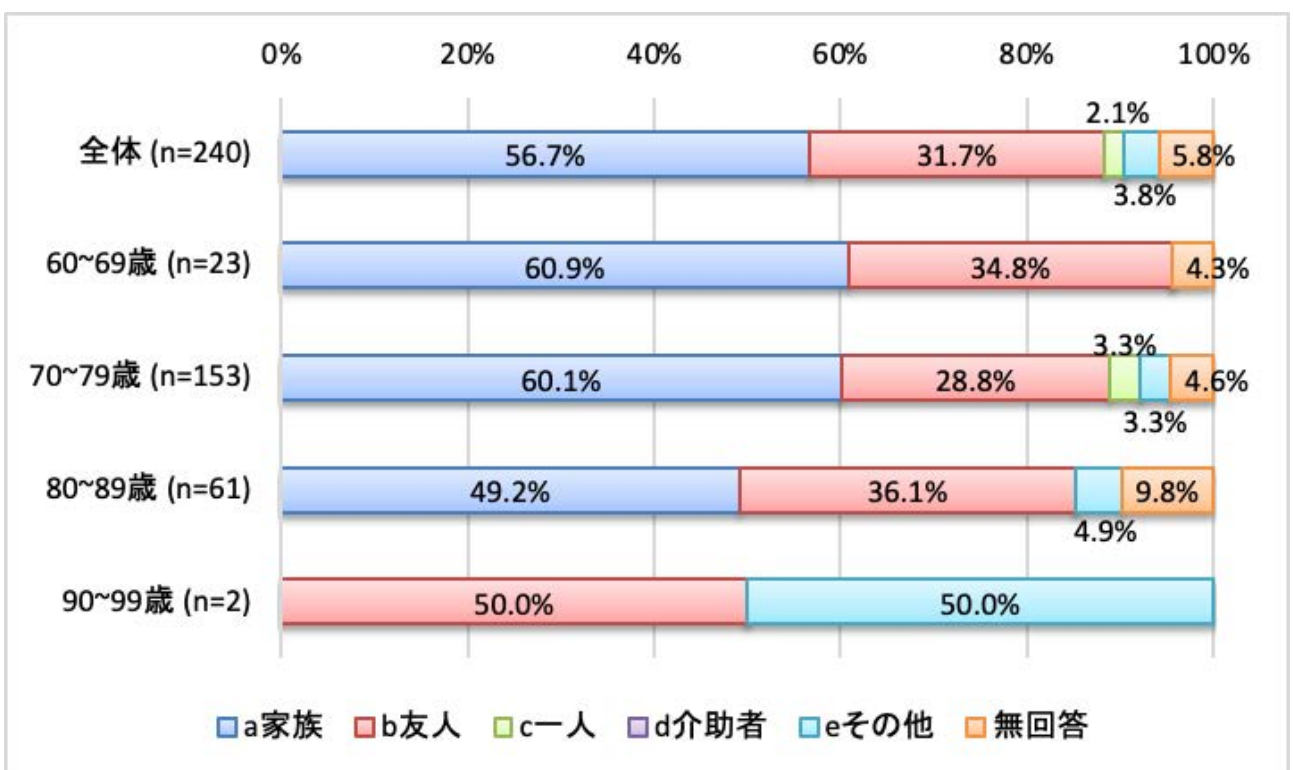
自然を活用した旅行の実施希望



「山、高原、川、湖など自然の中での四季を通した旅行を楽しみたいと思う（とてもそう思う・ややそう思う）人」に伺います(n=240)。

質問) どなたと楽しみたいと思いますか。最も当てはまるものを1つ選択してください。

自然の中での旅行を一緒に楽しみたい相手



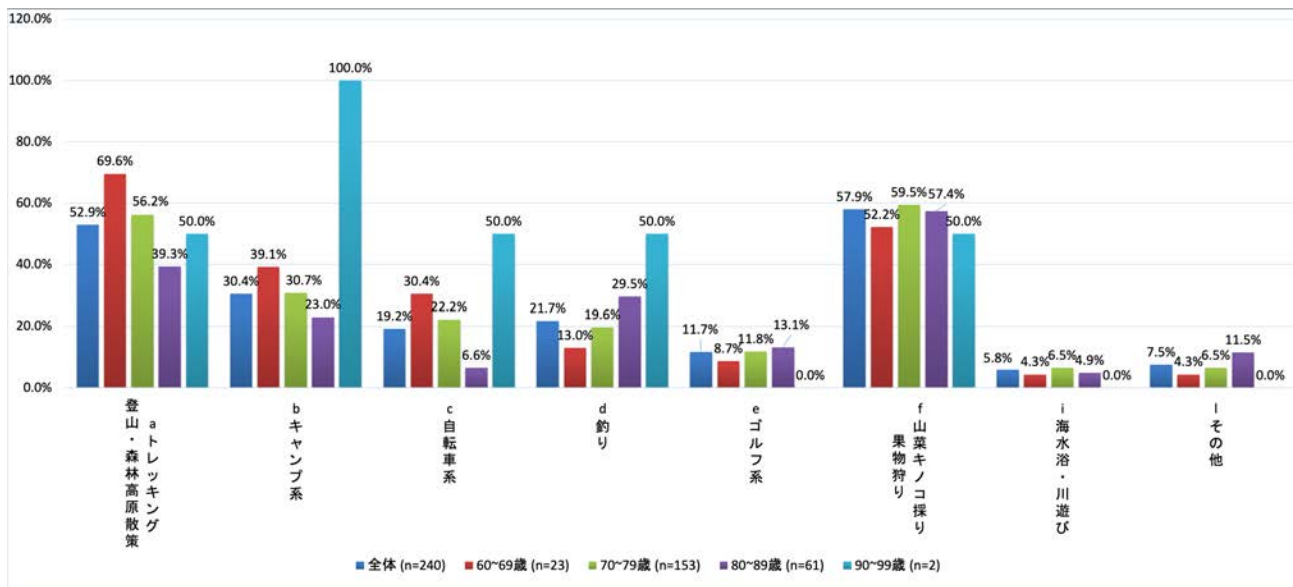
「山、高原、川、湖など自然の中での四季を通した旅行を楽しみたいと思う（とてもそう思う・ややそう思う）人」に伺います(n=240)。

質問) 自然の中でどのようなことをしてみたいと思いますか。興味があるものを3つまで選択してください。

選択肢)

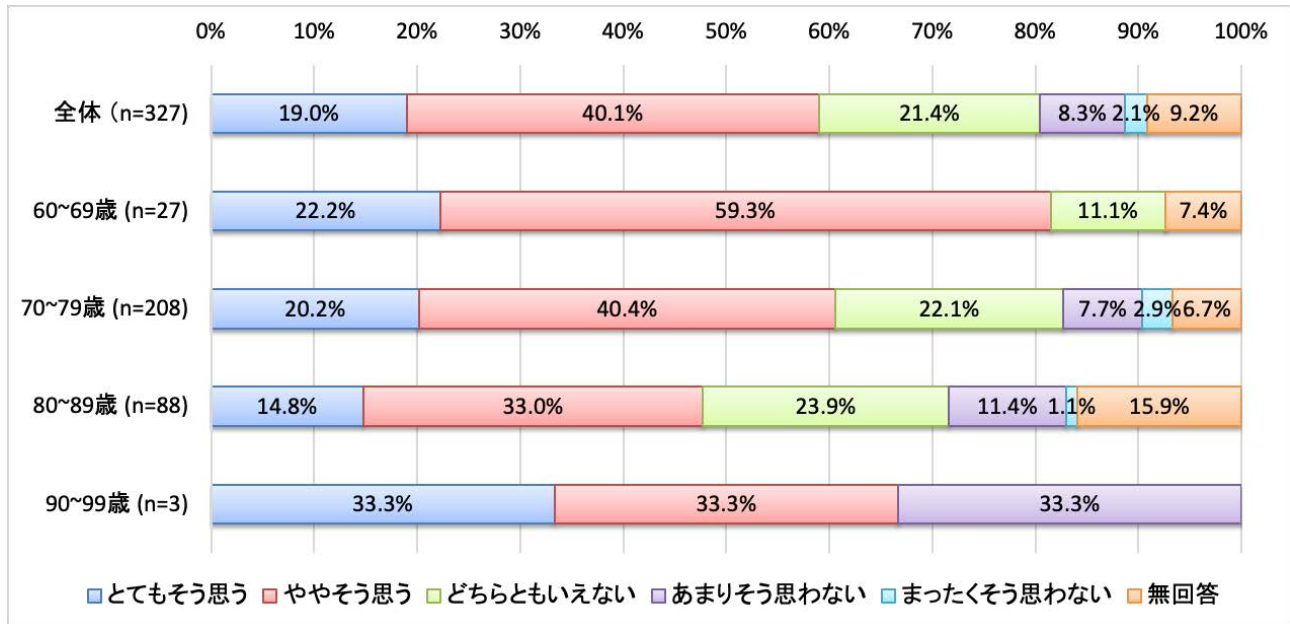
- a トレッキング・登山・森林高原散策
- b キャンプ（アウトドアでの食事作りなども含む）
- c 自転車・サイクリング・マウンテンバイク
- d 釣り
- e ゴルフ（グランドゴルフ・パターゴルフなども含む）
- f 山菜キノコ採り・果物狩り
- g ボート・カヤック・カヌー
- h スタンドアップパドル・サーフィン
- i 海水浴・川遊び
- j スキー・スノーボード
- k パラグライダー
- l その他

自然の中で実施してみたいこと（一部表示）



質問) ご自身の年齢や体力、一緒に旅行する人の希望に合わせて、自然の中で体験内容を提案してくれる専門家がいたら利用したいと思いますか。

自然の中での旅行や体験内容提案の専門家の利用希望



Ⅱ. 調査結果の報告

(4) 特別支援学校（保護者）調査について

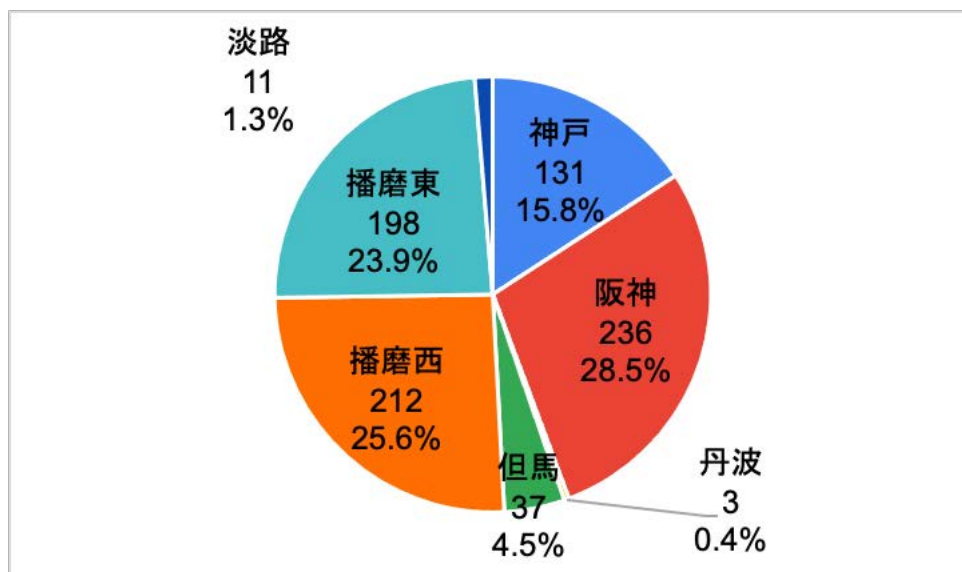
II-（4）特別支援学校（保護者0調査について）

特別支援学校（保護者）調査において、828名より回答を得た。特別支援学校に複数名お子さんが通う家庭については、第一回答児の年齢と障害種等を採用し本結果に採用している。

回答者の属性及び結果は以下の通りである。

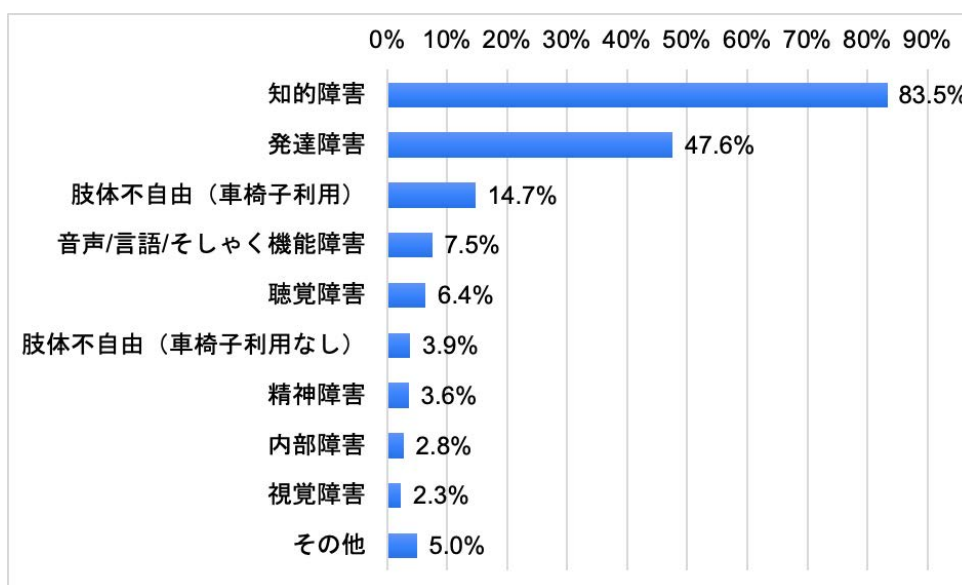
1) 回答校の属性

質問) 居住エリアについて教えてください。



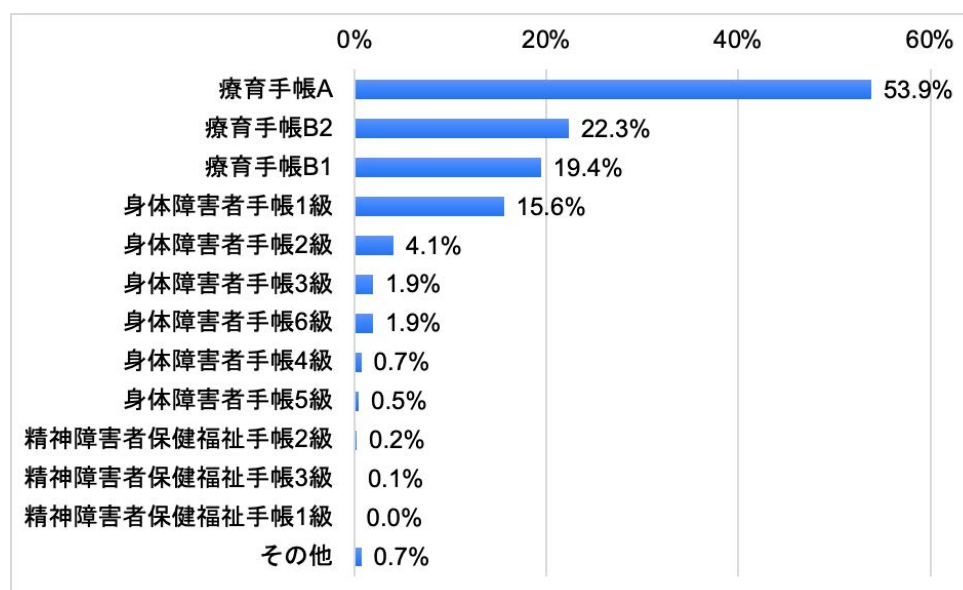
質問) お子さんの障害種及び障害者手帳の種類について教えてください。

障害種（全体・順位順）



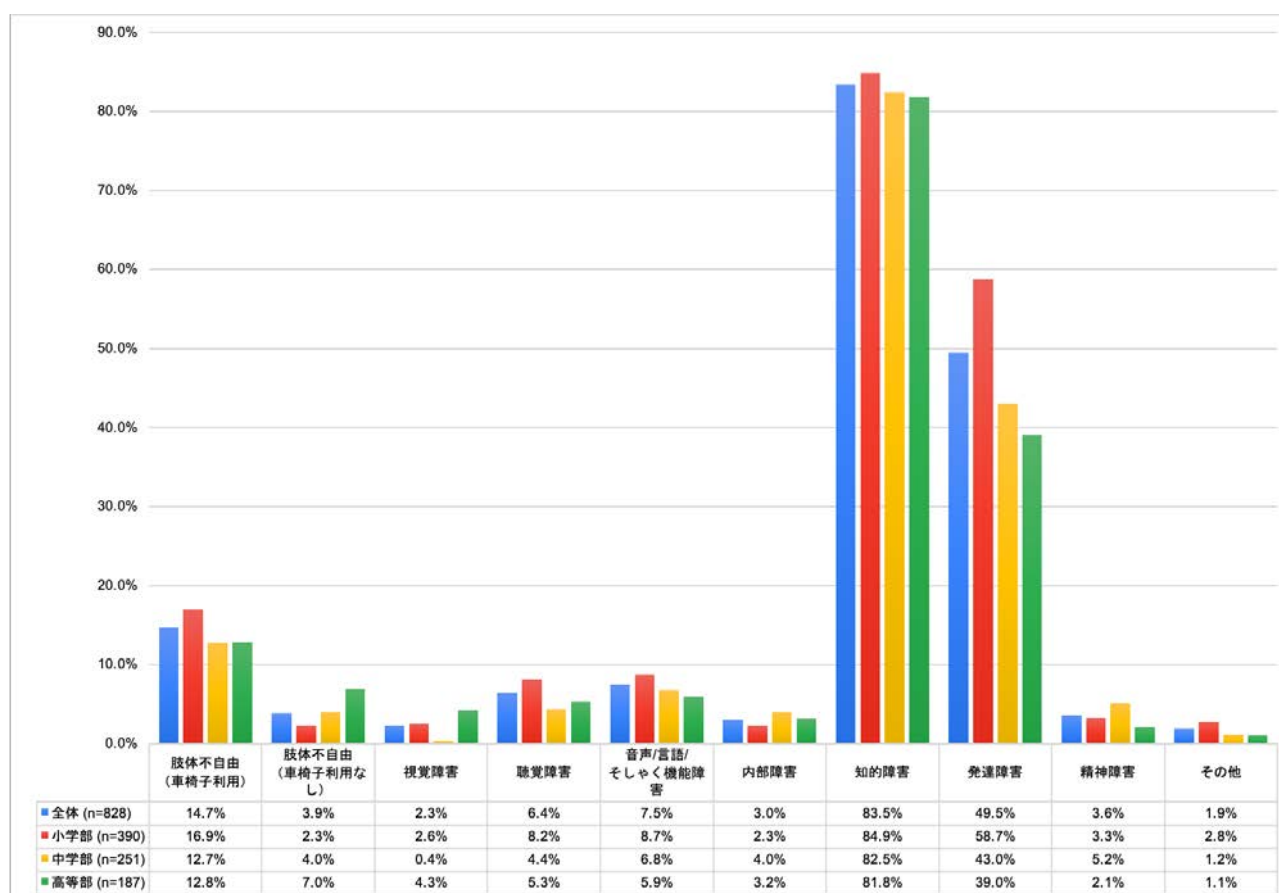
無回答なし

障害手帳種類（全体・順位順表示）



無回答・手帳なし：6

学部別障害種

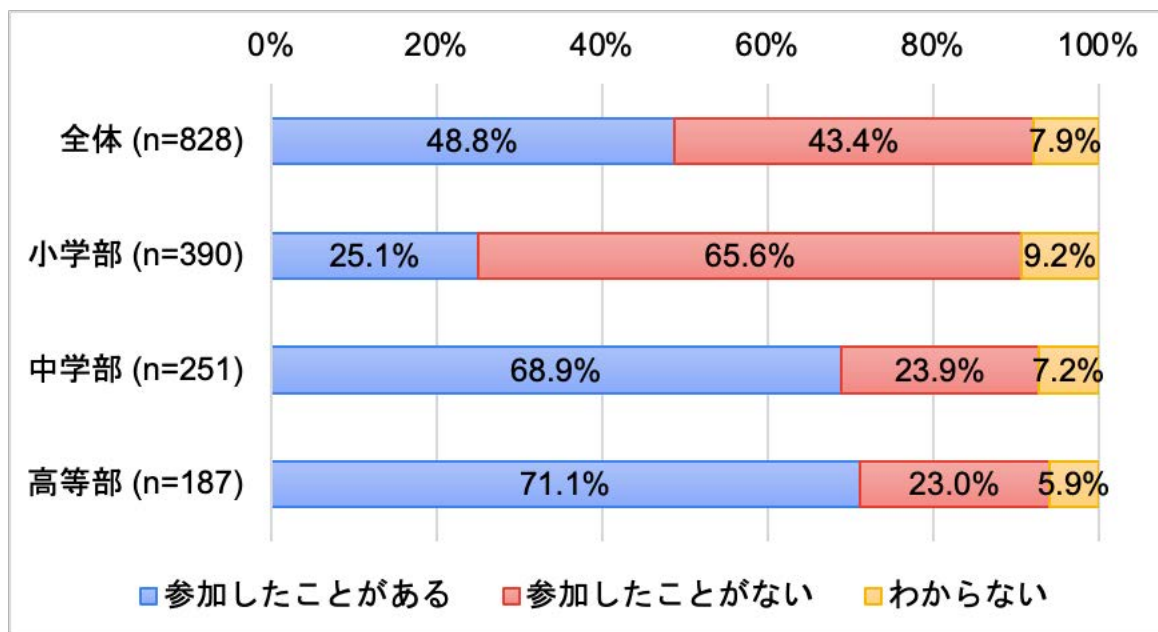


以降の結果については、障害種別人数比及び、学部別の障害種比の状態を踏まえ、学部別に結果を表示する。

<教育旅行の実施状況及びニーズについて>

質問) これまでに、自然を活用した教育旅行へ参加したことがありますか。宿泊の有無は問いません。

自然を活用した教育旅行への参加の有無



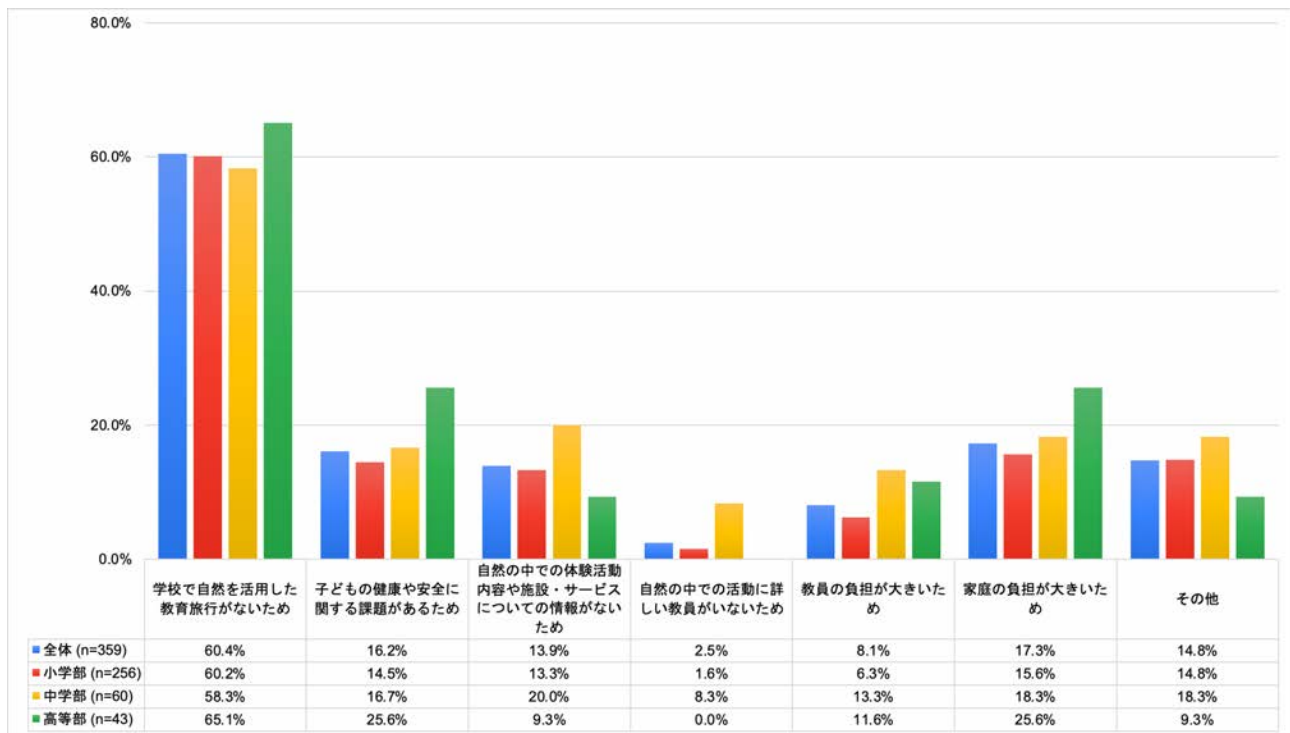
「これまでに、自然を活用した教育旅行へ参加したことがないと回答の方」に伺います(n=359)。

質問) これまでに自然を活用した教育旅行に参加したことがない理由について、当てはまるものを全て選択してください。

選択肢)

- a 学校で自然を活用した教育旅行がないため
- b 子どもの健康や安全に関する課題があるため
- c 自然の中での体験活動内容や施設・サービスについての情報がなかったため
- d 自然の中での活動に詳しい教員がいないため
- e 教員の負担が大きいため
- f 家庭の負担が大きいため
- j その他

自然を活用した教育旅行に参加したことがない理由



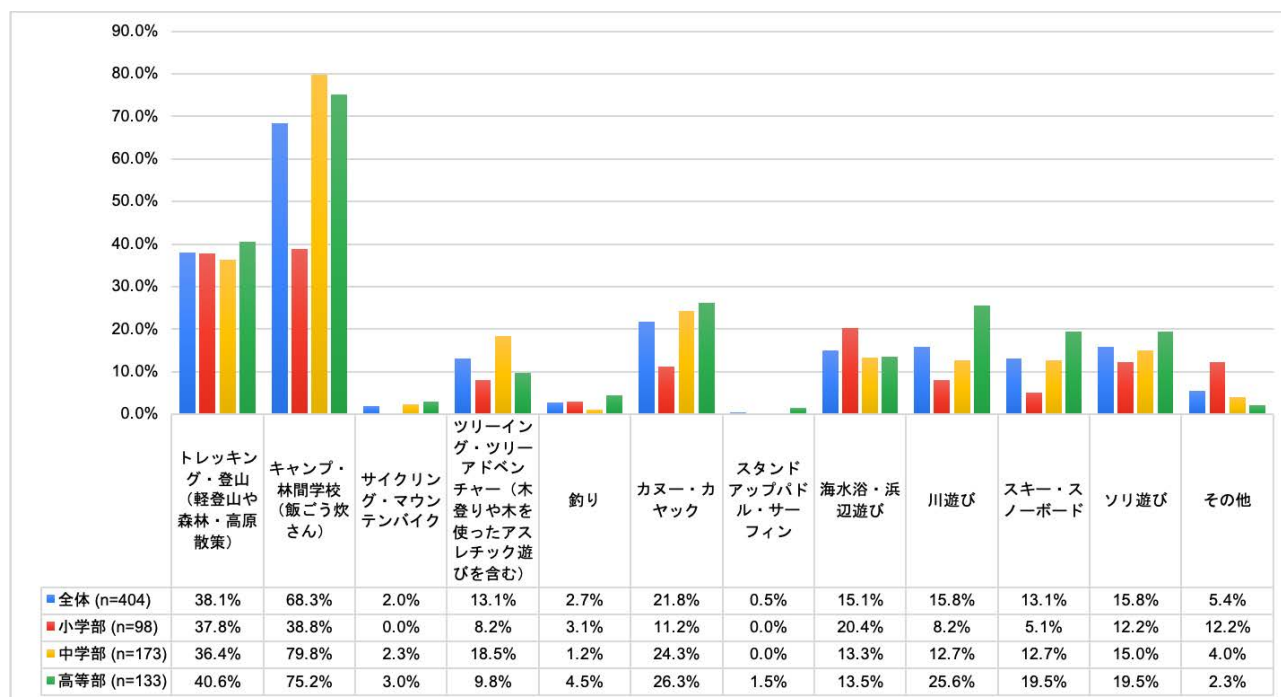
「これまでに、自然を活用した教育旅行へ参加したことがあると回答の方」に伺います(n=404)。

質問) 参加したのはどのような活動内容ですか。参加したことがあるものを全て選択してください。

選択肢)

- a. トレッキング・登山 (軽登山や森林・高原散策も含む)
- b. キャンプ・林間学校 (飯ごう炊さんも含む)
- c. サイクリング・マウンテンバイク
- d. ツリーイング・ツリーアドベンチャー (木登りや木を使ったアスレチック遊びを含む)
- e. 釣り
- f. カヌー・カヤック・ボート
- g. スタンドアップパドル・サーフィン
- h. 海水浴・浜辺遊び
- i. 川遊び
- j. スキー・スノーボード
- k. ソリ遊び
- l. その他

参加したことがある自然を活用した教育旅行の実施内容

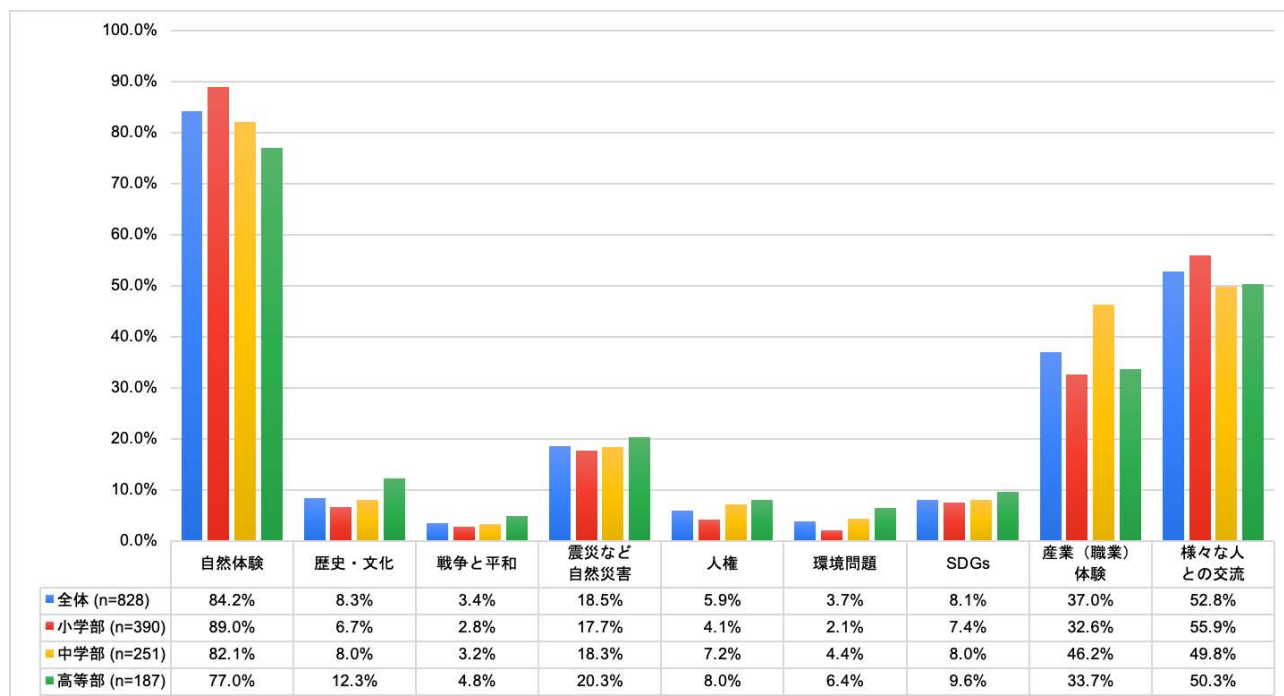


質問) お子さんの教育旅行で、今後どのようなテーマを設定してほしいと思いますか。最も関心のあるものを3つまで選択してください。

選択肢)

- a. 自然体験・野外活動
- b. 歴史・文化
- c. 戦争と平和
- d. 震災など自然災害
- e. 人権
- f. 環境問題
- g. SDGs
- h. 産業（職業）体験
- i. 様々な人との交流
- j. その他

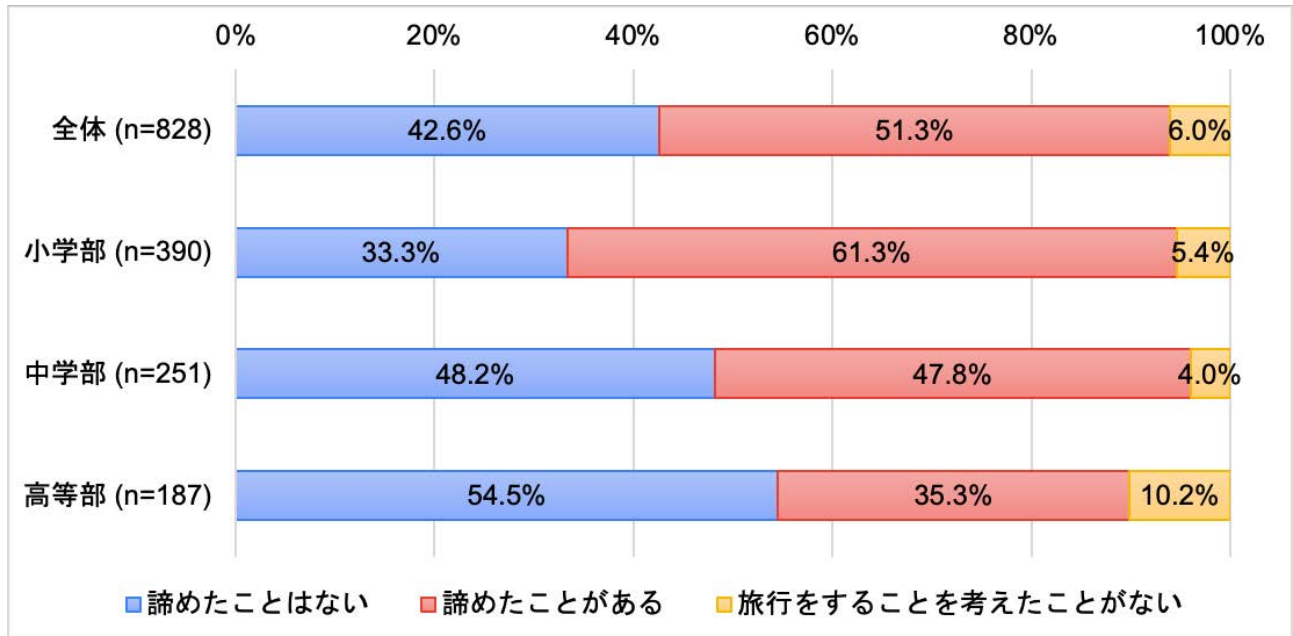
教育旅行で設定してほしいテーマ



<障害のあるお子さんとの家族旅行の実施状況及びニーズについて>

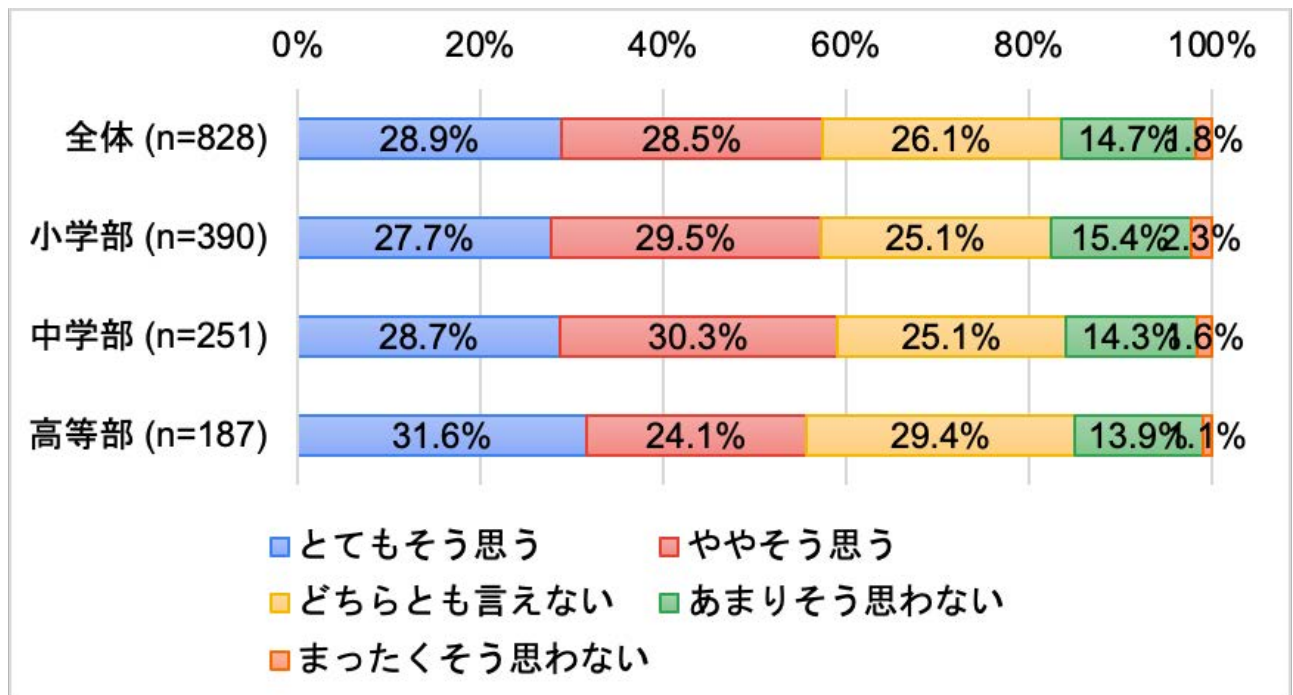
質問) これまで、お子さんに障害があることで旅行を諦めたことがありますか。

これまでの旅行の諦めの有無



質問) 旅行を検討するとき、旅行プランが土日より平日の方が安かった場合、平日に行きたいと思いますか。

平日旅行プランの利用希望

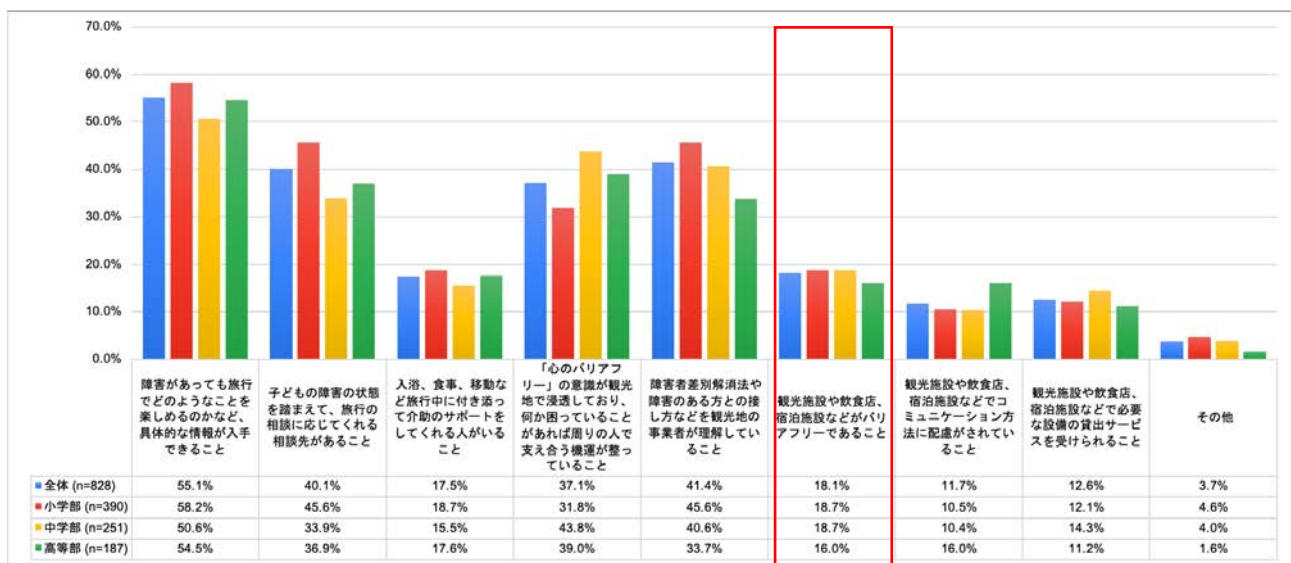


質問) 家族全員での旅行を諦めずに楽しめるようになるまたは、今後もっと楽しめるようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。重要と思うものを3つまで選択してください。

選択肢)

- a. 障害があっても旅行でどのようなことを楽しめるのかなど、具体的な情報を入手できる
- b. 自分の障害の状況を踏まえて、旅行の相談に応じてくれる相談先がある
- c. 入浴、食事、移動など旅行中に付き添って介助のサポートをしてくれる人がいる
- d. 「心のバリアフリー」の意識が観光地で浸透しており、何か困っていることがあればまわりの人で支え合う機運ができています。
- e. 観光施設や飲食店、宿泊施設などでバリアフリーに配慮されている
- f. 観光施設や飲食店、宿泊施設などでコミュニケーション方法に配慮がされている (例：筆談ボードの用意があるなど)
- g. 観光施設や飲食店、宿泊施設などで必要な設備の貸出サービスを受けられる (例：観光案内所での車椅子貸出、宿泊施設でシャワーチェアの貸出など)
- h. その他

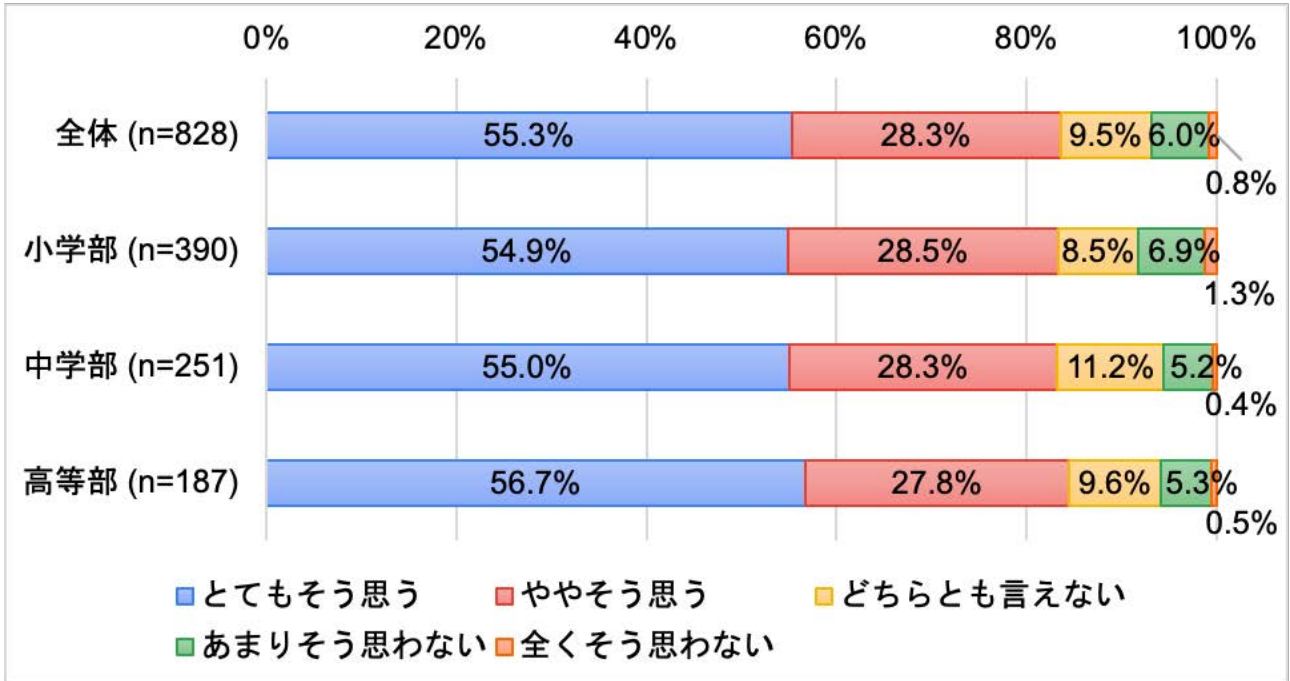
家族全員での旅行を諦めないための必要な要素



<自然体験型の旅行ニーズについて>

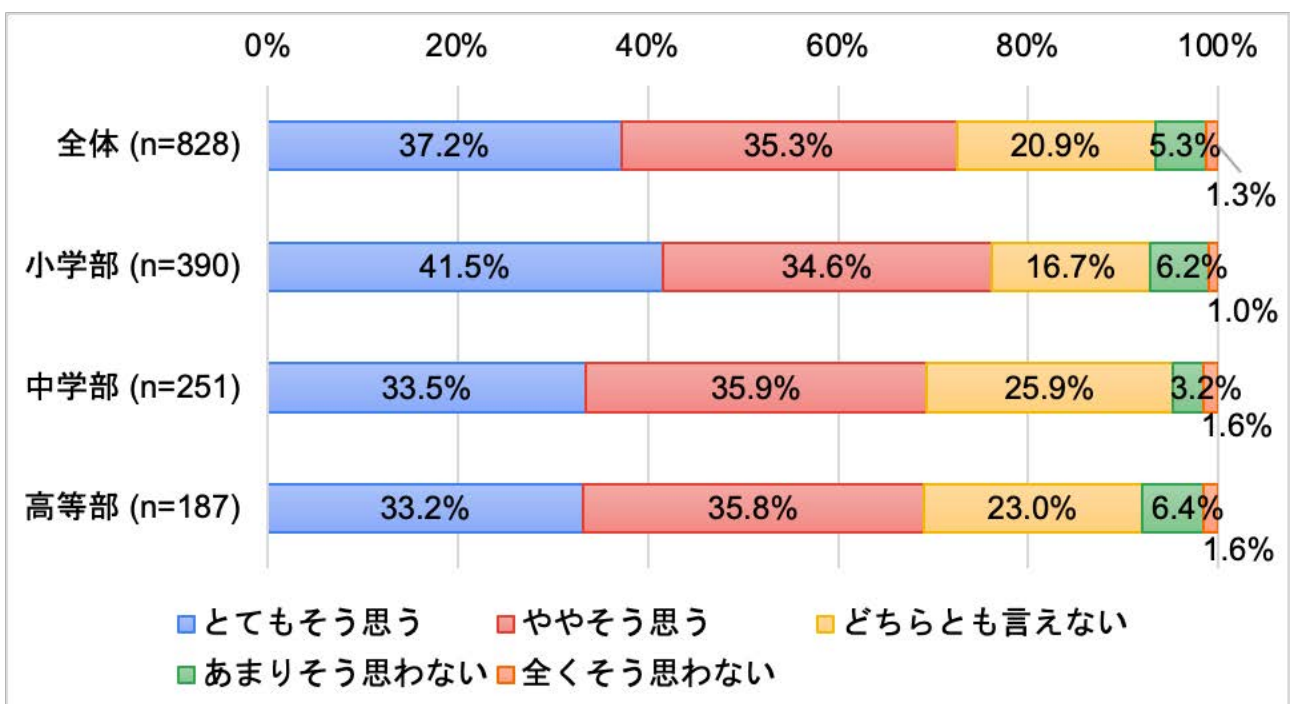
質問) 山、高原、川、湖など自然の中での四季を通した旅行を楽しみたいと思いますか。

自然を活用した旅行の実施希望



質問) お子さんの状態や家族のニーズに合わせて、自然の中での体験内容を提案してくれる専門家がいたら利用したいと思いますか。

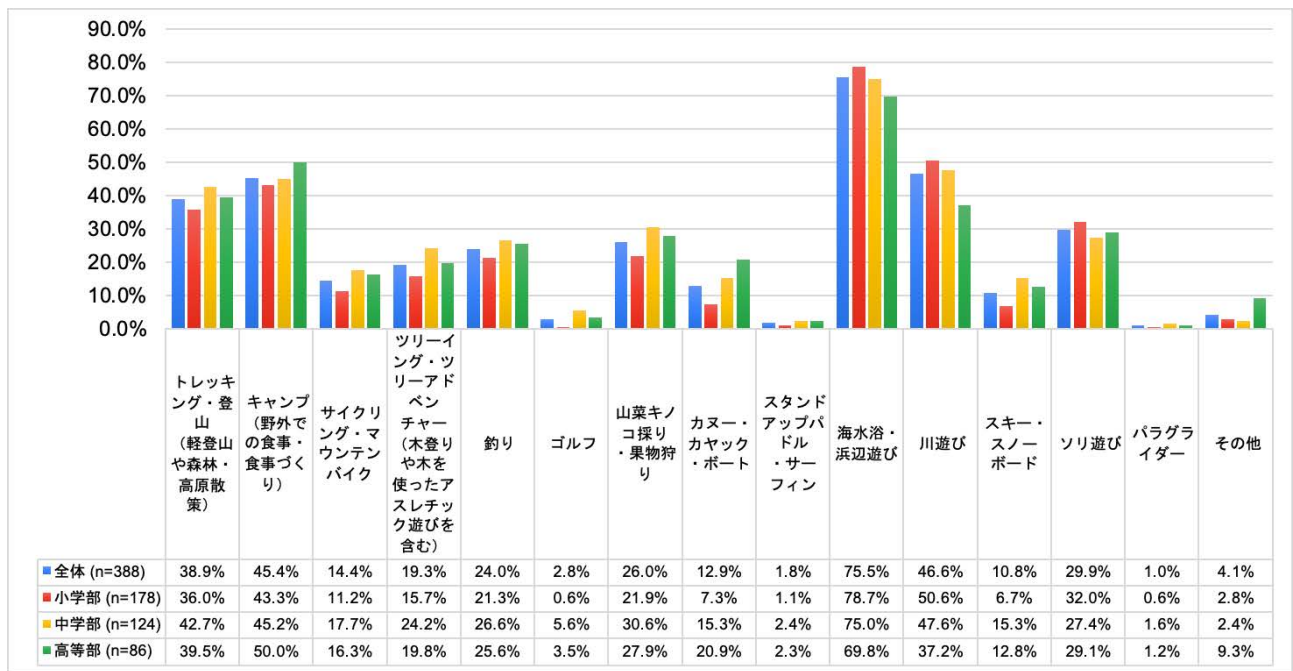
自然の中での旅行や体験内容提案の専門家の利用希望



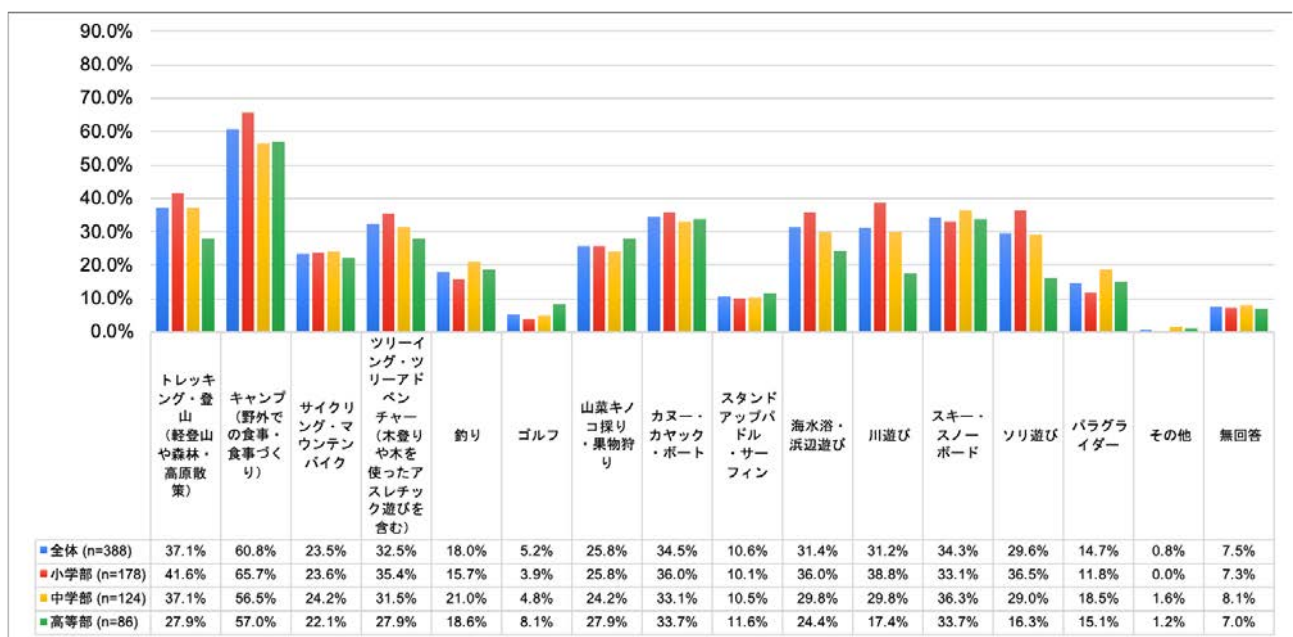
※「これまでに、障害のあるお子さんも含めご家族で自然を活用した体験活動や旅行を行ったことがある（結果未掲載）」と回答し、かつ、「「お子さんの状態や家族のニーズに合わせて、自然の中での体験内容を提案してくれる専門家がいたら利用したいと思う（とてもそう思う・ややそう思う）」と回答した人（n=388）の、実際の旅行内容と、専門家利用による希望旅行内容を以下に掲載した。

※実際の実施内容と、専門家利用により実施したい内容は異なることがわかる。

実際の旅行・体験内容



専門家の利用により実施したい旅行・体験内容

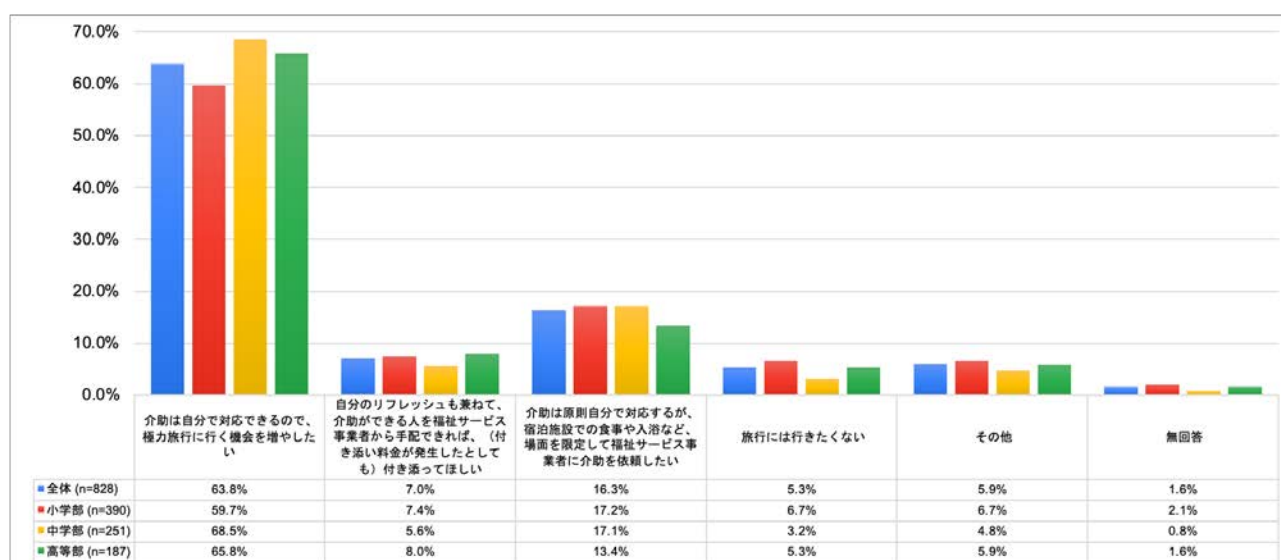


質問) 障害のあるお子さんとの旅行にあたり、今の考えに最も近いものを選択してください。

選択肢)

- a. 介助は自分で対応できるので、極力旅行に行く機会を増やしたい。
- b. 自分のリフレッシュも兼ねて、介助ができる人を福祉サービス事業者から手配できれば、(付き添い料金が発生したとしても) 付き添ってほしい。
- c. 介助は原則自分で対応するが、宿泊施設での食事や入浴など、場面を限定して福祉サービス業者に介助を依頼したい。
- d. 旅行には行きたくない。

障害のあるお子さんと旅行に関する考え



Ⅱ. 調査結果の報告

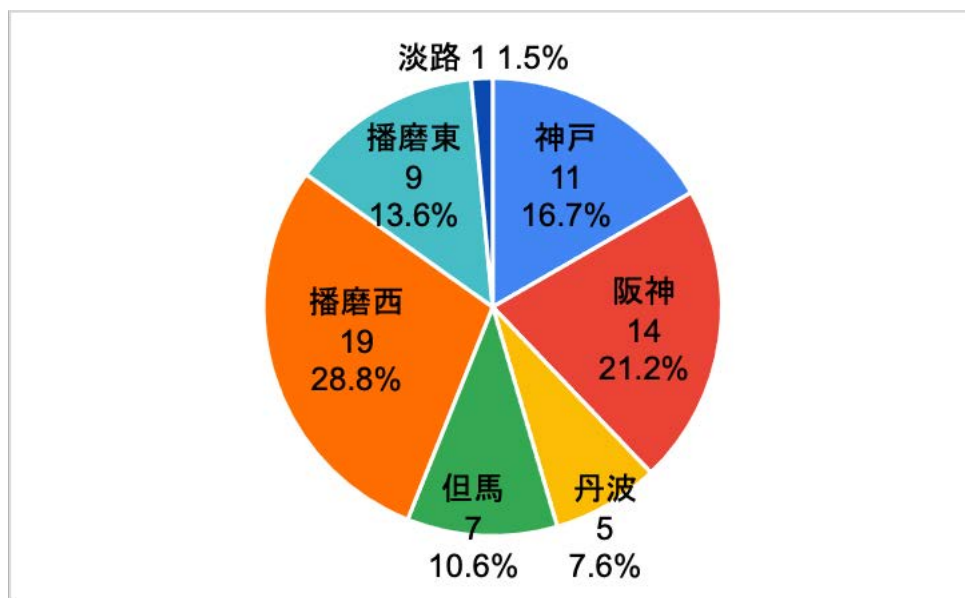
(5) 特別支援学校（学校組織）調査について

II-（5）特別支援学校（学校組織）調査について

特別支援学校（学校組織）調査において、66校より回答を得た。回答校の属性、回答者及び結果は以下の通りである。

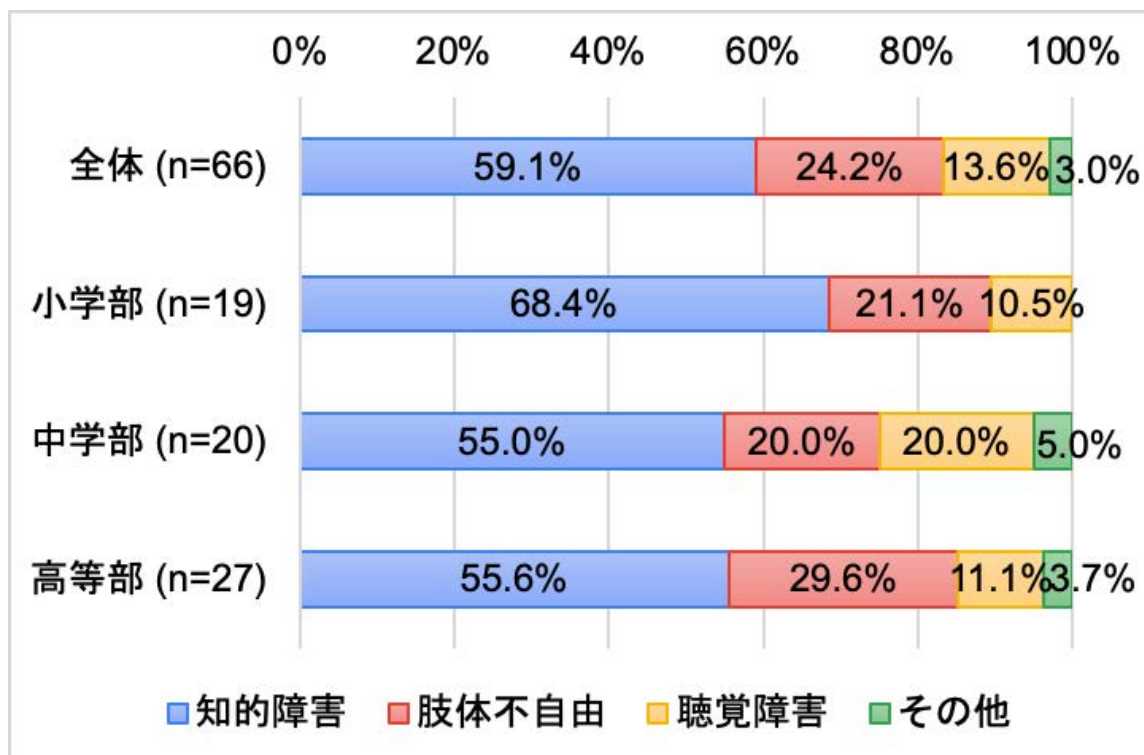
1) 回答校の属性

質問) 学校の所在地について教えてください。

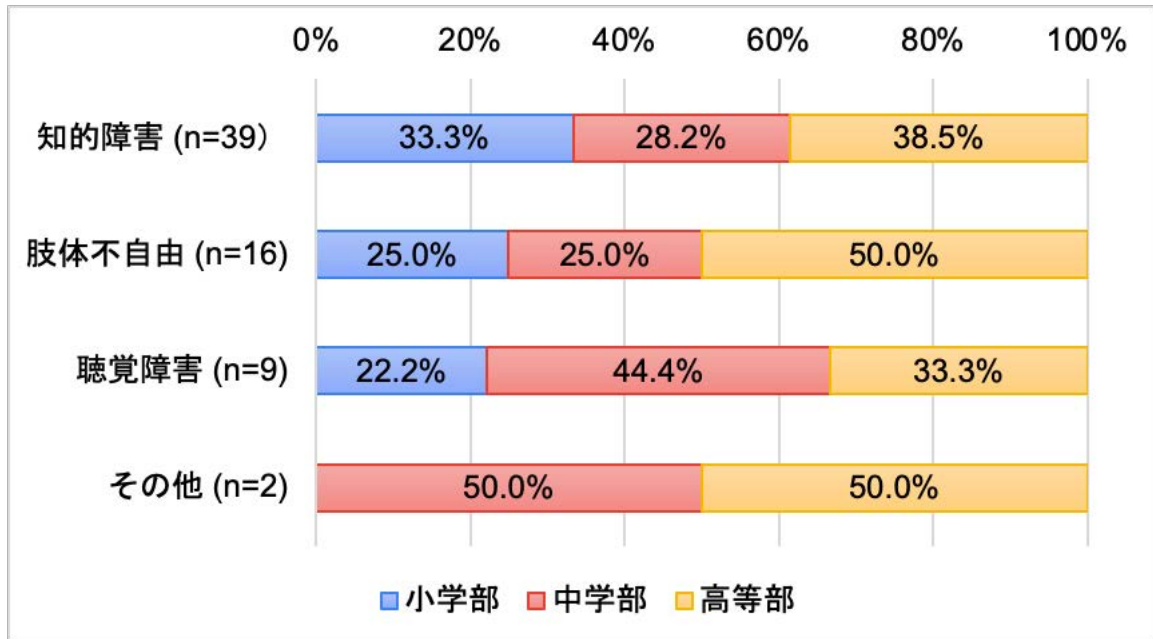


質問) 回答者の所属する教育部門（障害種）と所属学部について教えてください。

回答者の所属（学部別障害種割合）

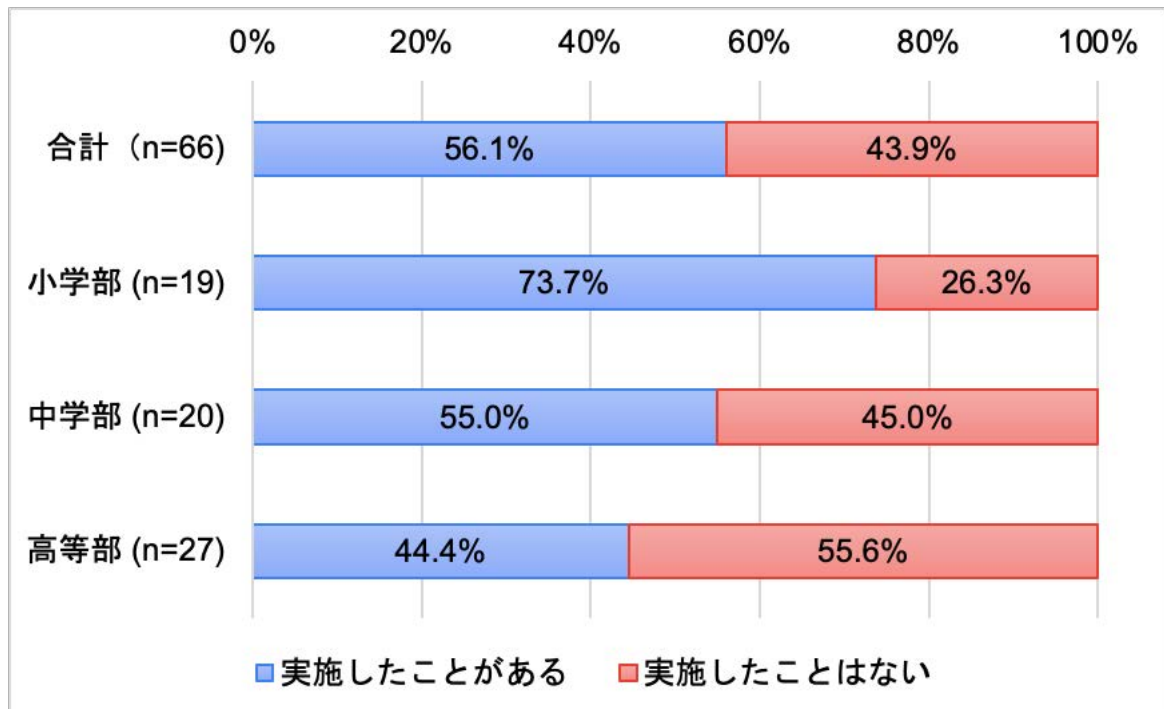


回答者の所属（障害種別学部割合）



質問) これまで、自然を活用した教育旅行を実施したことはありますか。

自然を活用した教育旅行の実施の有無



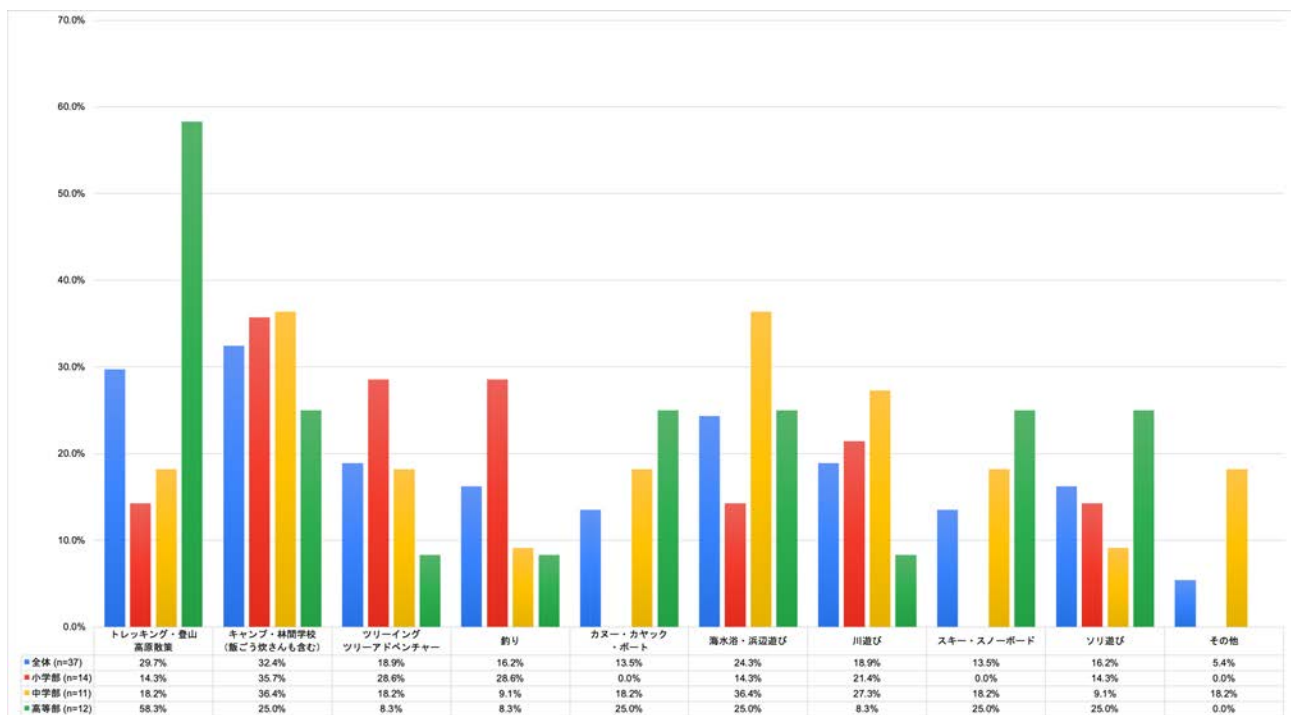
<自然体験型の教育旅行の現状及びニーズについて>

質問) 「自然を活用した教育旅行を実施したことがあると回答した学校」に伺ういます(n=37)。どのような学習活動を実施しましたか。実施したことがあるものを全て選択してください。

選択肢)

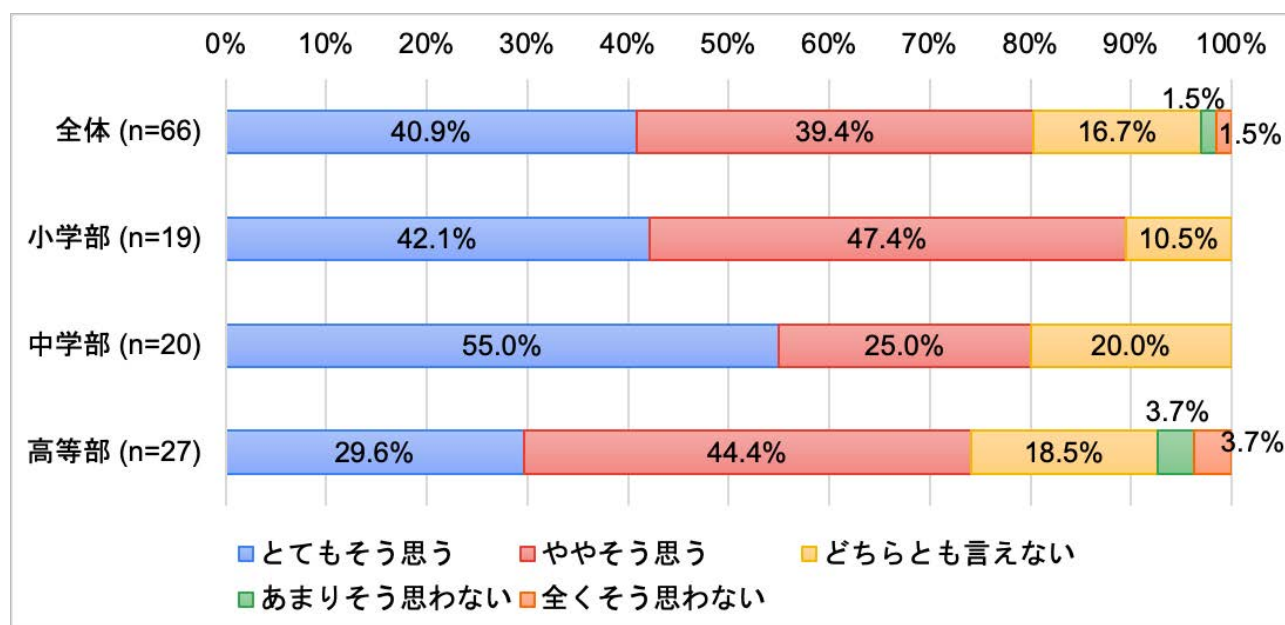
- a. トレッキング・登山 (軽登山や森林・高原散策も含む)
- b. キャンプ・林間学校 (飯ごう水さんも含む)
- c. サイクリング・マウンテンバイク (自転車)
- d. ツリーイング・ツリーアドベンチャー (木登りや木を使ったアスレチック遊びを含む)
- e. 釣り
- f. ボート・カヤック・カヌー
- g. スタンドアップパドル・サーフィン
- h. 海水浴・浜遊び
- i. 川遊び
- j. スキー・スノーボード
- k. ソリ遊び
- l. その他

実施したことの自然の中での学習活動



質問) 児童生徒の年齢や興味関心、運動機能、障害の状態を踏まえ、教育的ニーズに合わせて自然の中での体験活動を提案してくれる専門家がいたら利用したいと思いますか。

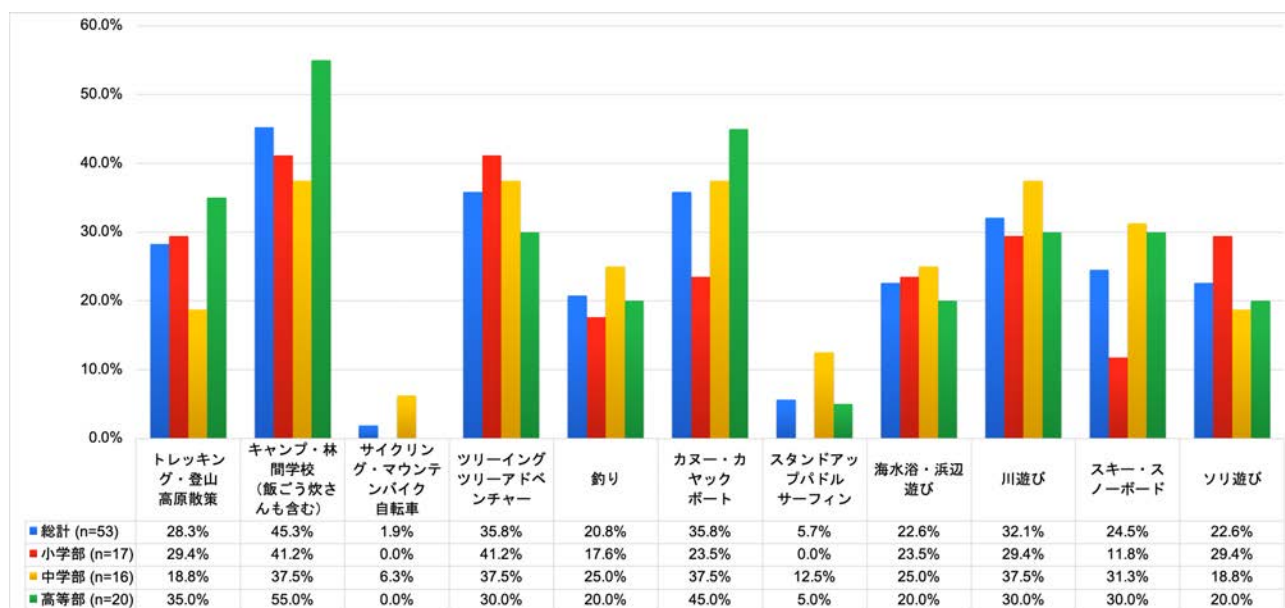
自然の中での旅行や体験内容提案の専門家の利用希望



「児童生徒の年齢や興味関心、運動機能、障害の状態を踏まえ、教育的ニーズに合わせて自然の中での体験活動を提案してくれる専門家がいたら利用したいと思う（とてもそう思う・ややそう思う）と回答した学校」に伺います (n=53)。

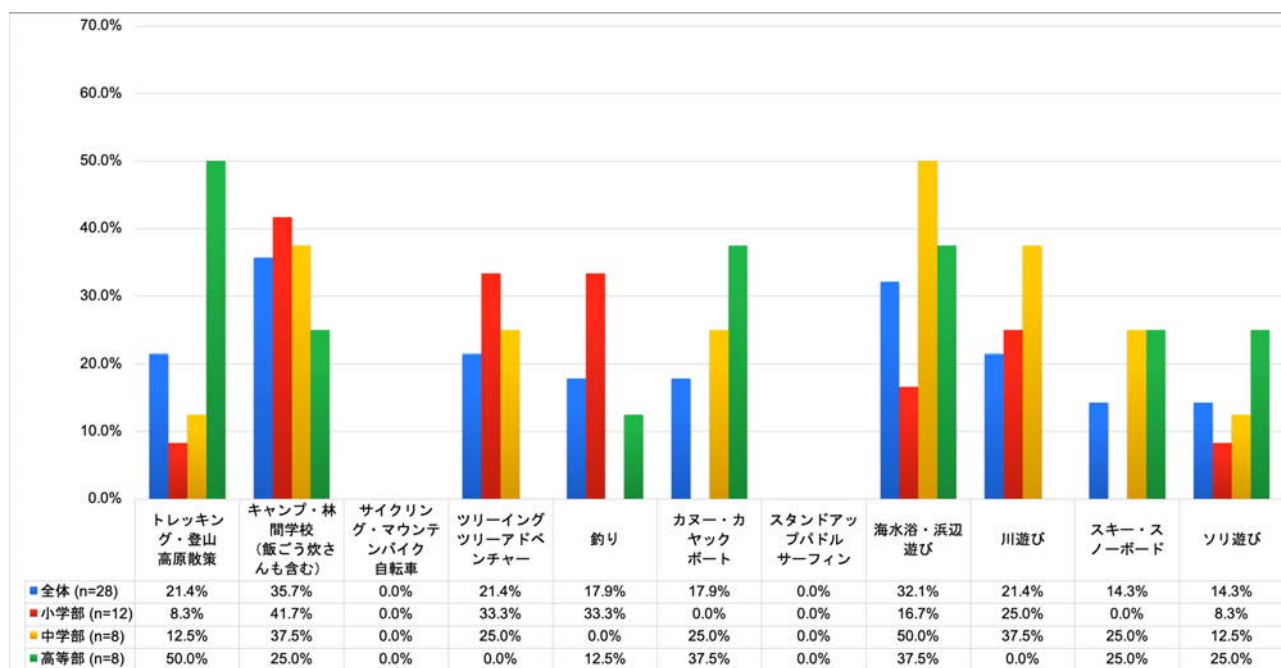
質問) 専門家の存在や専門のサポートがあれば、どのような活動・学習内容を実施してみたいと思いますか。実施してみたいものを全て選択してください。

専門家のサポートがあれば実施してみたい学習活動

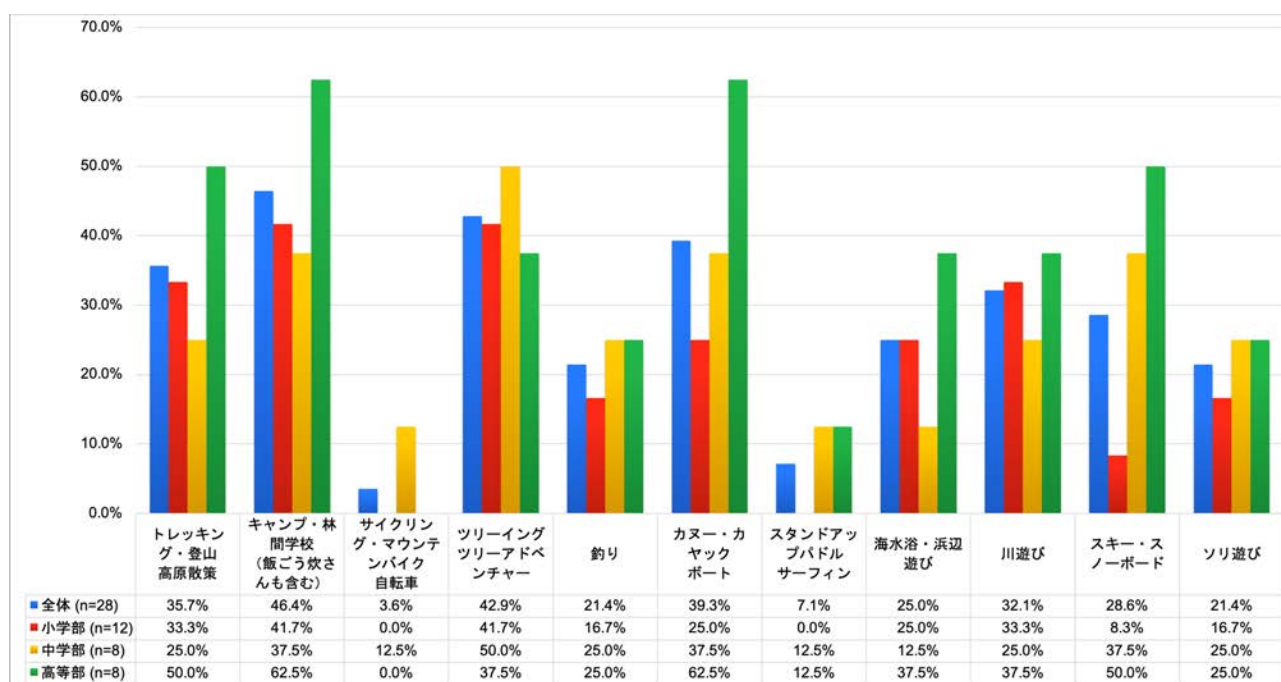


※次のグラフは、「これまで自然を活用した教育旅行を実施したことがある学校」で、かつ「児童生徒の年齢や興味関心、運動機能、障害の状態を踏まえ、教育的ニーズに合わせて自然の中での体験活動を提案してくれる専門家がいたら利用したいと思う（とてもそう思う・ややそう思う）」と回答した学校（n=28）が実際に行なっている学習内容（図上）と、専門家指導による希望する学習内容（図下）である。

専門家のサポートを希望する学校の実際の学習内容



専門家のサポートを希望する学校の希望の学習内容



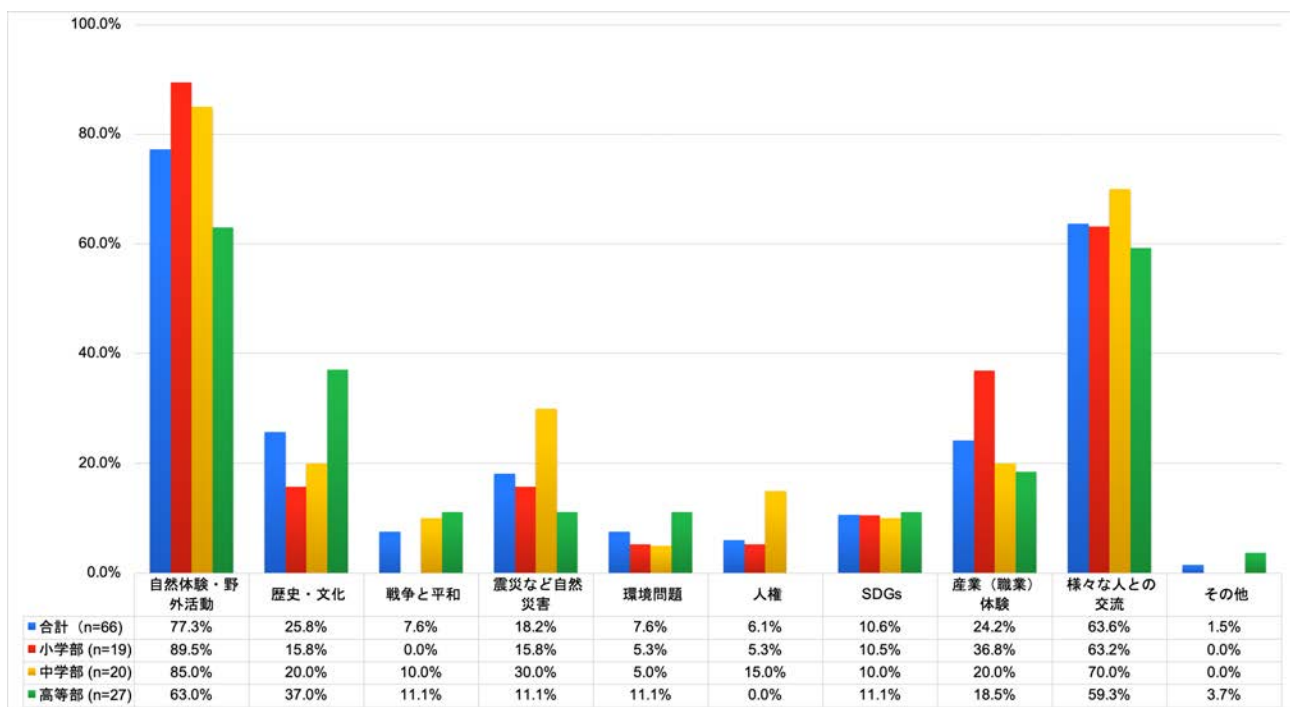
<教育旅行全般に対するニーズについて>

質問) 「児童生徒に教育旅行で学んでほしいと思うテーマを選択してください。最も考えに近いものを最大3つまで選択してください。

選択肢)

- a. 自然体験・野外活動
- b. 歴史・文化
- c. 戦争と平和
- d. 震災などの自然災害
- e. 環境問題
- f. 人権
- g. SDGs
- h. 産業（職業）体験
- i. 様々な人との交流
- j. その他

障害のある児童生徒に教育旅行で学んでほしいテーマ



質問) 障害のある児童生徒の教育旅行の企画や実施にあたって、どのようなことが課題と考えますか。該当するものを全て選択してください。

選択肢)

- a. 不安や課題は感じていない
- b. どこで何ができるかといった情報が不足している、入手方法がわからない (情報全般)
- c. 教育旅行を企画する際どこの旅行会社に相談すればよいかわからない
- d. 教育旅行先のパリアフリー対応が不十分
- e. 教育旅行先のコミュニケーション手段への配慮・支援 (手話、音声ガイドなど) が不十分
- f. 現地での教員をサポートする体制の充実 (現地での介助者の手配など)
- g. 団体での受入可能な宿泊施設の確保
- h. 団体で動くための移動手段の選択肢が少ない
- i. その他

障害のある児童生徒の教育旅行企画・実施における課題

